

**第6次阿久比町総合計画（中間評価）等**  
**住民アンケート調査結果**

令和7年10月  
阿久比町



# 目次

## I 調査概要

1 調査の概要	3
(1) 調査目的	3
(2) 調査対象及び調査方法	3
(3) 回収結果	3
2 本調査報告書の基本的な事項	4
(1) 数値の基本的な取り扱いについて	4

## II 調査結果

1 あなたご自身のことについて	7
2 まちへの愛着度、定住意向について	16
(1) まちへの愛着度	16
(2) まちへの定住意向	19
3 まちの現状と今後の取り組みについて	31
(1) 満足度	31
(2) 重要度	34
(3) 優先度（満足度と重要度の相関）	37
(4) 今後のまちづくり	38
(5) 阿久比町の夢ある未来へのまちづくり	42
(6) デジタル技術を活用した行政サービスの期待	43
(7) デジタル技術を活用した行政サービスの不安や困りごと	44
4 阿久比町の広報について	45
(1) 「広報あぐい」の閲読	45
(2) 「広報あぐい」を閲読しない理由	46
(3) 「広報あぐい」の満足度	47
(4) 「広報あぐい」の改善して欲しい点	48
(5) 「広報あぐい」から知りたい情報	49
(6) 今後の「広報あぐい」の媒体	50
(7) 力を入れてほしい広報媒体	51
5 少子高齢化について	52
(1) 人口減少、少子高齢化	52
(2) 理想的な子どもの数の実現	55
(3) 町の子育て環境	58
(4) 高齢社会への対応	61
6 住みやすさについて	63
(1) 住みやすさを感じる点	63
(2) 施設の整備充実	67
(3) 町の消防・防災対策について	70

7	第2期総合戦略の取り組みについて	74
(1)	基本目標1 安定した雇用を創出する	74
(2)	基本目標2 阿久比町への新しいひとの流れをつくる	76
(3)	基本目標3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	79
(4)	基本目標4 時代に合った地域づくり、安全・安心な暮らしを守るとともに、 地域と地域を連携する	82

### Ⅲ 自由意見

自由意見について	85
----------	----

## I 調査概要

---



# I 調査概要

## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

本調査は「第6次阿久比町総合計画」(計画期間：令和3年度～令和12年度)の中間評価の実施及び「第3期阿久比町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(計画期間：令和8年度～令和12年度)計画(案)の策定にあたり、住みよいまちづくりへの基礎資料を得ることや町政に対するご意見等をお聞かせ頂くことで、住民の皆様の声を反映するため実施しました。

### (2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	阿久比町にお住まいの18歳以上の町民
配布数	2,000
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法(郵送による配布・回収)、Web
調査時期	令和7年8月
調査地域	町内全域

### (3) 回収結果

配布数	2,000		
回収数	717 (郵送：505、Web：212)	回収率	35.8%

## 2 本調査報告書の基本的な事項

### (1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
- ②基数となるべき実数（回答者数）は、“n = ○○○”として掲載し、各比率は n を 100%として算出しています。
- ③複数回答の設問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い設問であることから、各回答の合計比率は 100%を超える場合があります。
- ④グラフ中の比率は、四捨五入の関係で 100%にならない場合があります。
- ⑤文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部簡略化して表現している場合があります。
- ⑥調査対象者の属性については、調査票記入時点の年齢で集計してあります。

## II 調査結果

---



## II 調査結果

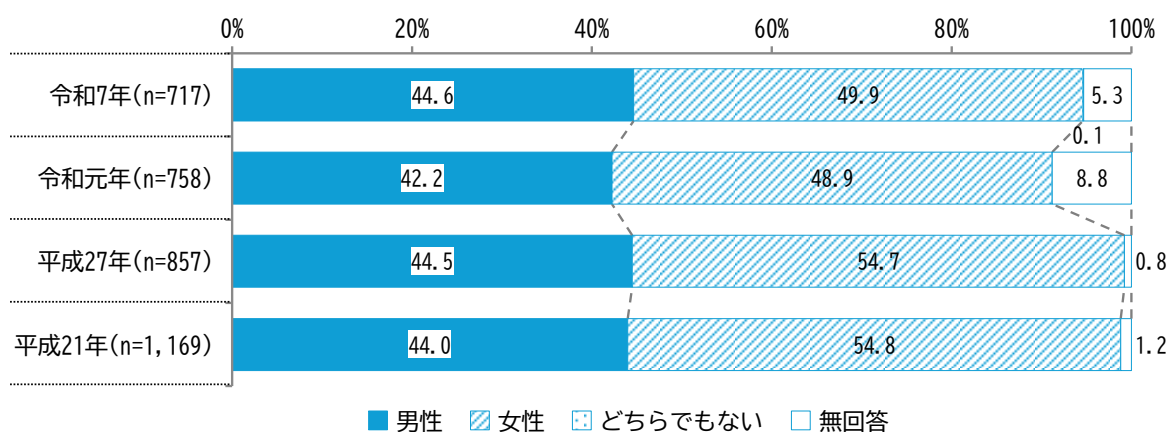
### 1 あなたご自身のことについて

#### (1) あなたの性別（1つに○印）

回答者の性別構成については、「男性」が44.6%、「女性」が49.9%となっています。

#### [前回調査との比較]

前回と比較すると、「男性」「女性」共に増加しています。

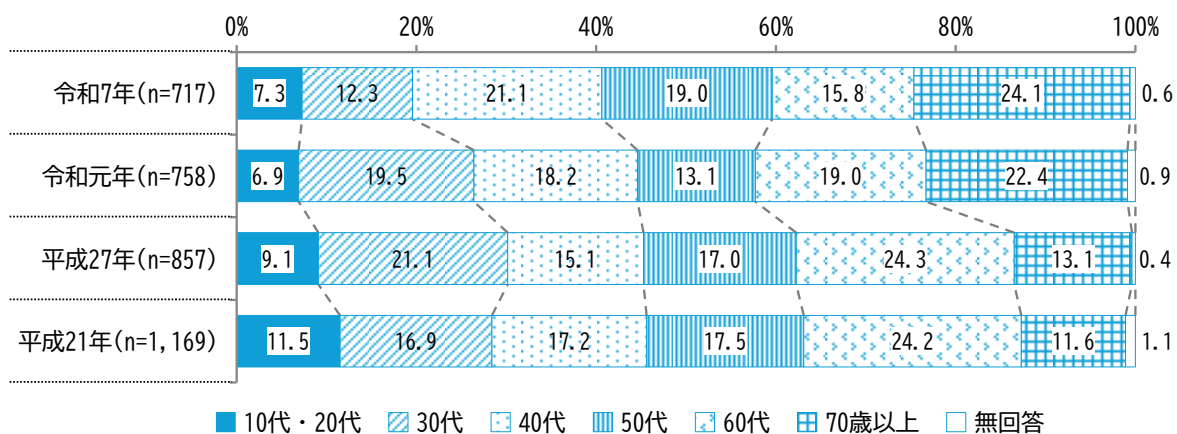


#### (2) あなたの年齢（1つに○印）

回答者の年齢構成については、「70歳以上」が24.1%と最も高く、次いで「40代」(21.2%)、「50代」(19.0%)、「60代」(15.8%)、「30代」(12.3%)、「10代・20代」(7.3%)の順となっています。

#### [前回調査との比較]

「10代・20代」や「40代」「50代」「70歳以上」が増加し、「30代」や「60代」が減少しています。

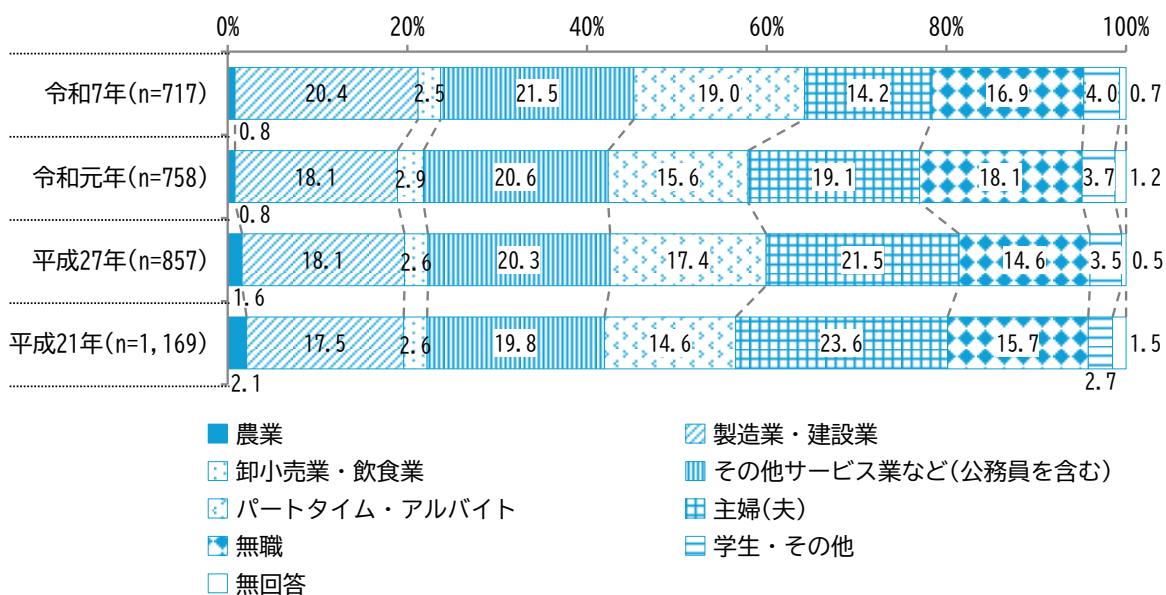


### (3) あなたの職業 (1つに○印)

回答者の職業については、「その他サービス業等」が21.5%と最も高く、次いで「製造業・建設業」(20.4%)、「パートタイム・アルバイト」(19.0%)、「無職」(16.9%)、「主婦(夫)」(14.2%)、「学生・その他」(4.0%)、「卸小売業・飲食業」(2.5%)、「農業」(0.8%)の順となっています。

#### [前回調査との比較]

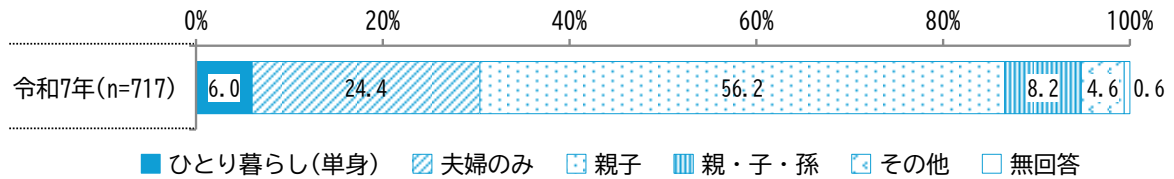
前回と比較すると、「製造業・建設業」、「その他サービス業等」、「パートタイム・アルバイト」が増加しています。また、「主婦(夫)」は減少しています。



(4) あなたの家族構成① (1つに○印)

回答者の家族構成については、「親子」が 56.2%と最も高く、次いで「夫婦のみ」(24.4%)、「親・子・孫」(8.2%)、「ひとり暮らし(単身)」(6.0%)などの順となっています。

また、「親子」で高い年齢は30代、40代で約8割となっており、10代・20代においても7割超となっています。「夫婦のみ」で高い年齢は「60代」(38.9%)と「70歳以上」(52.0%)となっています。



問1 (4) あなたの家族構成①

		調査数	ひとり暮らし (単身)	夫婦のみ	親子	親・子・孫	その他	無回答
合計		717	43	175	403	59	33	4
		100.0	6.0	24.4	56.2	8.2	4.6	0.6
あなたの年齢	10代・20代	52	2	4	38	5	3	-
		100.0	3.8	7.7	73.1	9.6	5.8	-
	30代	88	2	3	72	5	4	2
		100.0	2.3	3.4	81.8	5.7	4.5	2.3
	40代	151	2	6	122	17	4	-
		100.0	1.3	4.0	80.8	11.3	2.6	-
	50代	136	8	27	86	7	8	-
	100.0	5.9	19.9	63.2	5.1	5.9	-	
60代	113	9	44	44	9	7	-	
	100.0	8.0	38.9	38.9	8.0	6.2	-	
70歳以上	173	19	90	39	16	7	2	
	100.0	11.0	52.0	22.5	9.2	4.0	1.2	

上段：件  
下段：%

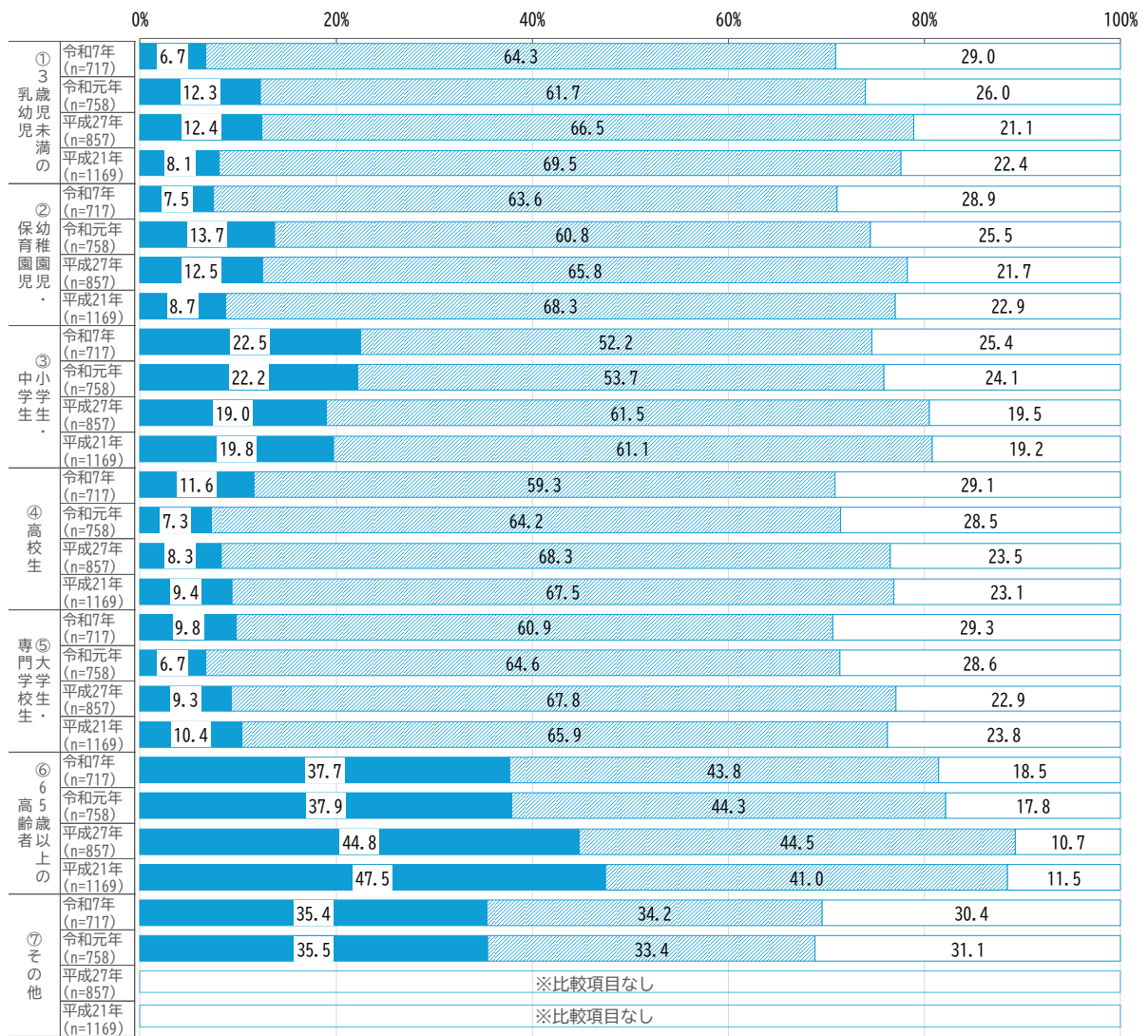
(5) あなたの家族構成② (①～⑦のそれぞれ1つに○印)

子どもや高齢者のいる家族構成の割合については、子どもでは「①3歳児未満の乳幼児」が6.7%、「②幼稚園児・保育園児」が7.5%となっており、「③小学生・中学生」は22.5%と特に高くなっています。また、「⑥65歳以上の高齢者」では37.7%となっています。

[前回調査との比較]

10年前(平成27年調査)と比較してみると、「①3歳児未満の乳幼児」(5.7ポイント)と「②幼稚園児・保育園児」(5.0ポイント)と「⑥65歳以上の高齢者」(7.1ポイント)が減少しています。「③小学生・中学生」(3.5ポイント)と「④高校生」(3.3ポイント)が増加しています。「⑤大学生・専門学校生」は大きな違いがありませんが全体の1割に満たない結果となっています。

(家族構成/%)	
	いる
①3歳児未満の乳幼児	6.7
②幼稚園児・保育園児	7.5
③小学生・中学生	22.5
④高校生	11.6
⑤大学生・専門学校生	9.8
⑥65歳以上の高齢者	37.7
⑦その他	35.4



■いる ■いない □無回答

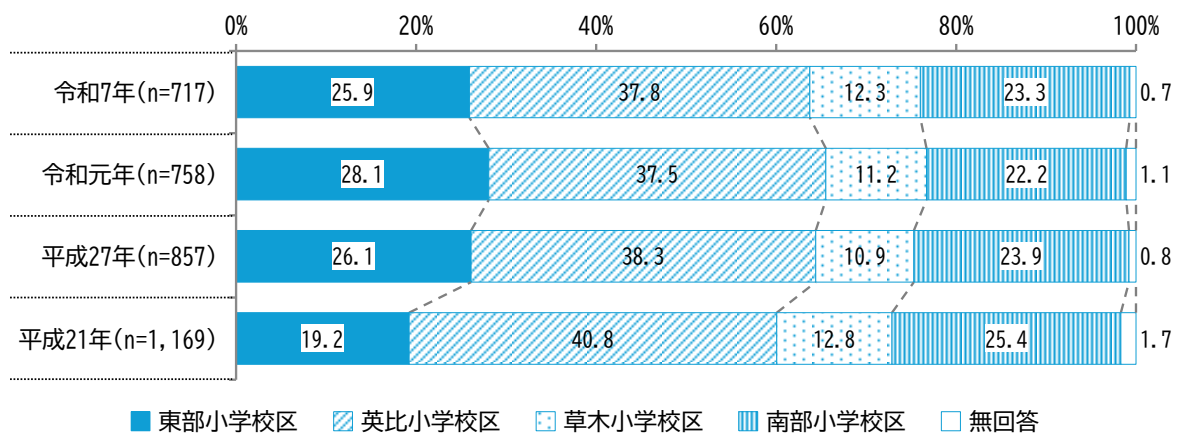
(6) あなたの居住地 (1つに○印)

回答者の居住地区については、「英比小学校区」が 37.8%と最も高く、次いで「東部小学校区」(25.9%)、「南部小学校区」(23.3%)、「草木小学校区」(12.3%)の順となっています。

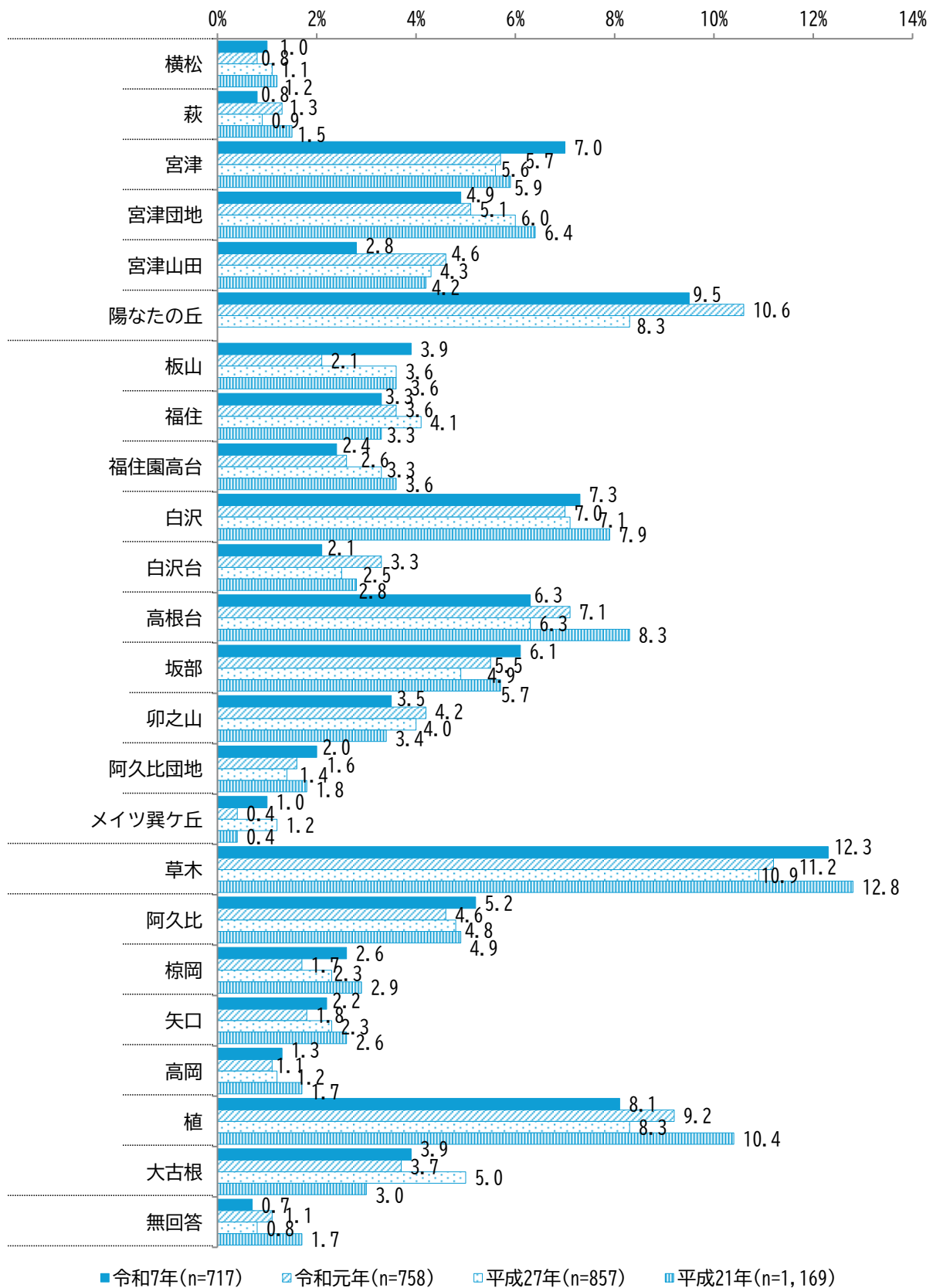
また、「草木」地区(12.3%)、「陽なたの丘」地区(9.5%)、「植」地区(8.1%)、「白沢」地区(7.3%)、「宮津」地区(7.0%)がやや高くなっています。

[前回調査との比較]

大きな違いはありません。



	地区名	n	%
東部小学校区	横松	7	1.0
	萩	6	0.8
	宮津	50	7.0
	宮津団地	35	4.9
	宮津山田	20	2.8
	陽なたの丘	68	9.5
英比小学校区	板山	28	3.9
	福住	24	3.3
	福住園高台	17	2.4
	白沢	52	7.3
	白沢台	15	2.1
	高根台	45	6.3
	坂部	44	6.1
	卯之山	25	3.5
	阿久比団地	14	2.0
	メイツ巽ヶ丘	7	1.0
	草木小学校区	草木	88
南部小学校区	阿久比	37	5.2
	椋岡	19	2.6
	矢口	16	2.2
	高岡	9	1.3
	植	58	8.1
	大古根	28	3.9
	無回答	5	0.7



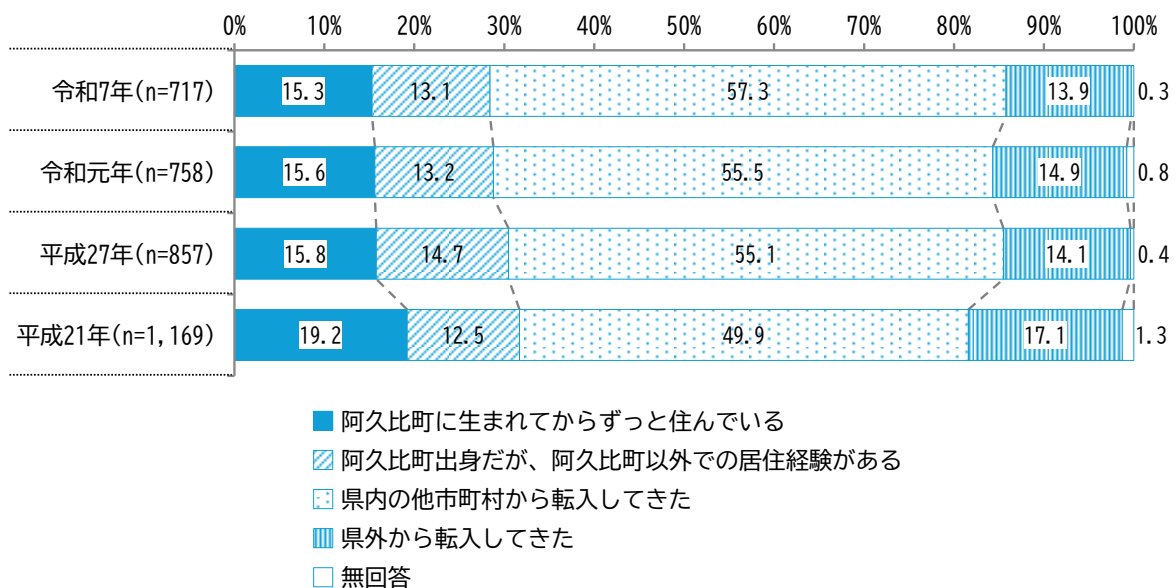
## (7) あなたの居住歴（1つに○印）

回答者の居住歴については、「県内の他市町村から転入してきた」が 57.3%と最も高く、次いで「阿久比町に生まれてからずっと住んでいる」（15.3%）、「県外から転入してきた」（13.9%）、「阿久比町出身だが、阿久比町以外での居住経験がある」（13.1%）の順となっています。

また、Uターン（「阿久比町出身だが、阿久比町以外での居住経験がある」）が 13.1%、Iターン（「県内の他市町村から転入してきた」（57.3%）及び「県外から転入してきた」（13.9%））が 71.2%となっています。

### [前回調査との比較]

大きな違いはありませんが、10年前（平成27年調査）と比較すると、「阿久比町に生まれてからずっと住んでいる」と「阿久比町出身だが、阿久比町以外の居住経験がある」「県外から転入してきた」が減少傾向、「県内の他市町村から転入してきた」が増加傾向となっています。



## 2 まちへの愛着度、定住意向について

### (1) まちへの愛着度

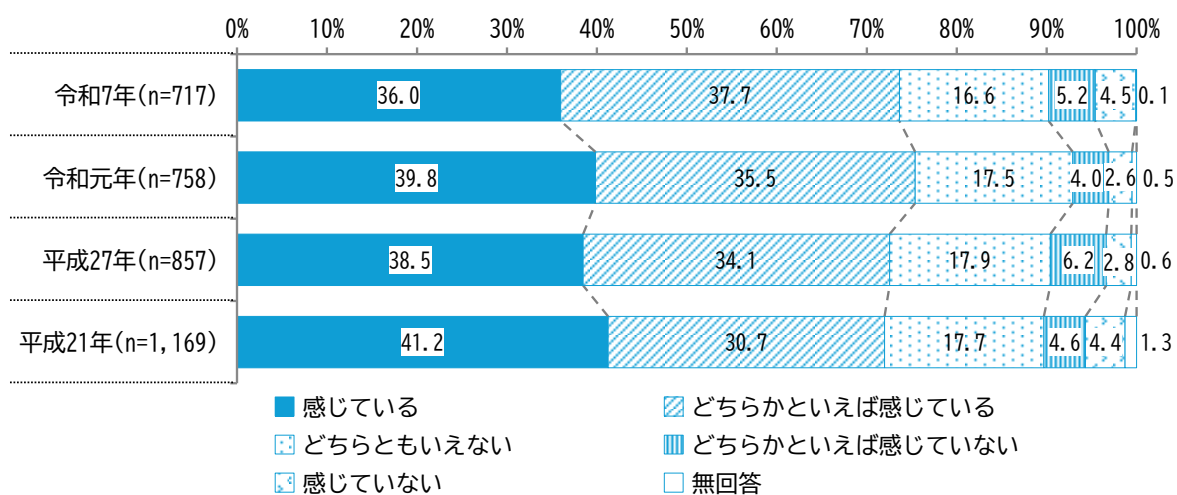
問2 あなたは、阿久比町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。  
(1つに○印)

「どちらかといえば感じている」が37.7%、次いで「感じている」が36.0%  
あわせて73.7%

阿久比町への愛着については、「どちらかといえば感じている」と答えた人が37.7%と最も高く、次いで「愛着を感じている」と答えた人が36.0%となっており、これらをあわせた“愛着を感じている”という人は73.7%となっています。これに対して、“愛着を感じていない”（「どちらかといえば感じていない」(5.2%)及び「愛着を感じていない」(4.5%)の合計)は9.7%にとどまり、まちへの愛着度は高いといえます。なお、「どちらともいえない」は16.6%でした。

#### [前回調査との比較]

大きな違いはありませんが、「どちらかといえば感じている」が増加傾向となっています。



## [回答者の属性別]

性別でみると、“愛着を感じている（全体：73.7%）”では男性（75.0%）の方が女性（71.5%）よりやや高くなっています。

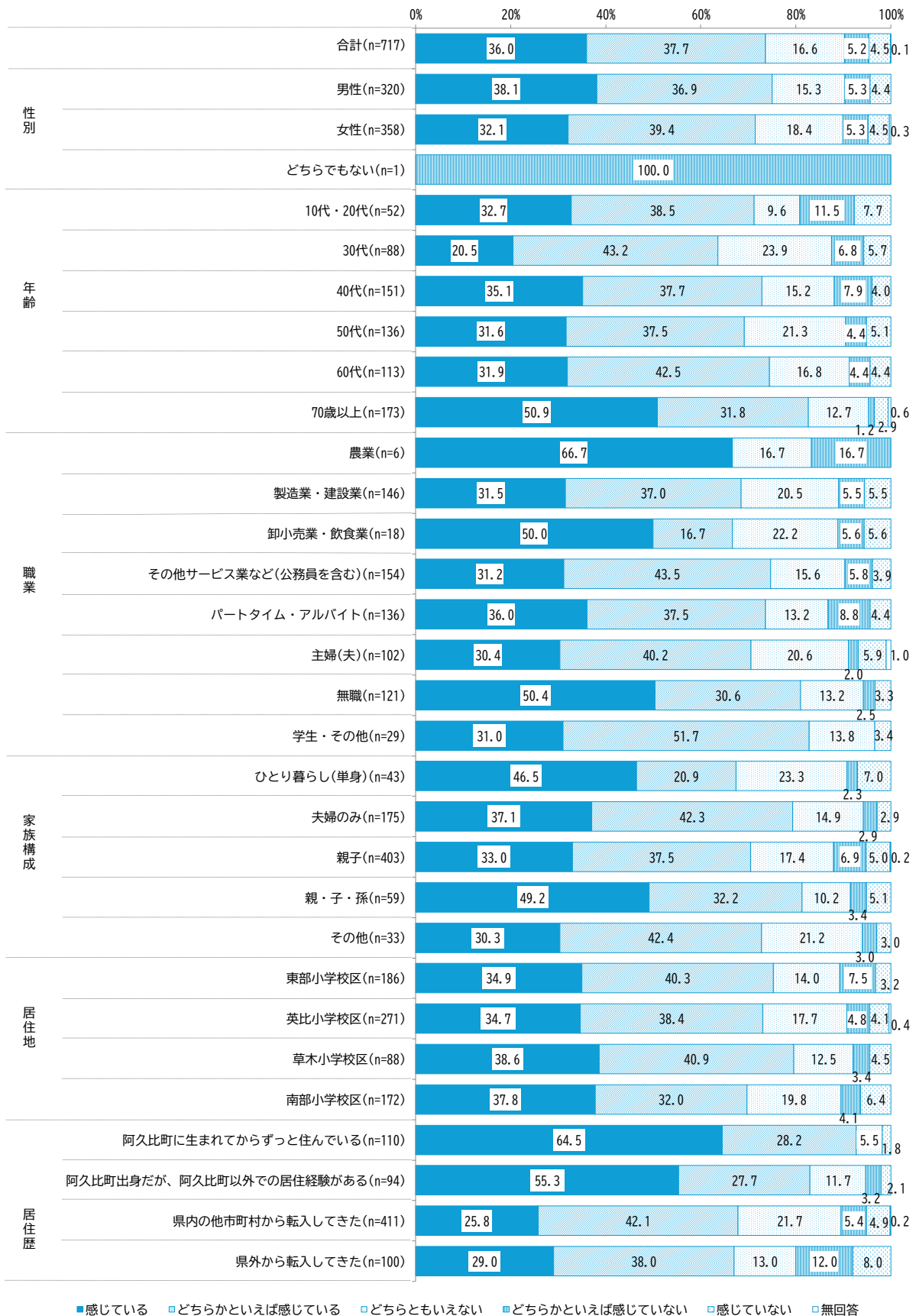
年齢でみると、「愛着を感じている」では「70歳以上」（50.9%）が最も高く、「30代」（20.5%）が最も低くなっています。一方、「30代」は「どちらかといえば感じている」（43.2%）が高くなっています。

職業でみると、「愛着を感じている」では「農業」（66.7%）、「卸小売業・飲食業」（50.0%）、「無職」（50.4%）が高くなっています。「どちらかといえば感じている」では「学生・その他」（51.7%）が高くなっています。

家族構成でみると、「愛着を感じている」では「親・子・孫」（49.2%）や「ひとり暮らし(単身)」（46.5%）が高くなっています。また、「ひとり暮らし(単身)」では「どちらともいえない」（23.3%）が高くなっています。

居住地区でみると、「愛着を感じている」では「草木小学校区」（38.6%）と「南部小学校区」（37.8%）が高くなっています。

居住歴でみると、「愛着を感じている」では「阿久比町に生まれてからずっと住んでいる」（64.5%）が最も高く、「阿久比町出身だが、阿久比町以外での居住経験がある」（55.3%）も高くなっています。また、「どちらかといえば感じている」では「県内の他市町村から転入してきた」（42.1%）や「県外から転入してきた」は（38.0%）も高くなっています。



## (2) まちへの定住意向

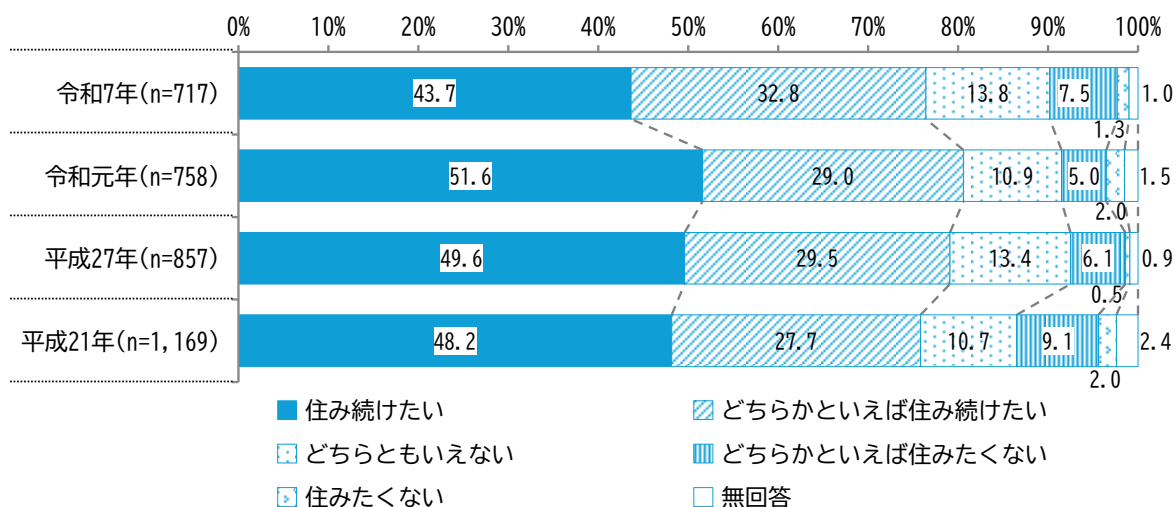
問3① あなたは、今後も阿久比町に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

「住み続けたい」が43.7%、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が32.8%あわせて76.5%

阿久比町での定住意向については、「住み続けたい」と答えた人が43.7%と最も高く、「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人が32.8%となっており、これらをあわせた“住み続けたい”という人は76.5%となっています。これに対して、“住みたくない”（「どちらかといえば住みたくない」(7.5%)及び「住みたくない」(1.3%)の合計)は8.8%にとどまり、定住意向はかなり高い傾向があります。なお、「どちらともいえない」は13.8%でした。

### [前回調査との比較]

大きな違いはありませんが、「どちらかといえば住み続けたい」が増加傾向となっています。



## [回答者の属性別]

性別でみると、「住み続けたい」では「男性」(46.3%)の方が「女性」(39.9%)より高くなっています。

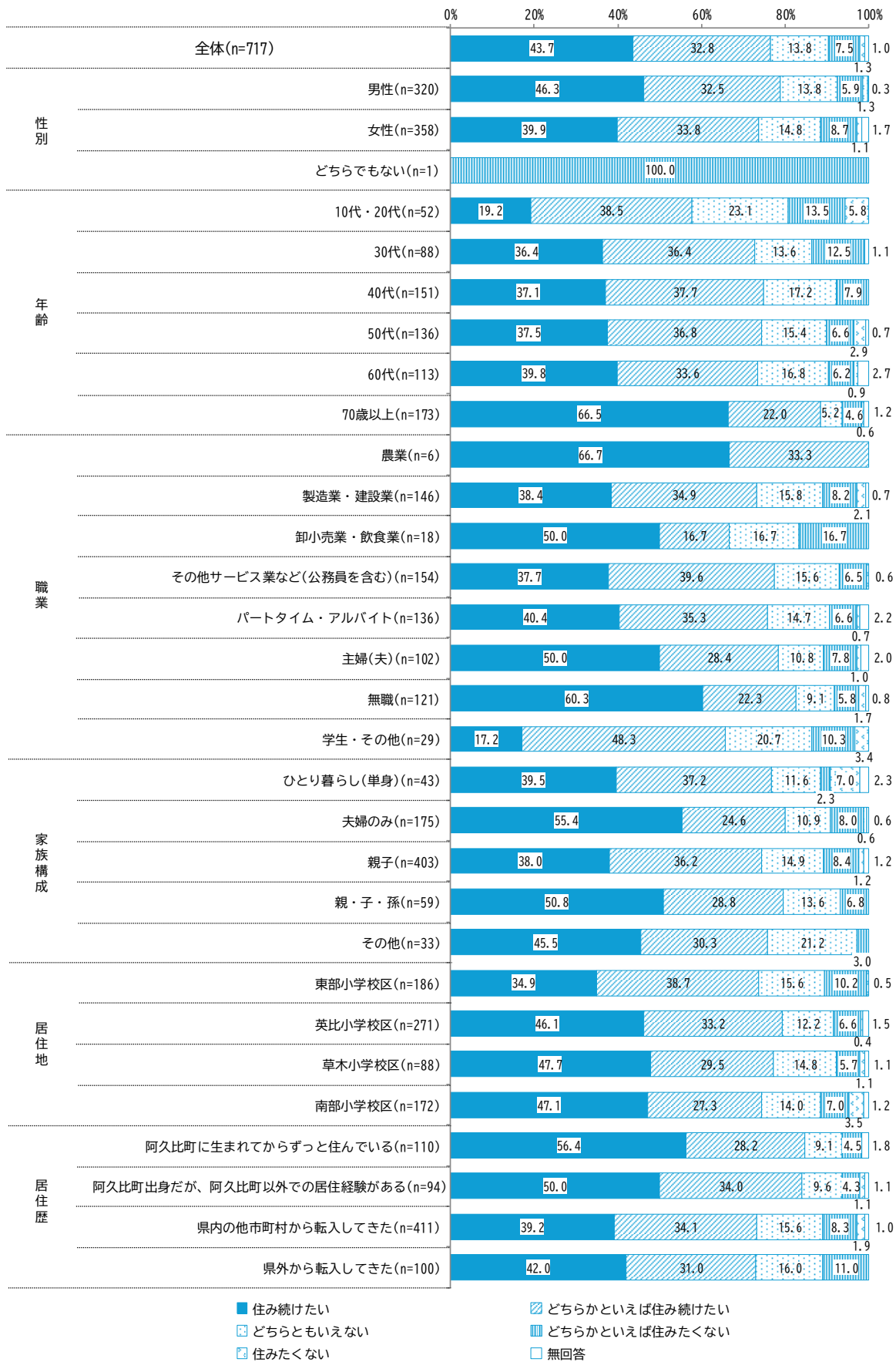
年齢でみると、「住み続けたい」では「70歳以上」以上で約7割と高く、「10代・20代」(19.2%)が最も低くなっています。また、「どちらかといえば住み続けたい」では「10代・20代」(38.5%)と「40代」(37.7%)が高くなっています。さらに「10代・20代」では「どちらともいえない」(23.1%)と「どちらかといえば住みたくない」(13.5%)が高くなっています。

職業でみると、「住み続けたい」では「無職」(60.3%)、「卸小売業・飲食業」と「主婦(夫)」(同率50.0%)が高く、「学生・その他」(17.2%)が低くなっています。

家族構成でみると、「住み続けたい」では「夫婦のみ」(55.4%)「親・子・孫」(50.8%)が高く、「ひとり暮らし(単身)」(39.5%)が低くなっています。

居住地区でみると、「住み続けたい」では「東部小学校区」(34.9%)が低くなっている他に大きな違いはありませんでした。

居住歴でみると、「住み続けたい」では「阿久比町に生まれてからずっと住んでいる」(56.4%)が高く、「県内の他市町村から転入してきた」(39.2%)がやや低くなっています。



問3② 住み続けたい主な理由は何ですか。(2つまで○印)

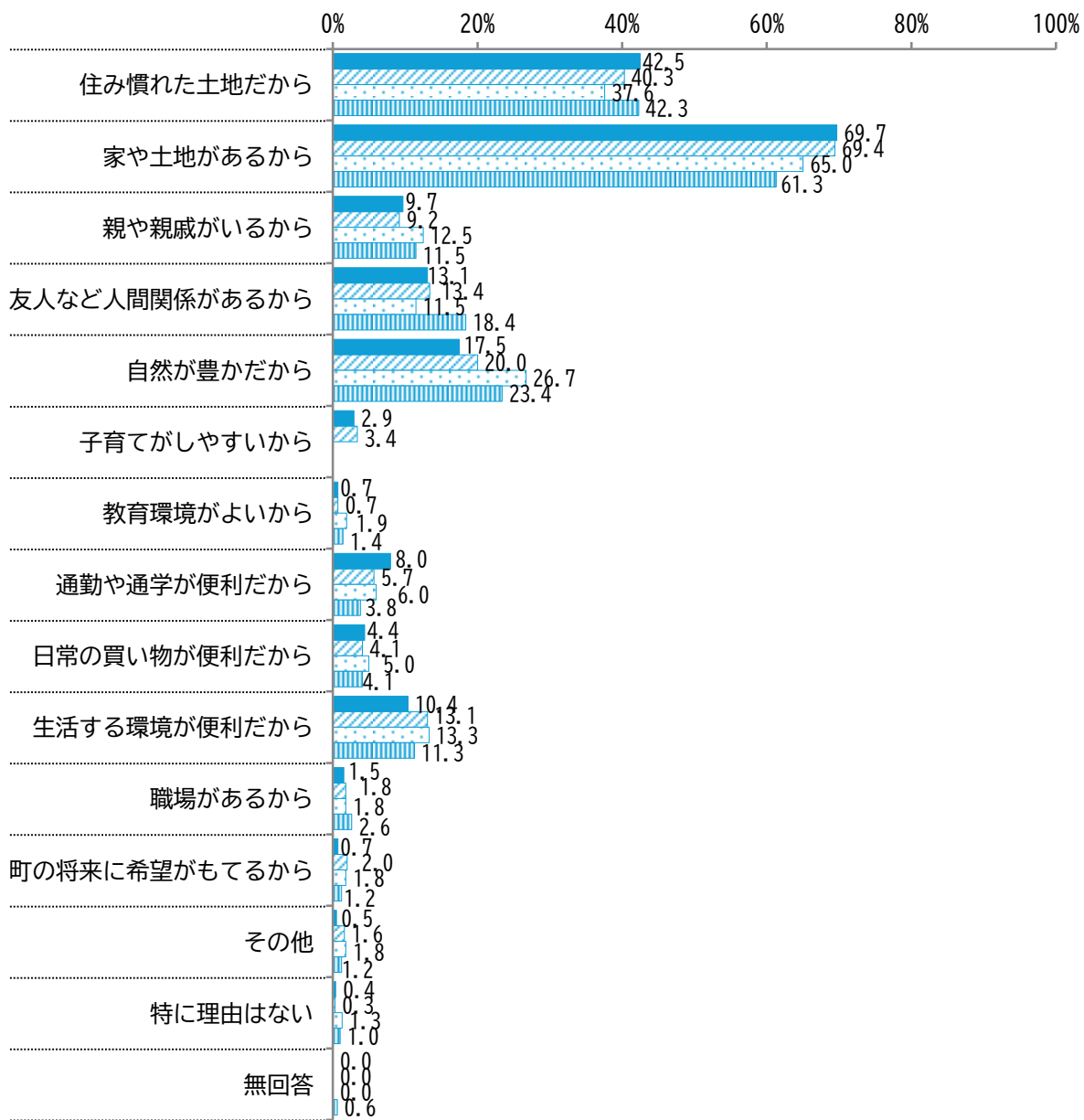


「家や土地があるから」が69.7%、次いで「住み慣れた土地だから」が42.5%

住み続けたい主な理由については、「家や土地があるから」が69.7%と最も高く、次いで「住み慣れた土地だから」(42.5%)、「自然が豊かだから」(17.5%)、「友人など人間関係があるから」(13.1%)、「生活する環境が便利だから」(10.4%)などの順となっています。

#### [前回調査との比較]

大きな違いはありませんが、「通勤や通学が便利だから」の理由が若干増加傾向となっています。



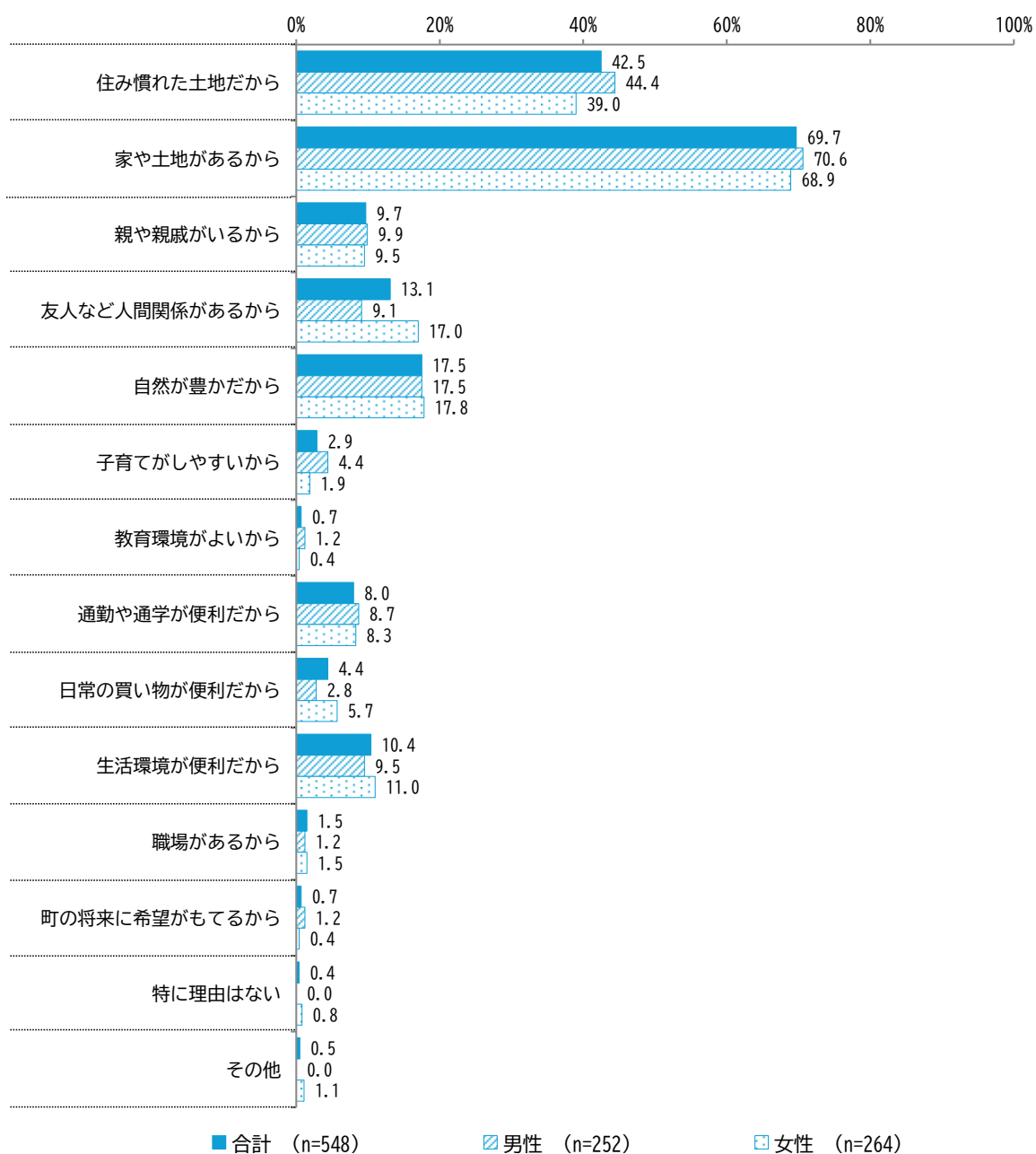
■ 令和7年(n=548)    ▨ 令和元年(n=611)    ▩ 平成27年(n=678)    ▣ 平成21年(n=887)

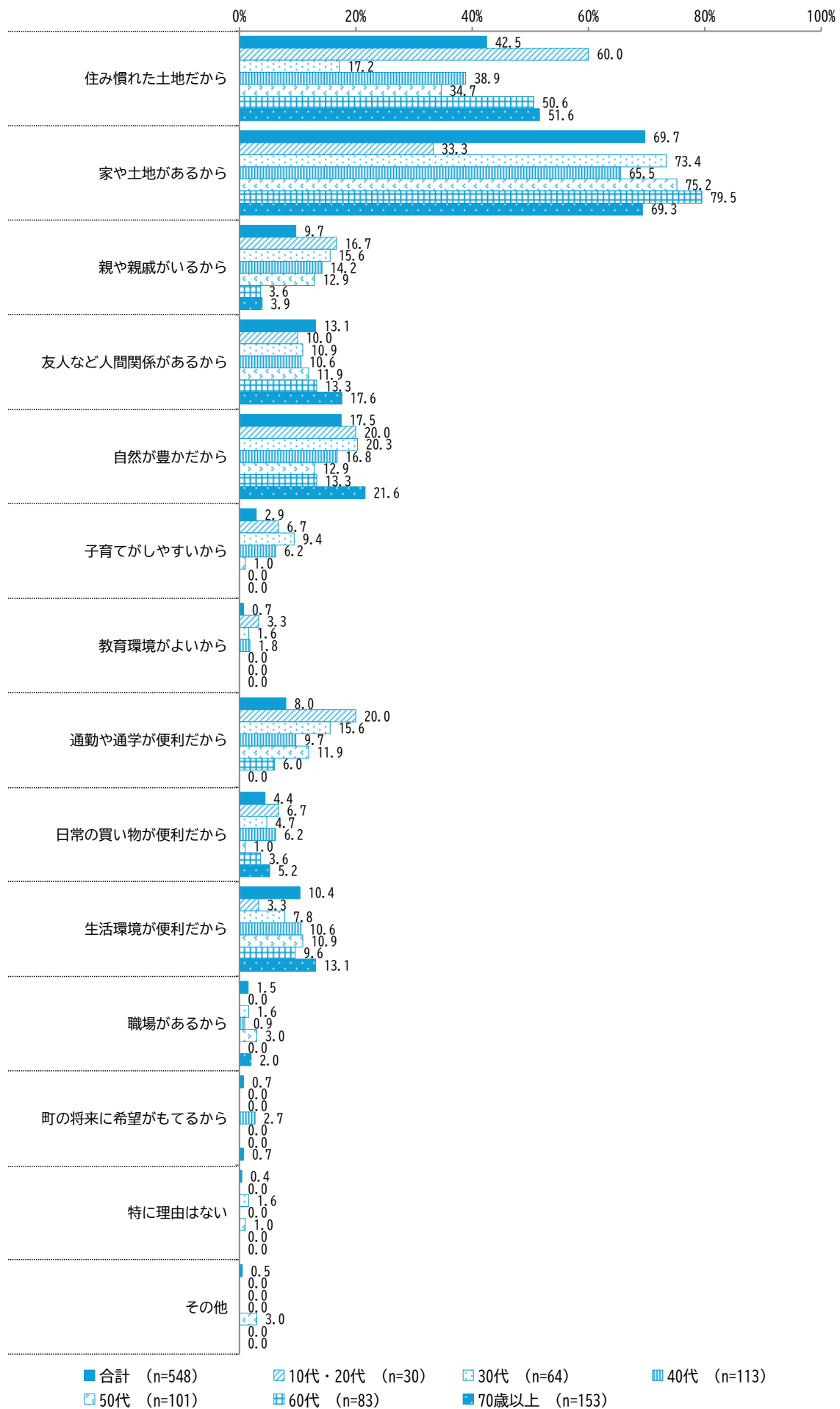
※選択肢「子育てがしやすいから」は、令和元年に初めて選択肢の採用をしたため、平成27年及び平成21年調査結果がない。

## [回答者の属性別]

性別でみると、「住み慣れた土地だから」の理由では「男性」(44.4%)の方が「女性」(39.0%)より高く、「友人など人間関係があるから」の理由では「女性」(17.0%)の方が「男性」(9.1%)より高くなっています。その他に大きな違いはありませんでした。

年齢でみると、「住み慣れた土地だから」の理由では「30代」(17.2%)が特に低くなっています。「家や土地があるから」の理由では「10代・20代」(33.3%)が特に低くなっています。「親や親戚がいるから」の理由では「10代・20代」(16.7%)が特に高くなっています。「友人など人間関係があるから」の理由では「70歳以上」(17.6%)が特に高くなっています。「自然が豊かだから」の理由では「70歳以上」(21.6%)が特に高くなっています。「子育てがしやすいから」の理由では「30代」(9.4%)が特に高くなっています。「通勤や通学が便利だから」の理由では「10代・20代」(20.0%)が特に高くなっています。





問3③ 住みたくない主な理由は何ですか。(2つまで○印)

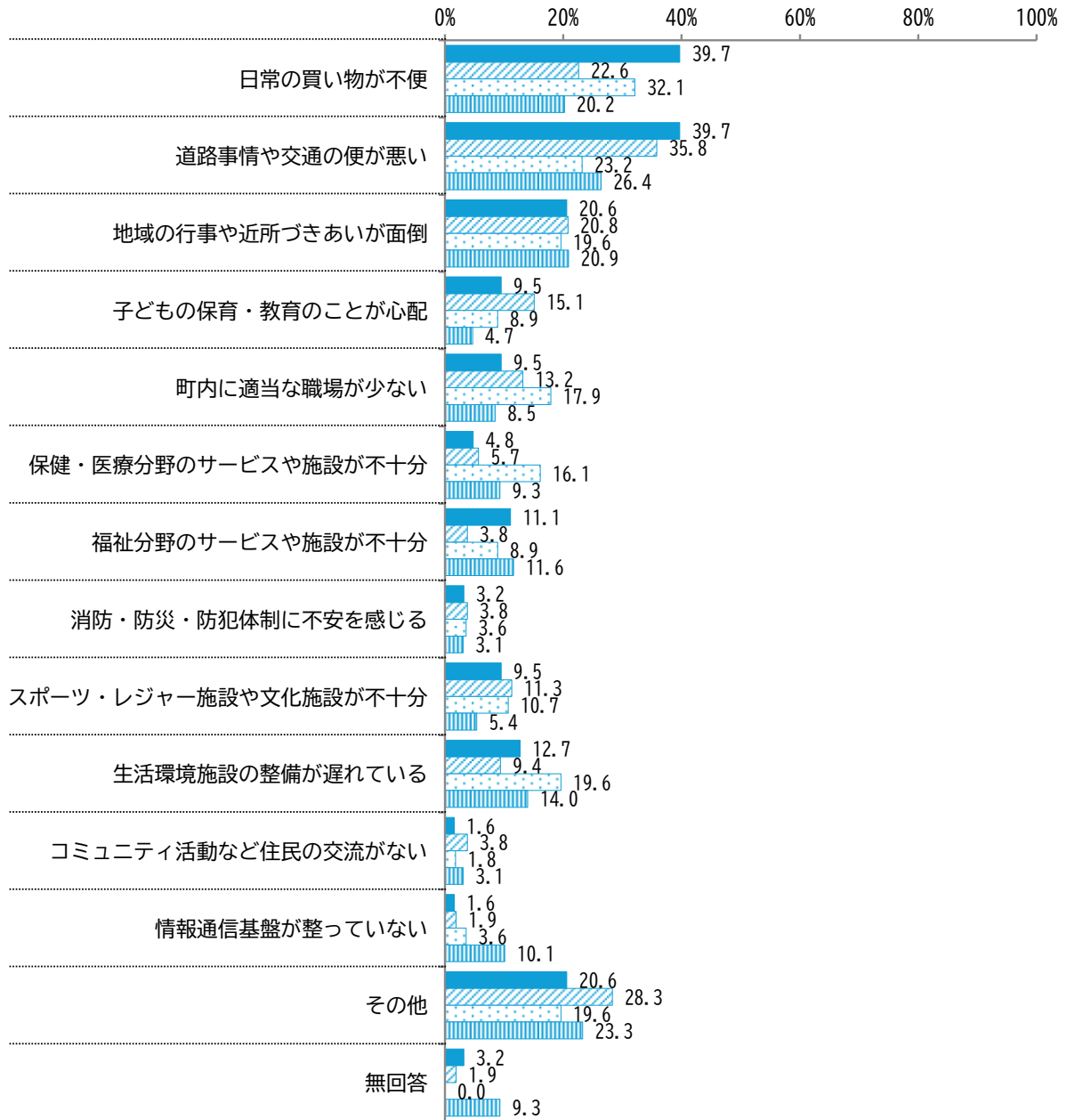


「日常の買い物が不便」「道路事情や交通の便が悪い」が同率 39.7%、次いで「地域の行事や近所づきあいが面倒」が 20.6%

住みたくない主な理由については、「日常の買い物が不便」と「道路事情や交通の便が悪い」(同率 39.7%)が最も高く、次いで「地域の行事や近所づきあいが面倒」(20.6%)、「生活環境施設の整備が遅れている」(12.7%)、「福祉分野のサービスや施設が不十分」(11.1%)、「子どもの保育・教育のことが心配」、「町内に適当な職場が少ない」、「スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分」(同率 9.5%)の順となっています。

#### [前回調査との比較]

「日常の買い物が不便」や「道路事情や交通の便が悪い」、「福祉分野のサービスや施設が不十分」、「生活環境施設の整備が遅れている」の理由が増加傾向、「子どもの保育・教育のことが心配」や「町内に適当な職場が少ない」、「コミュニティ活動など住民の交流がない」の理由が減少傾向となっています。

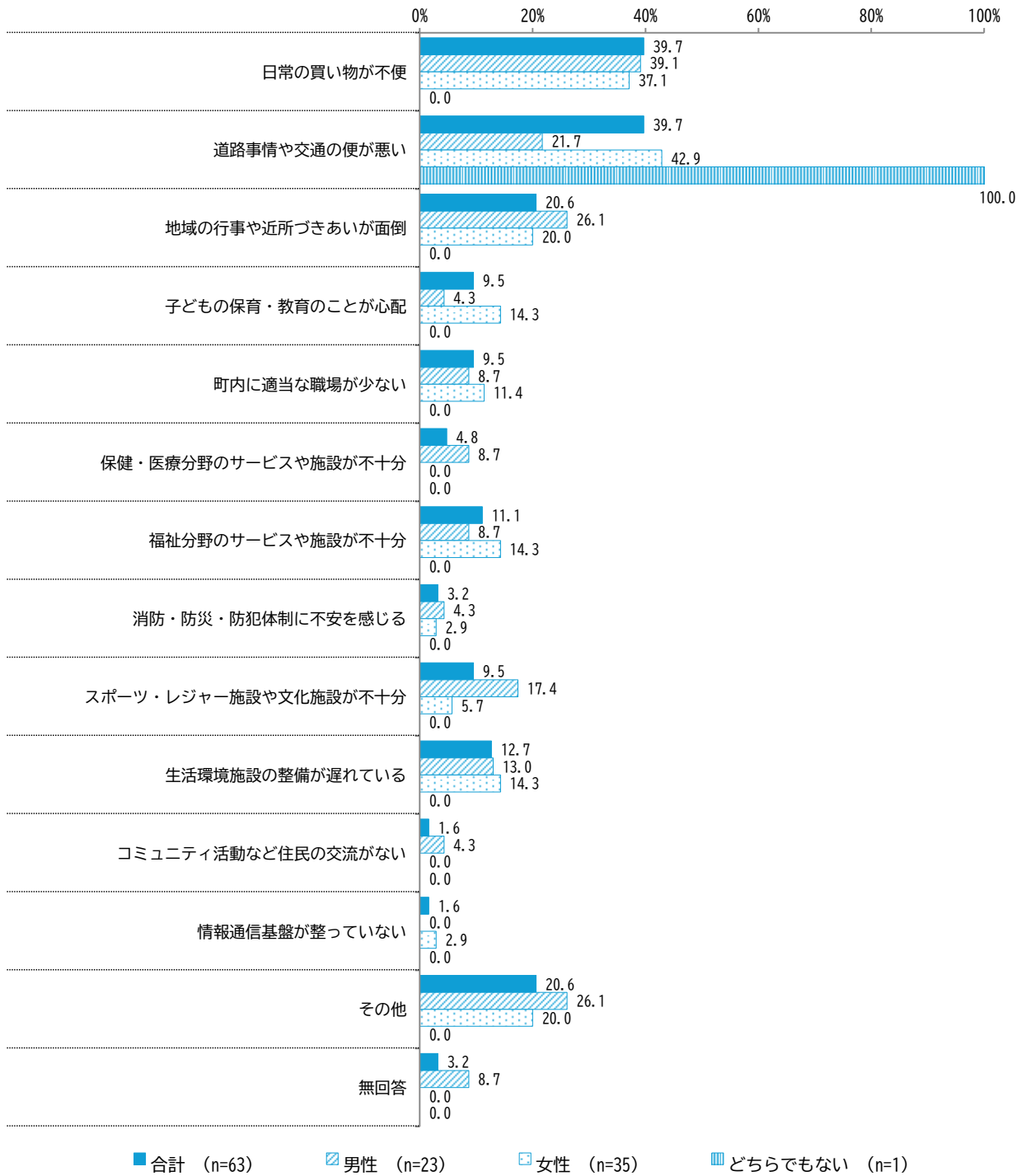


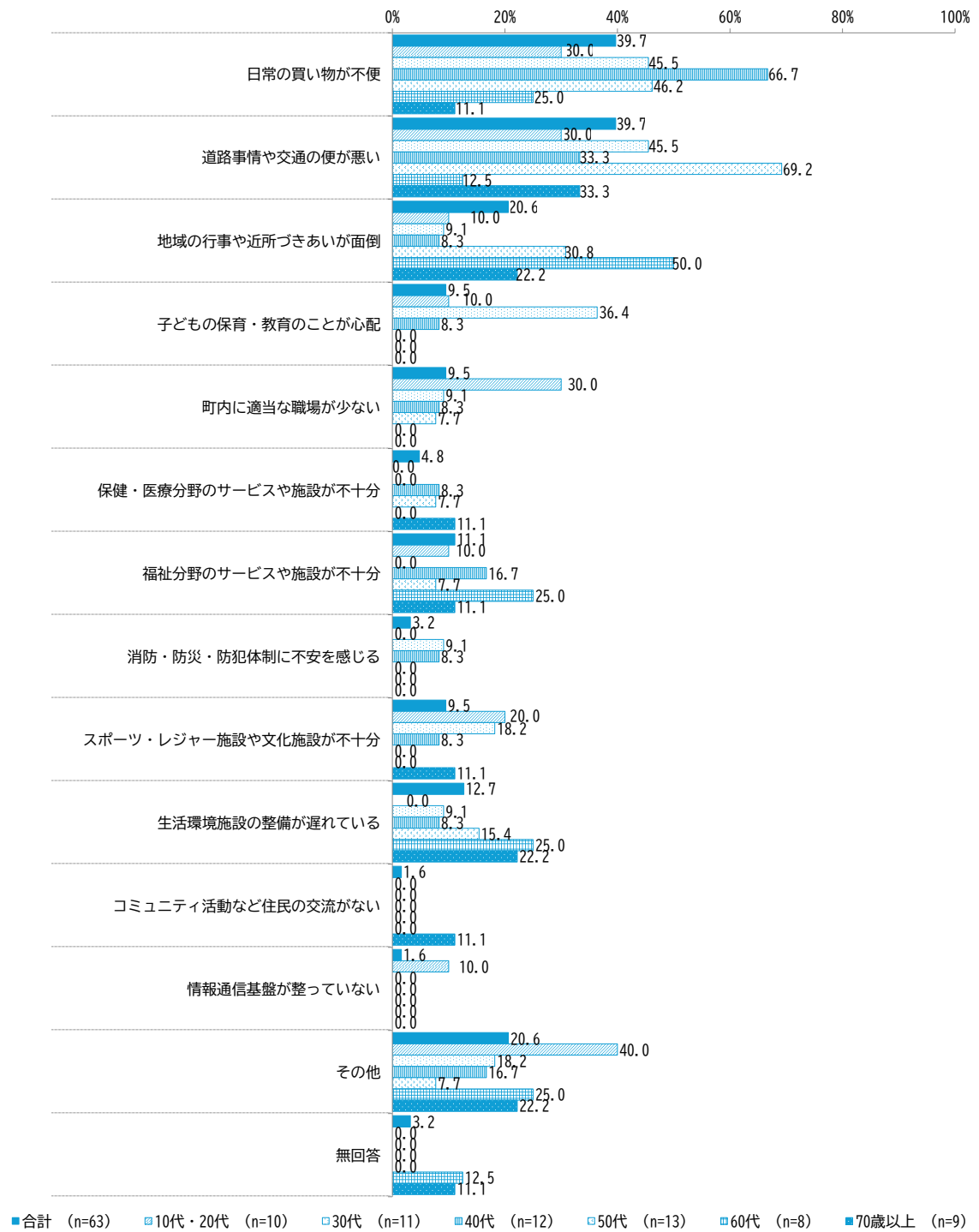
■ 令和7年(n=63)    ▨ 令和元年(n=53)    ▩ 平成27年(n=56)    ▤ 平成21年(n=129)

## [回答者の属性別]

性別でみると、「道路事情や交通の便が悪い」では「女性」(42.9%)の方が「男性」(21.7%)より高くなっています。

年齢でみると、「日常の買い物が不便」では「40代」(66.7%)が特に高くなっています。「道路事情や交通の便が悪い」では「50代」(69.2%)が特に高くなっています。「地域の行事や近所づきあいが面倒」では「60代」(50.0%)が特に高くなっています。「子どもの保育・教育のことが心配」では「30代」(36.4%)が特に高くなっています。「町内に適当な職場が少ない」では「10代・20代」(30.0%)が特に高くなっています。「福祉分野のサービスや施設が不十分」では「60代」(25.0%)が特に高くなっています。「スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分」では「10代・20代」(20.0%)が特に高くなっています。「生活環境施設の整備が遅れている」では「60代」(25.0%)が特に高くなっています。





### 3 まちの現状と今後の取り組みについて

#### (1) 満足度

問4 阿久比町について、現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

- ① あなたは、以下の項目について、現在どの程度満足していますか。  
それぞれについてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

満足度が最も高い項目は「上水道」、次いで「環境衛生」、「下水道」の順  
満足度が最も低い項目は「商業」、次いで「道路・交通網」、「農業」の順

阿久比町の各環境について、現在どの程度満足しているかを把握するため、都市基盤分野、生活環境分野、保健・医療・福祉分野、教育・文化分野、産業・経済分野、コミュニティ・住民参画・行財政分野の6分野32項目を設定し、項目ごとに「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値〔後述参照〕による数量化で評価点（満足度：最高点10点、中間点0点、最低点－10点）を算出しました。

この結果、満足度評価が最も高い項目は、「上水道」（2.56点）となっており、次いで第2位が「環境衛生」（2.27点）、第3位が「下水道」（1.94点）と続き、以下、「消防・防災・救急」（1.81点）、「健康づくり・医療」（1.55点）などの順となっています。

一方、満足度評価の低い項目をみると、「商業」（-1.18点）が最も低く、次いで、「道路・交通網」（-1.02点）、「農業」（-0.55点）、「工業」（-0.46点）と続いています。全体的にみると、満足度がプラス評価の項目が26項目、マイナス評価の項目が6項目となっています。

満足度の高い分野は生活環境分野、満足度の低い分野は産業・経済分野となっています。

#### [前回調査との比較]

過去の調査と比較してみると、満足度の高い上位5位の項目は多少の順位の違いはありますが、ほとんど同じとなっています。

※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

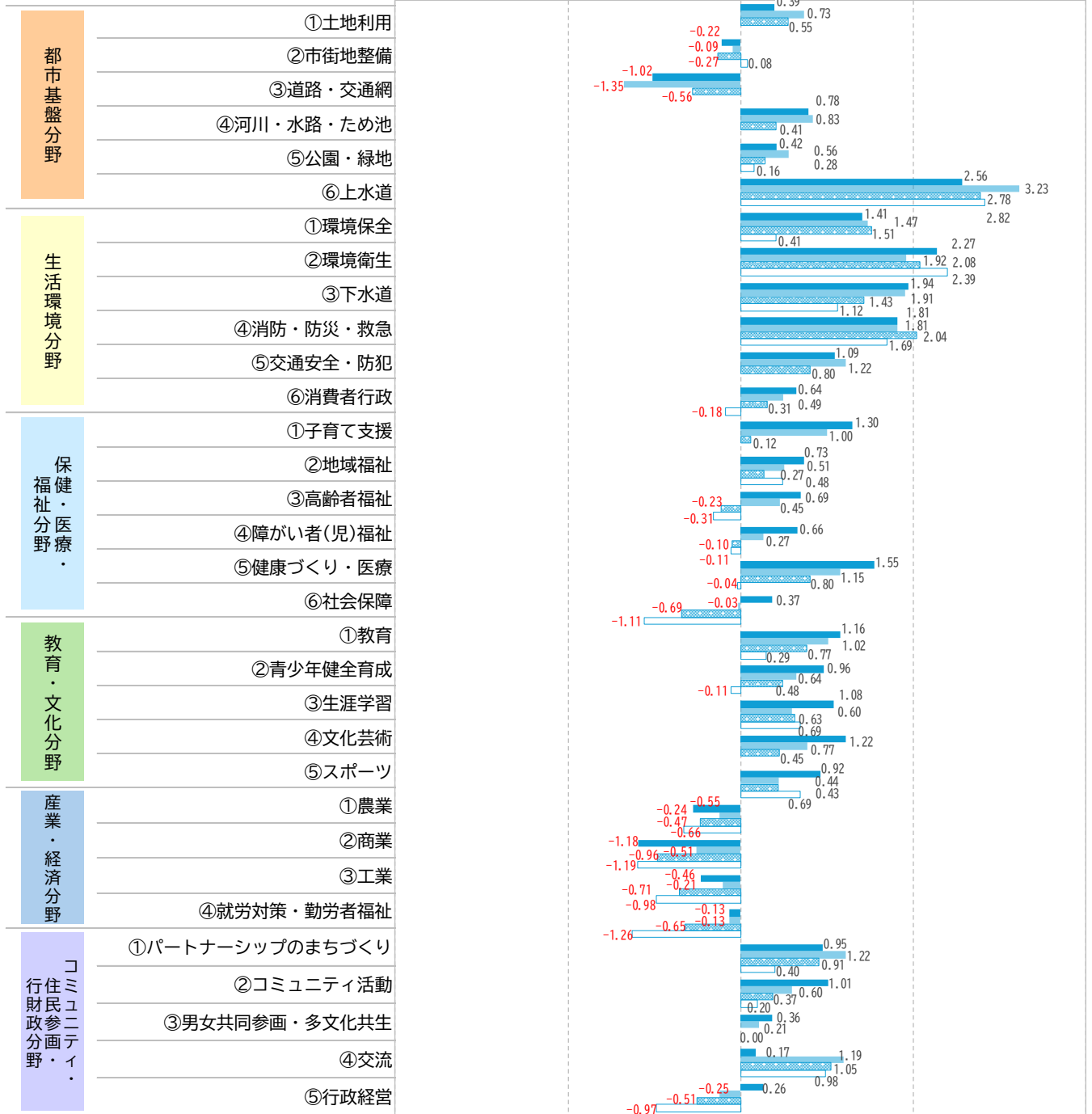
$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \\ \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」、「どちらかとい} \\ \text{えば満足している」、「どちらとも} \\ \text{いえない」、「どちらかといえば不} \\ \text{満」、「不満である」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は 10 点～-10 点の間に分布し、中間点の0点を境に、10 点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10 点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

■令和7年度全体 ■令和元年度全体 ■平成27年度全体 □平成21年度全体

満足度

不満 ← 0 → 満足



## (2) 重要度

問4 阿久比町について、現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

- ② あなたは、以下の項目について、現在どの程度重視していますか。  
それぞれについてあてはまる番号1つに○印をつけてください。



重要度が最も高い項目は「道路・交通網」、次いで「交通安全・防犯」、「消防・防災・救急」の順  
重要度が最も低い項目は「交流」、次いで「男女共同参画・多文化共生」、「パートナーシップのまちづくり」、「コミュニティ活動」の順

阿久比町の各環境について、今後どの程度重視しているかを把握するため、都市基盤分野、生活環境分野、保健・医療・福祉分野、教育・文化分野、産業・経済分野、コミュニティ・住民参画・行財政分野の6分野32項目を設定し、項目ごとに「重視している」、「どちらかといえば重視している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重視していない」、「重視していない」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値〔後述参照〕による数量化で評価点（重要度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

この結果、重要度評価が最も高い項目は、「道路・交通網」（5.64点）となっており、次いで第2位が「交通安全・防犯」（5.09点）、第3位が「防災・消防・救急」（5.08点）と続き、以下、「環境衛生」（4.54点）、「健康づくり・医療」（4.42点）などの順となっています。

一方、重要度の低い項目をみると、「交流」（1.14点）が最も低く、次いで、「男女共同参画・多文化共生」（1.42点）、「パートナーシップのあるまちづくり」（1.44点）、「文化芸術」（2.03点）と続いています。重要度の高い分野は、生活環境分野、保健・医療・福祉分野となり、重要度の低い項目はコミュニティ・住民参画・行財政分野、産業・経済分野となっています。

### [前回調査との比較]

過去の調査と比較してみると、生活環境や子育て、教育を重要視する傾向があります。

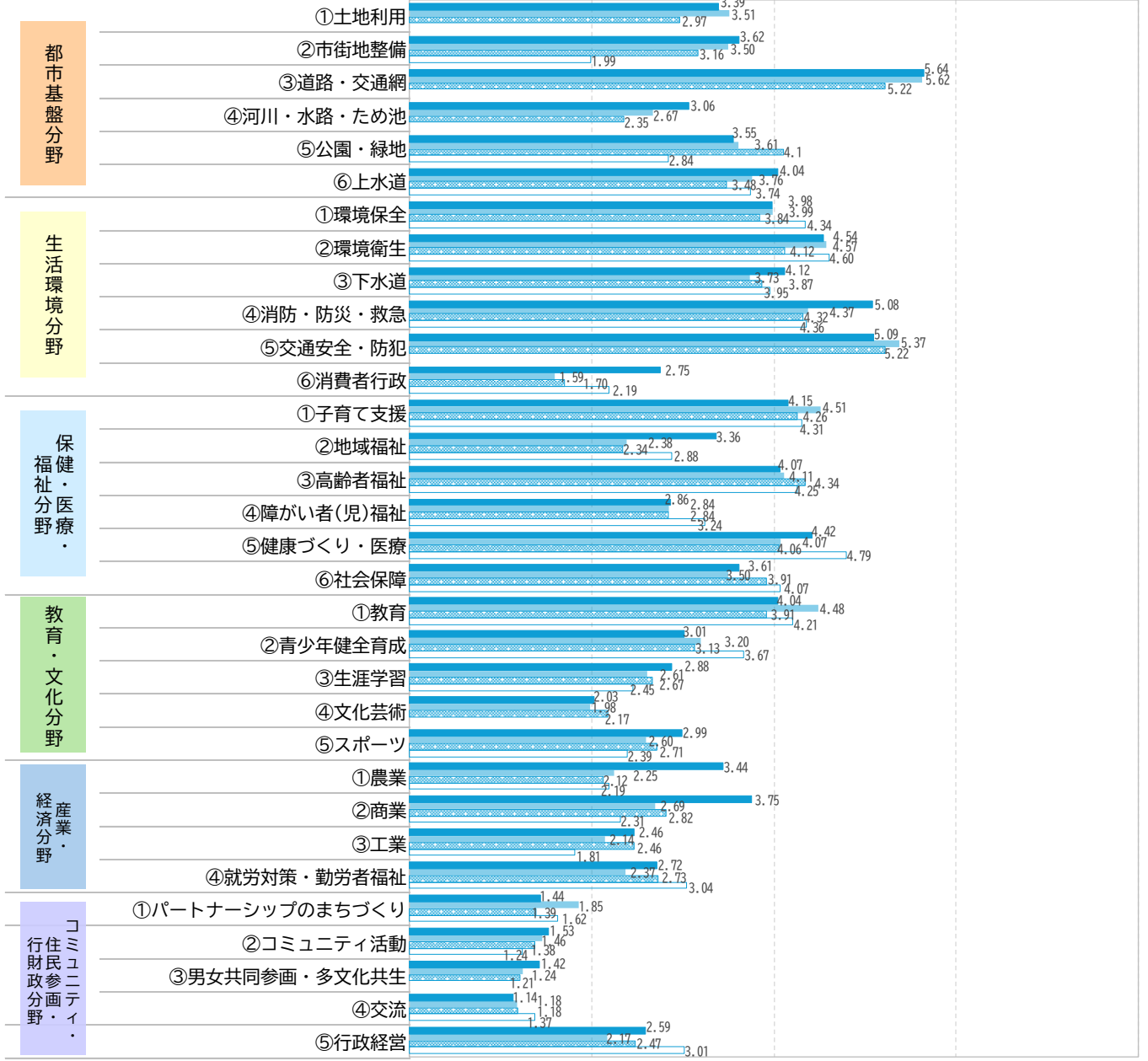
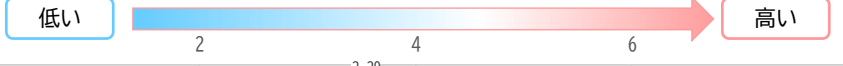
※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば重視している」の回答者数} \\ \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば重視していない」の} \\ \text{回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重視していない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「重視している」、「どちらかとい} \\ \text{えば重視している」、「どちら} \\ \text{ともいえない」、「どちらかとい} \\ \text{えば重視していない」、「重視し} \\ \text{ていない」の回答者数} \end{array}}$$

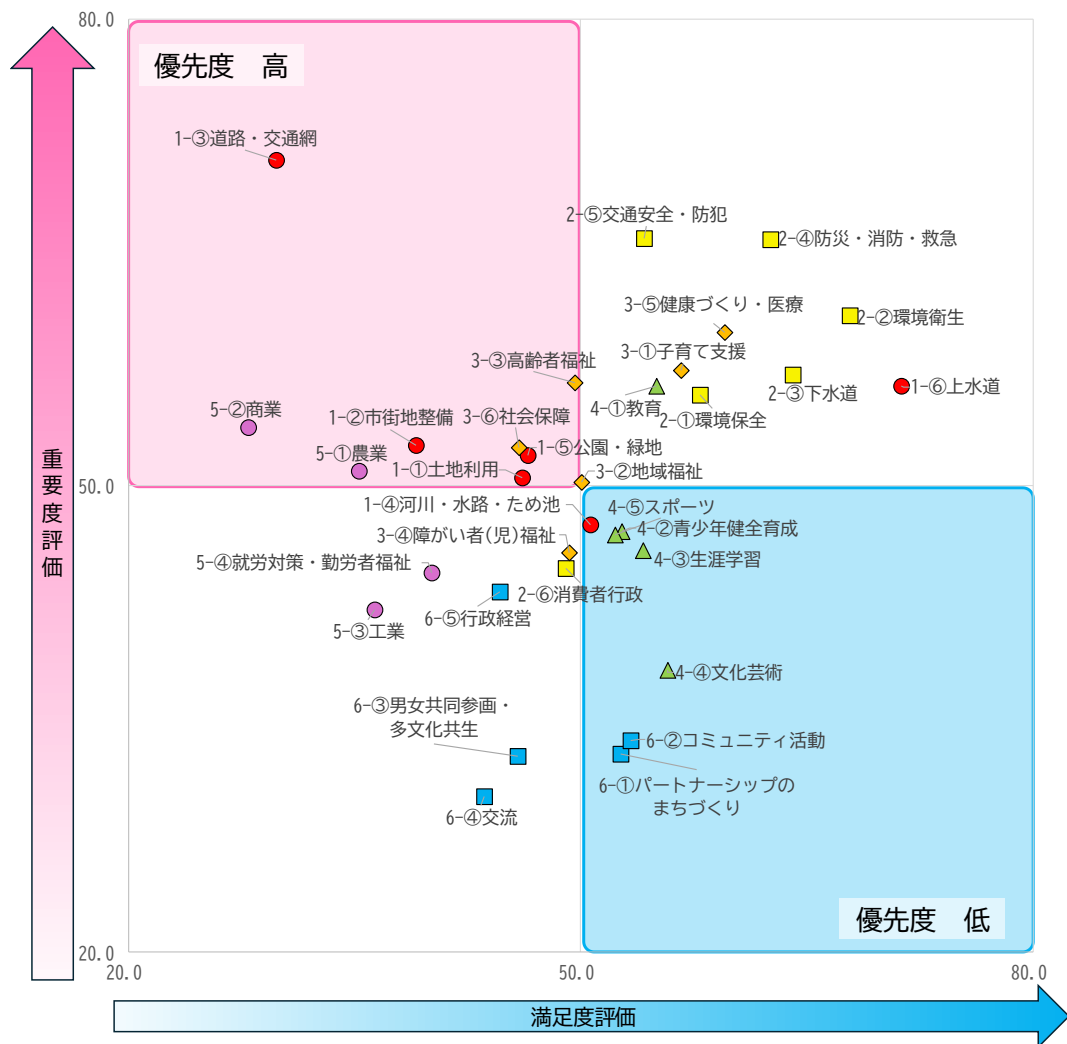
# 重要度

■ 令和7年全体 ■ 令和元年全体 ■ 平成27年全体 □ 平成21年全体



### (3) 優先度

- 優先度が高い項目は「道路・交通網」、「商業」、「市街地整備」
- 優先度が低い項目は「パートナーシップのまちづくり」、「コミュニティ活動」、「文化芸術」



- 都市基盤分野
- ◆ 保健・医療・福祉分野
- 産業・経済分野
- 生活環境分野
- ▲ 教育・文化分野
- コミュニティ・住民参画・行財政分野

#### (4) 今後のまちづくり

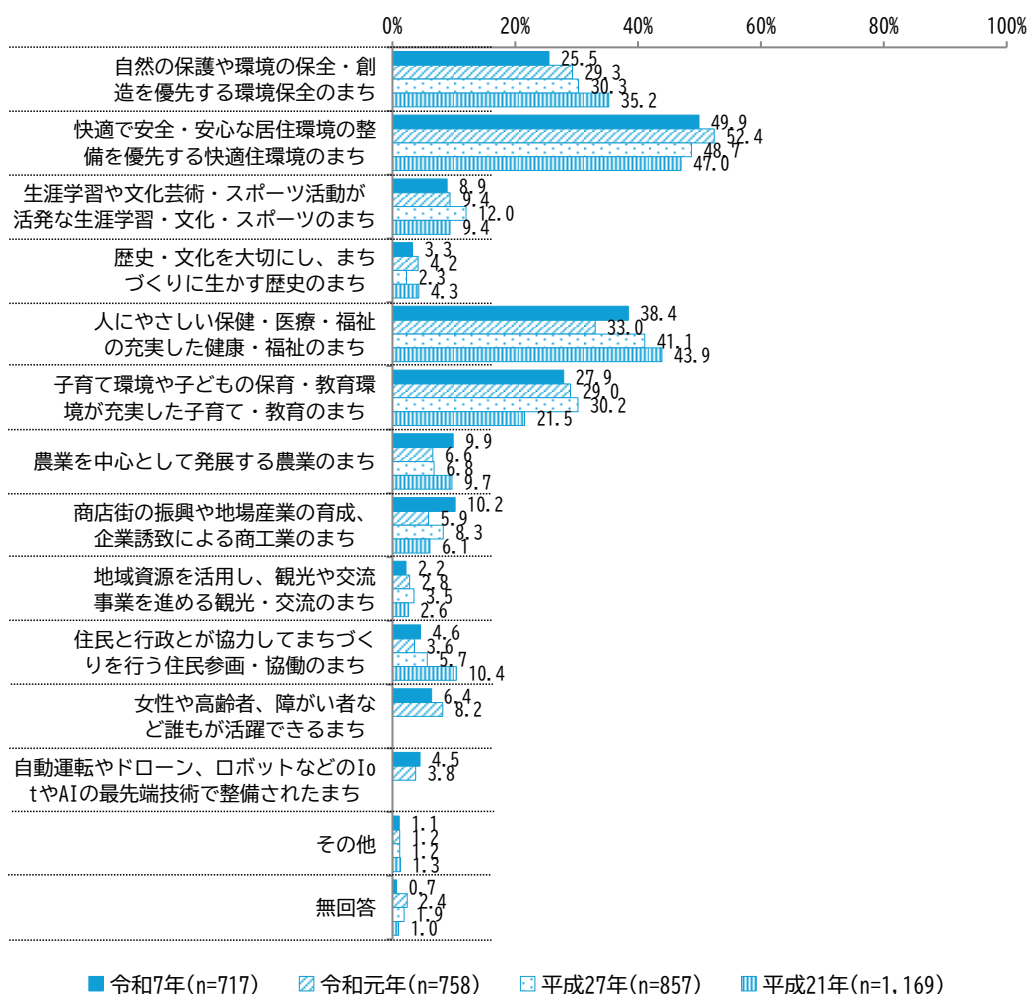
問5 あなたは、今後のまちづくりにおいて、阿久比町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。(2つまで〇印)

「快適で安全・安心な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち」が49.9%、次いで「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」が38.4%

阿久比町の今後のまちづくりの特色について、「快適で安全・安心な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち」(49.9%)が最も高く、次いで「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」(38.4%)、「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」(27.9%)、「自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全のまち」(25.5%)などの順となっています。

#### [前回調査との比較]

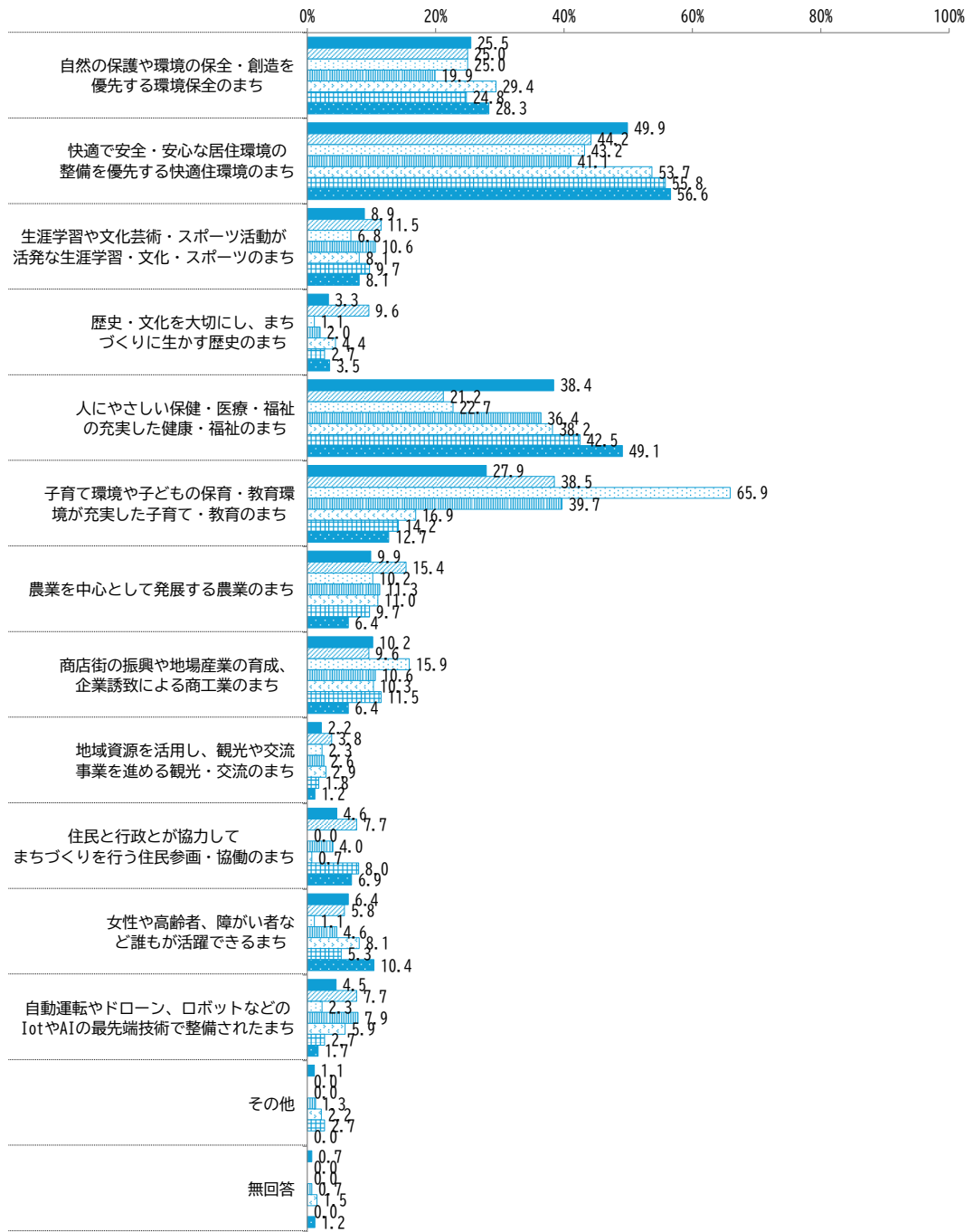
過去調査と上位4位は変わりませんが、「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」が増加傾向、「自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全のまち」、「快適で安全・安心な居住環境の設備を優先する快適住環境のまち」が減少しています。



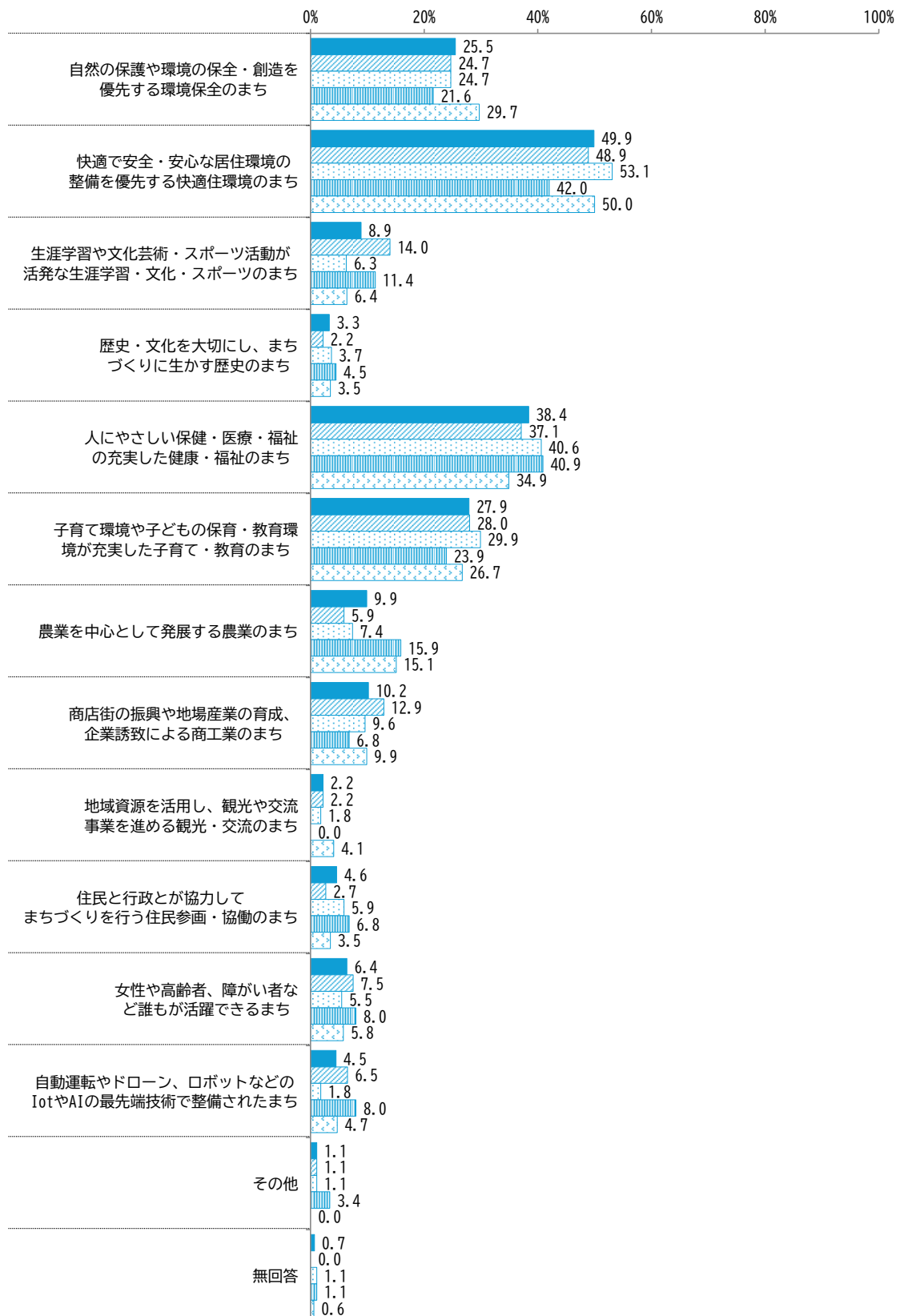
## [回答者の属性別]

年齢で見ると、「快適で安全・安心な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち」では「40代」(41.1%)が低くなっています。「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」では「30代」以下の年齢でやや低く、「60代」以上の年齢で高くなっています。「自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全のまち」では「50代」(29.4%)が高くなっています。「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」では「30代」(65.9%)がかなり高くなっており、加齢とともに低くなっています。

居住地区で見ると、「快適で安全・安心な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち」では「草木小学校区」(42.0%)がやや低くなっています。「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」では「草木小学校区」(40.9%)がやや高く、「南部小学校区」(34.9%)がやや低くなっています。「自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全のまち」では「南部小学校区」(29.7%)がやや高くなっています。「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」では「英比小学校区」(29.9%)が高く、「草木小学校区」(23.9%)がやや低くなっています。



■合計 (n=717) □10代・20代 (n=52) ▨30代 (n=88) ▩40代 (n=151) ▪50代 (n=136) ▫60代 (n=113) ■70歳以上 (n=173)



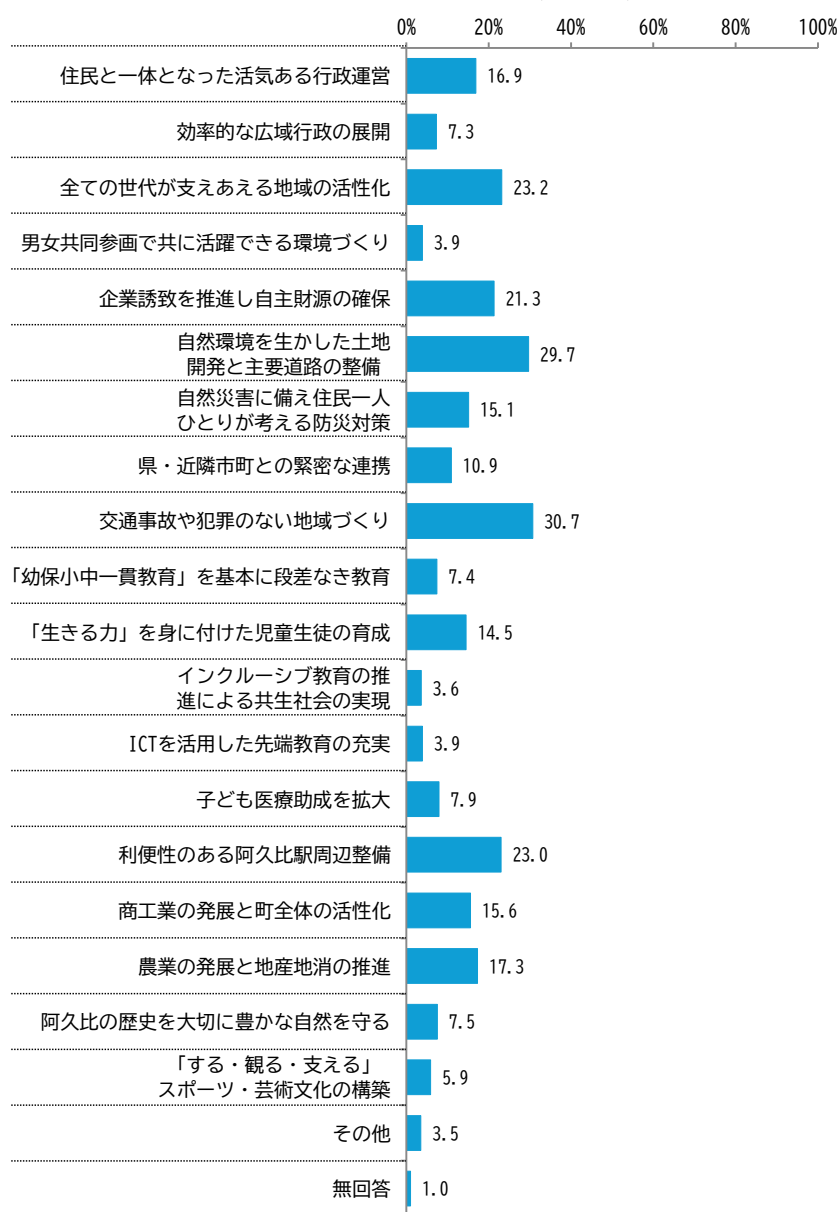
■合計 (n=717) □東部小学校区 (n=186) □英比小学校区 (n=271) ■草木小学校区 (n=88) □南部小学校区 (n=172)

## (5) 阿久比町の夢ある未来へのまちづくり

問6 阿久比町の夢ある未来へのまちづくりのため、あなたは、どのような政策の推進が重要だと思いますか。(3つまで〇印)

「交通事故や犯罪のない地域づくり」が30.7%、次いで「自然環境を生かした土地開発と主要道路の整備」が29.7%

阿久比町の夢ある未来へのまちづくりのための重要な政策の推進について、「交通事故や犯罪のない地域づくり」が30.7%と最も高く、次いで「自然環境を生かした土地開発と主要道路の整備」(29.7%)、「全ての世代が支えあえる地域の活性化」(23.2%)、「利便性のある阿久比駅周辺整備」(23.0%)などの順となっています。



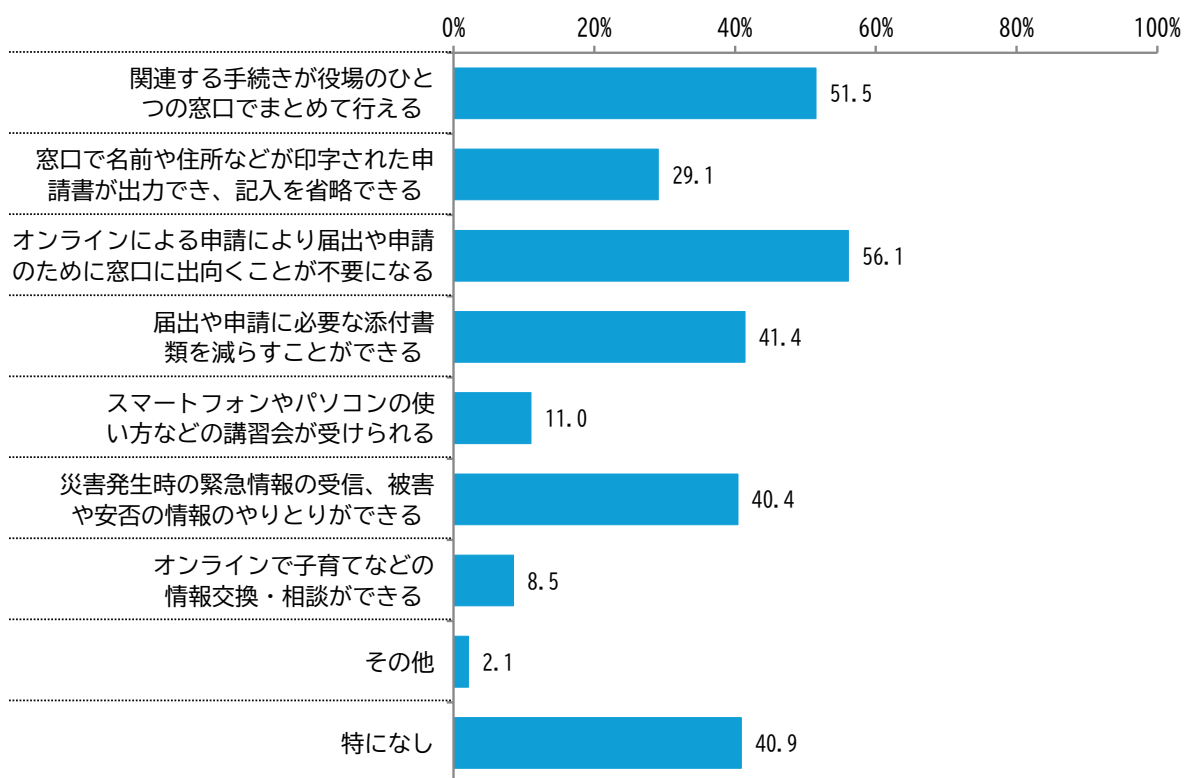
(n=717)

## (6) デジタル技術を活用した行政サービスの期待

問8 デジタル技術を活用した行政サービスとして、何ができるようになることに期待しますか。(3つまで〇印)

「オンラインによる申請により届出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が56.1%、次いで「関連する手続きが役場のひとつの窓口でまとめて行える」が51.5%

デジタル技術を活用した行政サービスへ期待することについて、「オンラインによる申請により届出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が56.1%と最も高く、次いで「関連する手続きが役場のひとつの窓口で行える」(51.5%)、「届出や申請に必要な添付書類を減らすことができる」(41.4%)、「災害発生時の緊急情報の受信、被害や安否の情報のやりとりができる」(40.4%)などの順となっています。また、「特になし」は40.9%となっています。



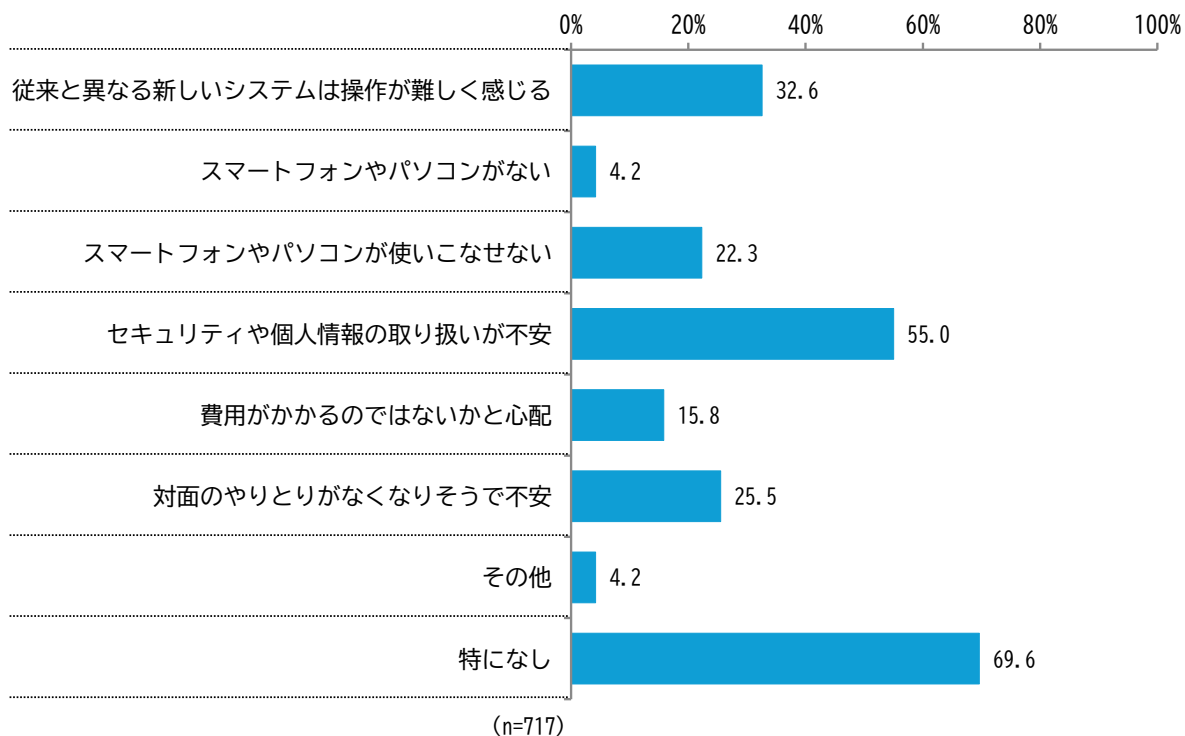
(n=717)

## (7) デジタル技術を活用した行政サービスの不安や困りごと

問9 デジタル技術を活用した行政サービスの利用にあたって、不安や困りごとはありますか。(3つまで〇印)

「セキュリティや個人情報の取り扱いが不安」が55.0%、次いで「従来と異なる新しいシステムは操作が難しく感じる」が32.6%

デジタル技術を活用した行政サービスの利用について、「セキュリティや個人情報の取り扱いが不安」が55.0%と最も高く、次いで「従来と異なる新しいシステムは操作が難しく感じる」(32.6%)、「対面のやりとりがなくなりそうで不安」(25.5%)、「スマートフォンやパソコンが使いこなせない」(22.3%)などの順となっています。また、「特になし」は69.6%となっています。



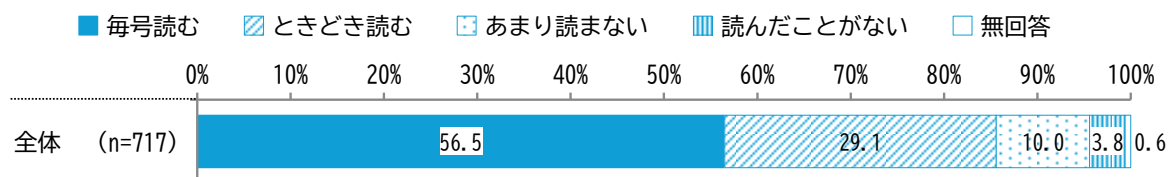
## 4 阿久比町の広報について

### (1) 「広報あぐい」の閲読

問 10 「広報あぐい」を読んでいますか。(1つに○印)

「毎号読む」が56.5%、次いで「ときどき読む」が29.1%

「広報あぐい」を読んでいるかについては、「毎号読む」が56.5%と最も高く、次いで「ときどき読む」(29.1%)、「あまり読まない」(10.0%)、「読んだことがない」(3.8%)の順となっています。



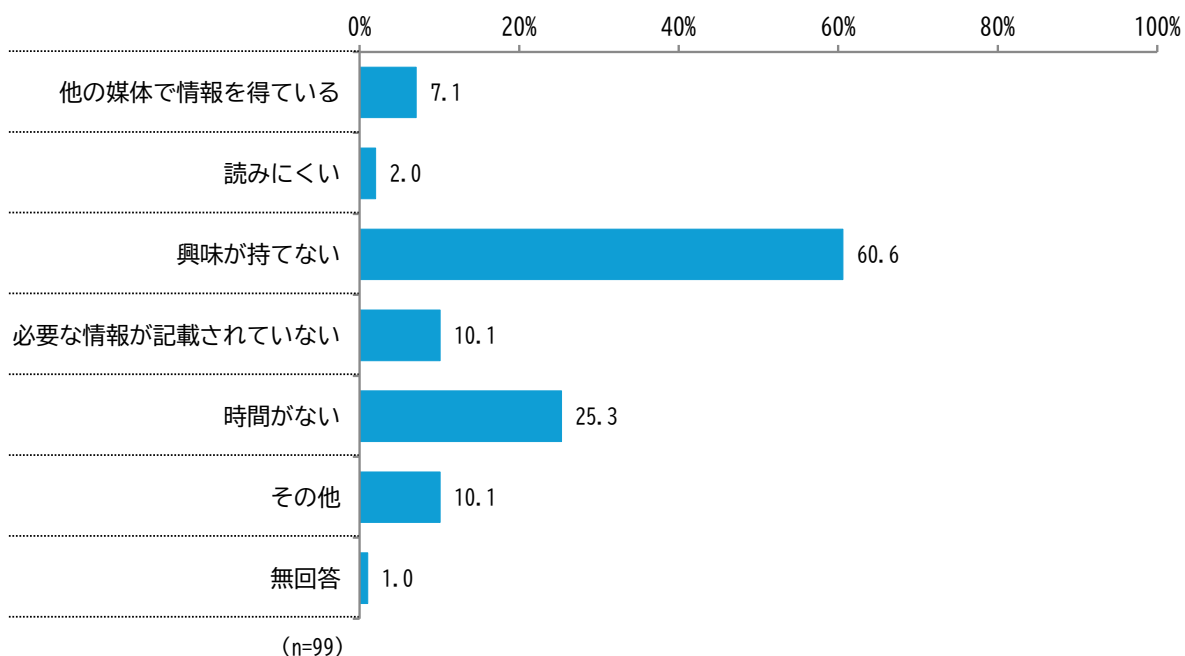
## (2) 「広報あぐい」を閲読しない理由

問 11 問 10で「あまり読まない」「読んだことがない」と回答した方にお伺いします。

読まない理由を教えてください。(複数回答可)

「興味が持てない」が 60.6%、次いで「時間がない」が 25.3%

「広報あぐい」を読まない理由については、「興味が持てない」が 60.6%と最も高く、次いで「時間がない」(25.3%)、「必要な情報が記載されていない」(10.1%)などの順となっています。



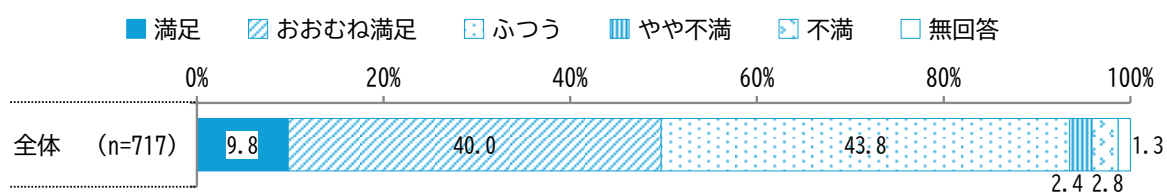
### (3)「広報あぐい」の満足度

問 12 「広報あぐい」の満足度はどのくらいですか？（1つに○印）



「ふつう」が43.8%、次いで「おおむね満足」が40.0%

「広報あぐい」の満足度については、「ふつう」が43.8%と最も高く、次いで「おおむね満足」(40.0%)、「満足」(9.8%)、「不満」(2.8%)などの順となっています。

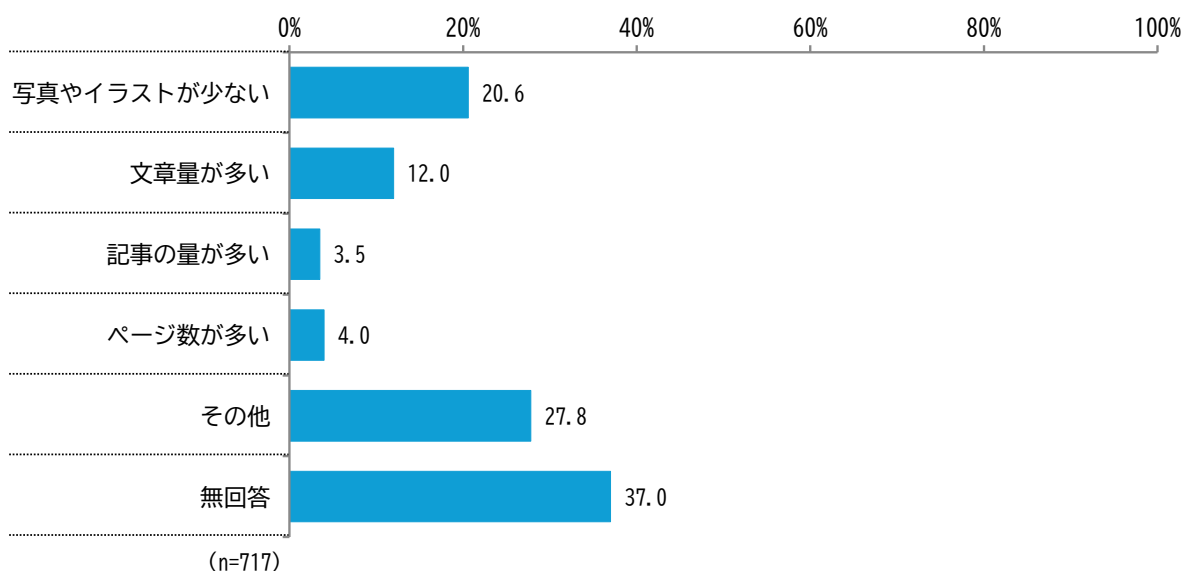


#### (4)「広報あぐい」の改善して欲しい点

問 13 「広報あぐい」について、改善して欲しい点がありますか。(複数回答可)

「写真やイラストが少ない」が20.6%、次いで「文章量が多い」が12.0%

「広報あぐい」について、改善して欲しい点については、「写真やイラストが少ない」が20.6%と最も高く、次いで「文章量が多い」(12.0%)、「ページ数が多い」(4.0%)、「記事の量が多い」(3.5%)の順となっています。また、「その他」の意見としては、町独自の情報を記載して欲しいことや文字を大きくして欲しいといった要望がありました。



#### 「その他」の主な内容

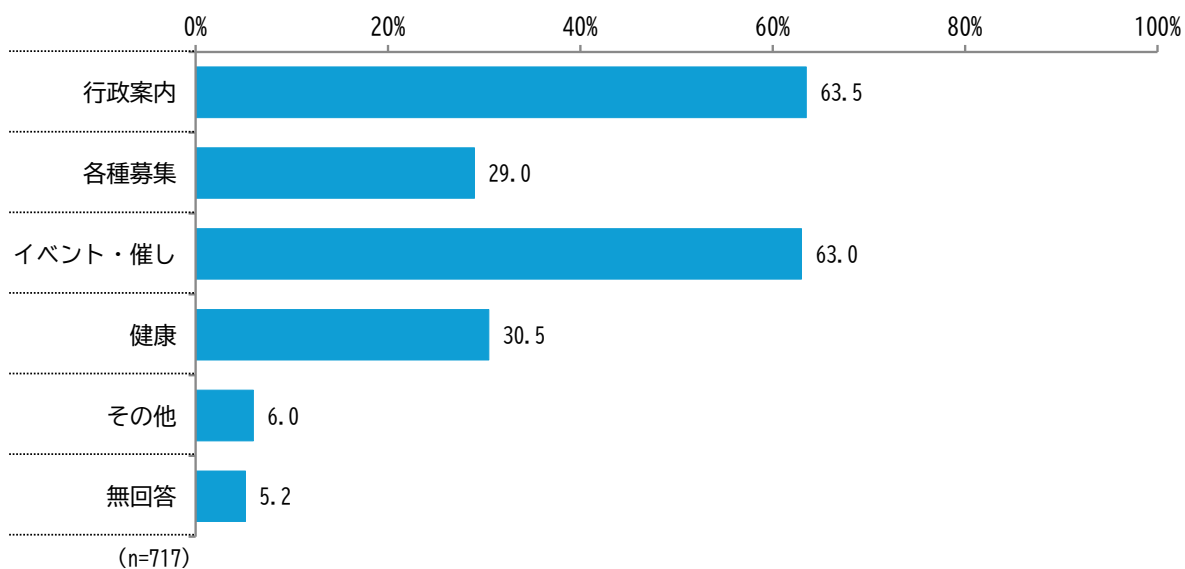
- ・阿久比町独自の記事の掲載をして欲しい
- ・文字を大きくして欲しい
- ・様々な分野で活躍している人物
- ・知りたい情報が見つげにくい
- ・阿久比町のお店紹介をして欲しい
- ・カラーページを増やして欲しい
- ・目次が欲しい

## (5) 「広報あぐい」から知りたい情報

問 14 「広報あぐい」からは、どのような情報を知りたいですか？（複数回答可）

「行政案内」が 63.5%、次いで「イベント・催し」が 63.0%

「広報あぐい」からは、どのような情報を知りたいかについては、「行政案内」が 63.5%と最も高く、次いで「イベント・催し」(63.0%)、「健康」(30.5%)、「各種募集」(29.0%)の順となっています。

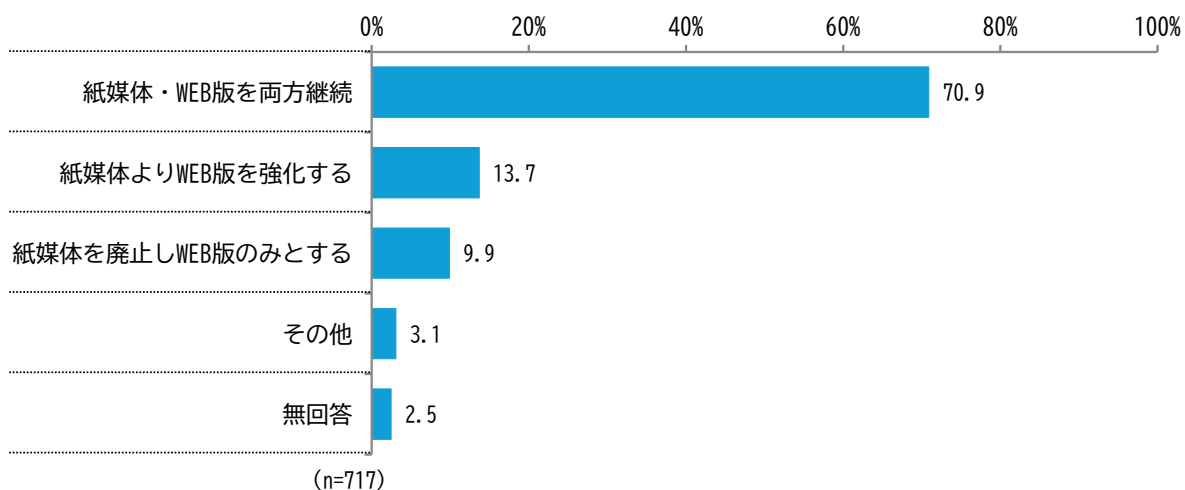


## (6) 今後の「広報あぐい」の媒体

問 15 「広報あぐい」は現在、紙媒体とWEB版の両方で運用していますが、あなたは今後、「広報あぐい」がどのようなことを希望しますか。(1つに○印)

「紙媒体・WEB版を両方継続」が70.9%、次いで「紙媒体よりWEB版を強化する」が13.7%

今後、「広報あぐい」がどのようなことを希望するかについては、「紙媒体・WEB版を両方継続」が70.9%と最も高く、次いで「紙媒体よりWEB版を強化する」(13.7%)、「紙媒体を廃止しWEB版のみとする」(9.9%)の順となっています。

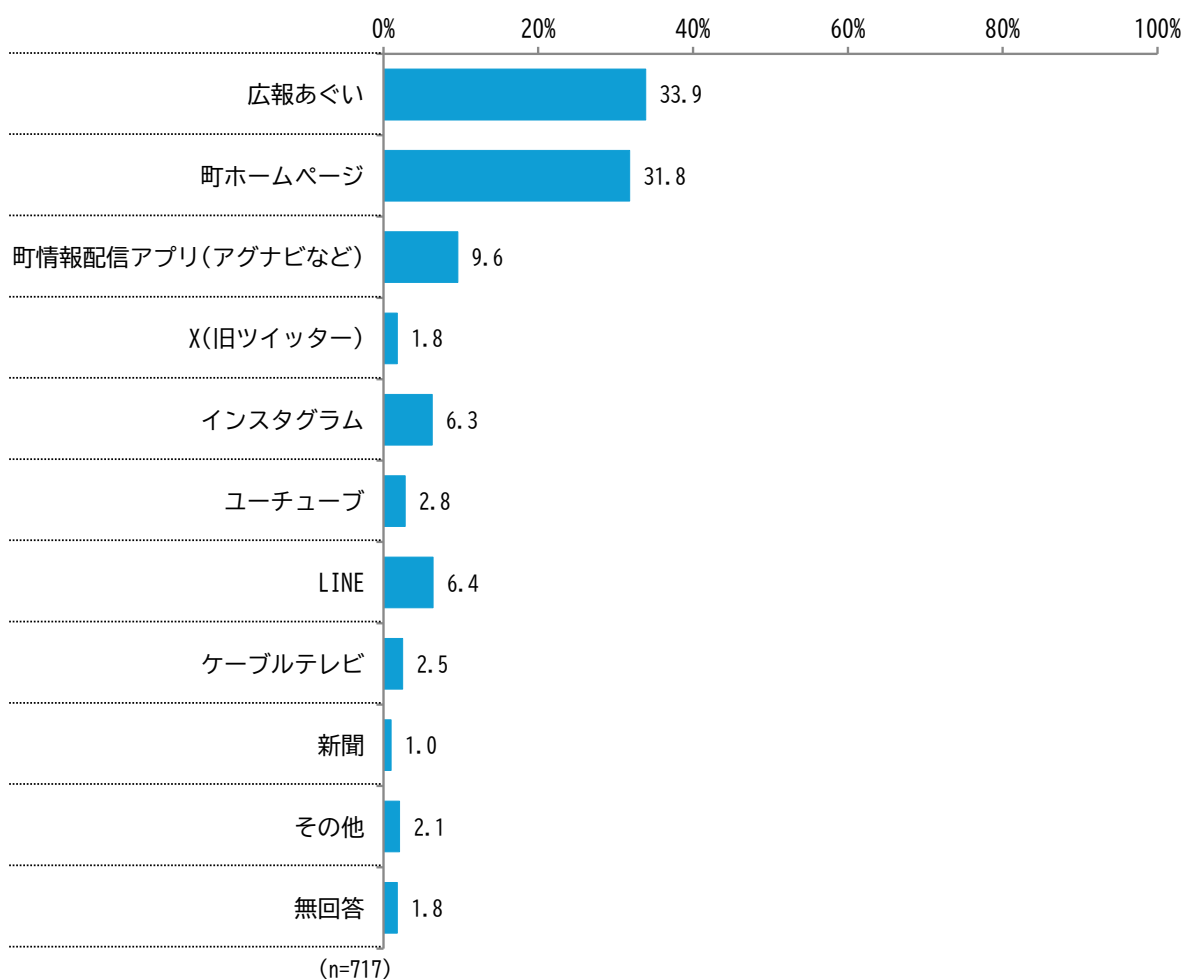


## (7) 力を入れてほしい広報媒体

問 16 今後、阿久比町において、力を入れてほしい広報媒体をひとつだけ選んでください。(1つに○印)

「広報あぐい」が 33.9%、次いで「町ホームページ」が 31.8%

力を入れてほしい広報媒体については、「広報あぐい」が 33.9%と最も高く、次いで「町ホームページ」(31.8%)、「町情報配信アプリ(アグナビなど)」(9.6%)、「LINE」(6.4%)などの順となっています。



## 5 少子高齢化について

### (1) 人口減少、少子高齢化

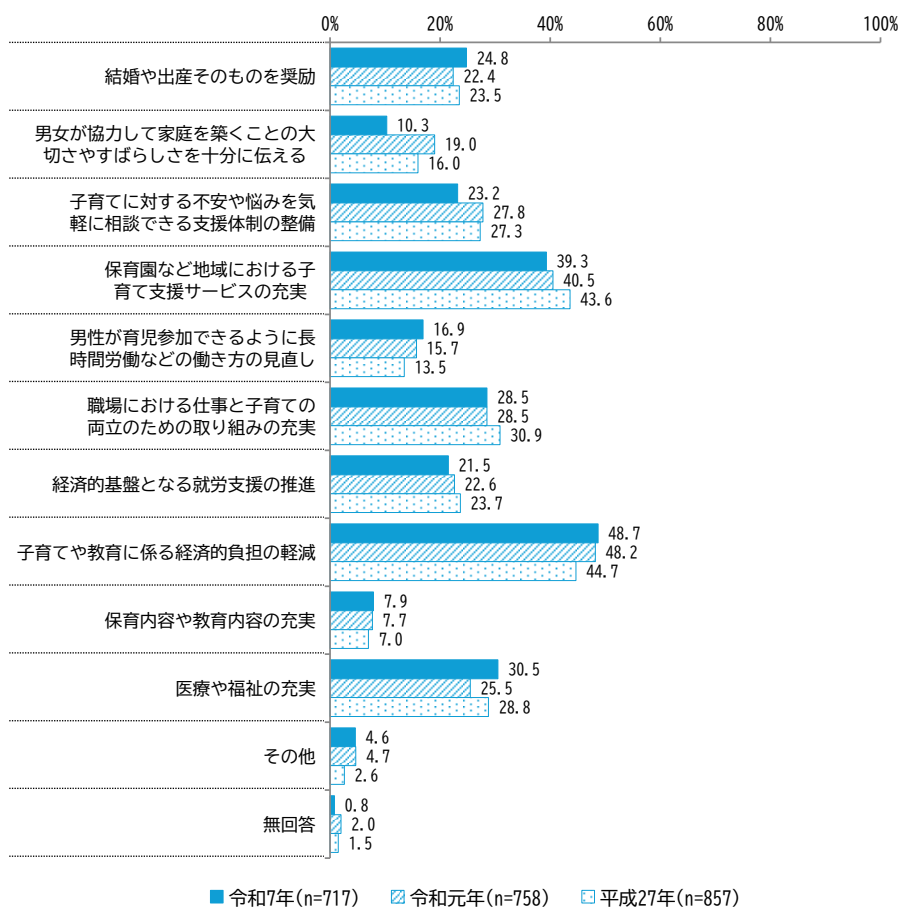
問 17 全国的に人口減少、少子高齢化が進行しており社会問題となっています。あなたは、少子化対策についてどのような取り組みが重要だと思いますか。(3つまで〇印)

「子育てや教育に係る経済的負担の軽減」が48.7%、次いで「保育園など地域における子育て支援サービスの充実」が39.3%

少子化対策についてどのような取り組みが重要かについては、「子育てや教育に係る経済的負担の軽減」が48.7%と最も高く、次いで「保育園など地域における子育て支援サービスの充実」(39.3%)、「医療や福祉の充実」(30.5%)、「職場における仕事と子育ての両立のための取り組みの充実」(28.5%)などの順となっています。

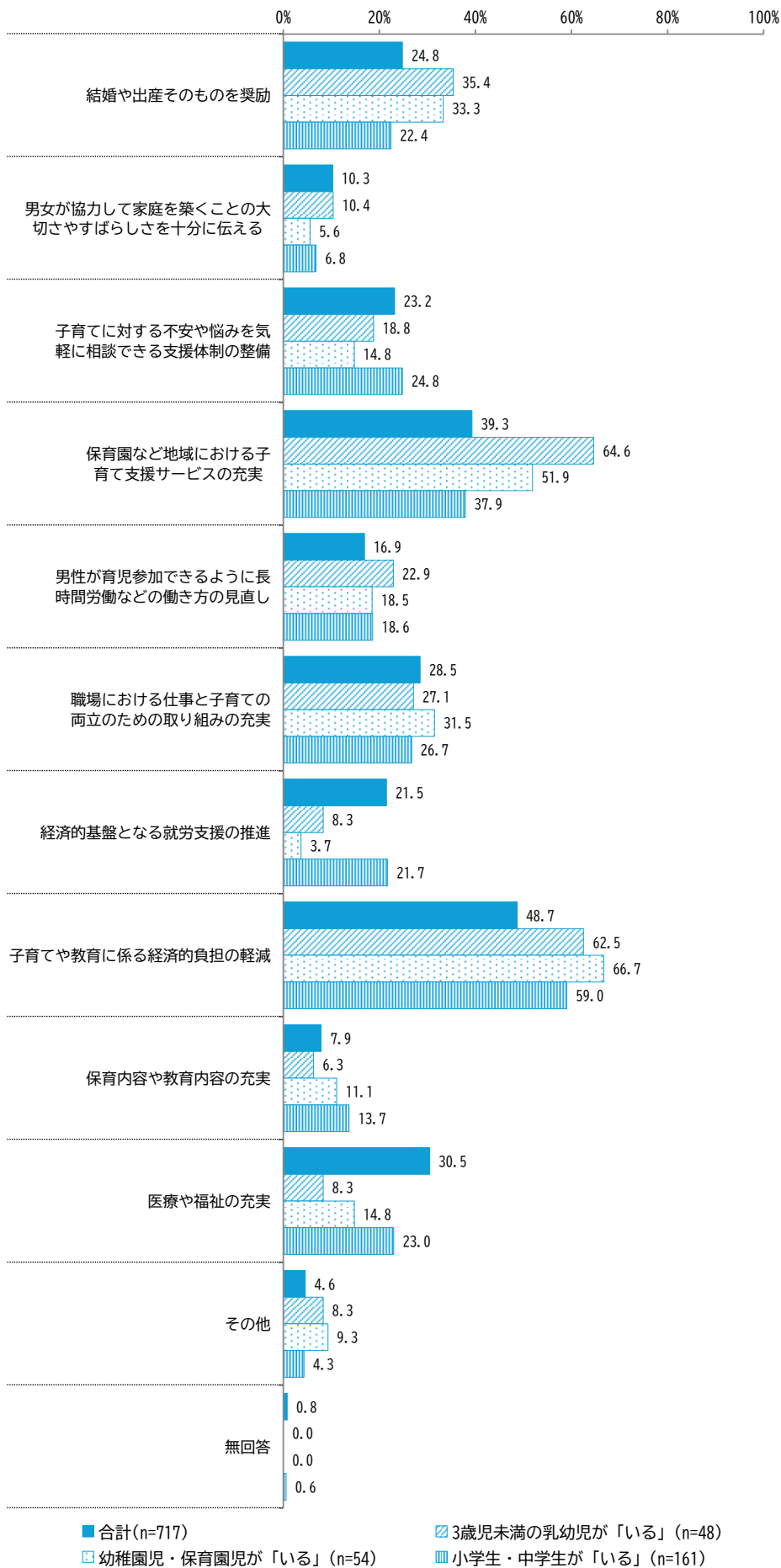
#### [前回調査との比較]

「男女が協力して家庭を築くことの大切さやすばらしさを十分に伝える」(8.7ポイント)は減少している一方で「医療や福祉の充実」(5.0ポイント)は増加しています。



### [子どものいる家庭との比較]

住民全体の結果と中学生以下の子どものいる家庭との比較をしてみると、「子育てや教育に係る経済的負担の軽減」(全体：48.7%)では「幼稚園児・保育園児が「いる」」家庭で66.7%と特に高くなっています。「保育園など地域における子育て支援サービスを充実すべき」(全体：39.3%)では「3歳児未満の乳幼児が「いる」」家庭で64.6%と特に高くなっています。「職場における仕事と子育ての両立のための取り組みを充実」(全体：28.5%)では「幼稚園児・保育園児が「いる」」家庭で31.5%と特に高くなっています。「子育てに対する不安や悩みを気軽に相談できる支援体制の整備」(全体：23.2%)では小学生・中学生が「いる」」家庭で24.8%と特に高くなっています。また、「男性が育児参加できるよう長時間労働等の働き方の見直し」(全体：16.9%)では「3歳児未満の乳幼児が「いる」」家庭で22.9%と特に高くなっています。



## (2) 理想的な子どもの数の実現

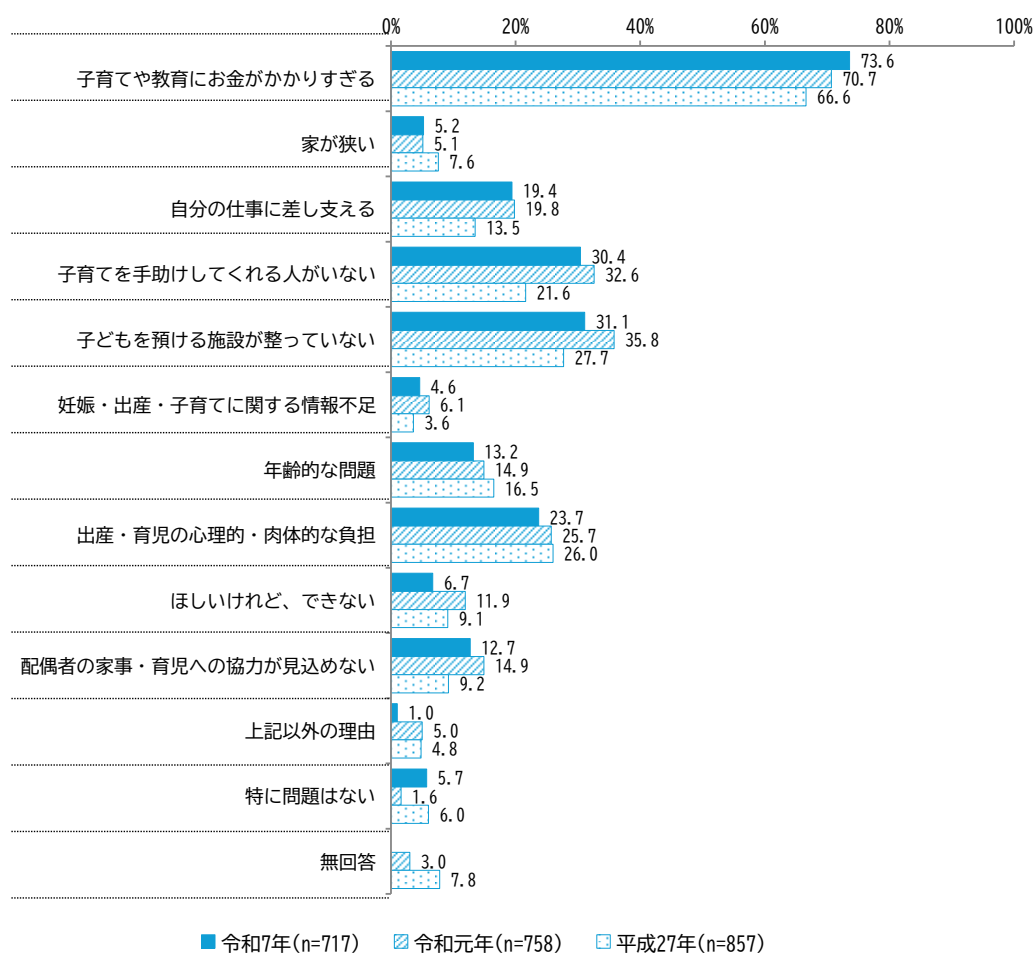
問 18 あなたは、理想的な子どもの数を実現するために、問題になること（なり  
 そうなこと）は何だと思えますか。（3つまで〇印）

「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が73.6%、次いで「子どもを預ける施設が整っていない」が31.1%

理想的な子どもの数の実現に問題となることについては、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が73.6%と最も高く、次いで「子どもを預ける施設が整っていない」(31.1%)、「子育てを手助けしてくれる人がいない」(30.4%)、「出産・育児の心理的・肉体的な負担」(23.7%)、「自分の仕事に差し支える」(19.4%)などの順となっています。

### [前回調査との比較]

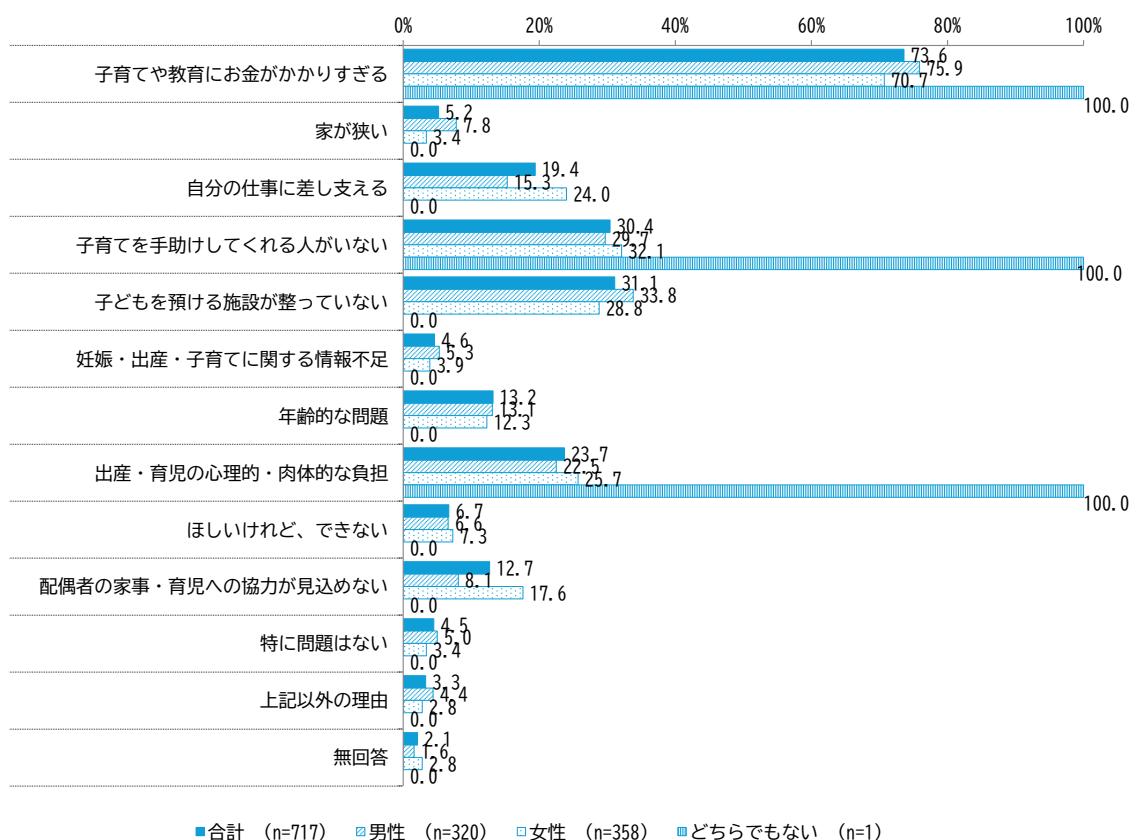
「子育てや教育にお金がかかりすぎる」(2.9ポイント)が増加しています。

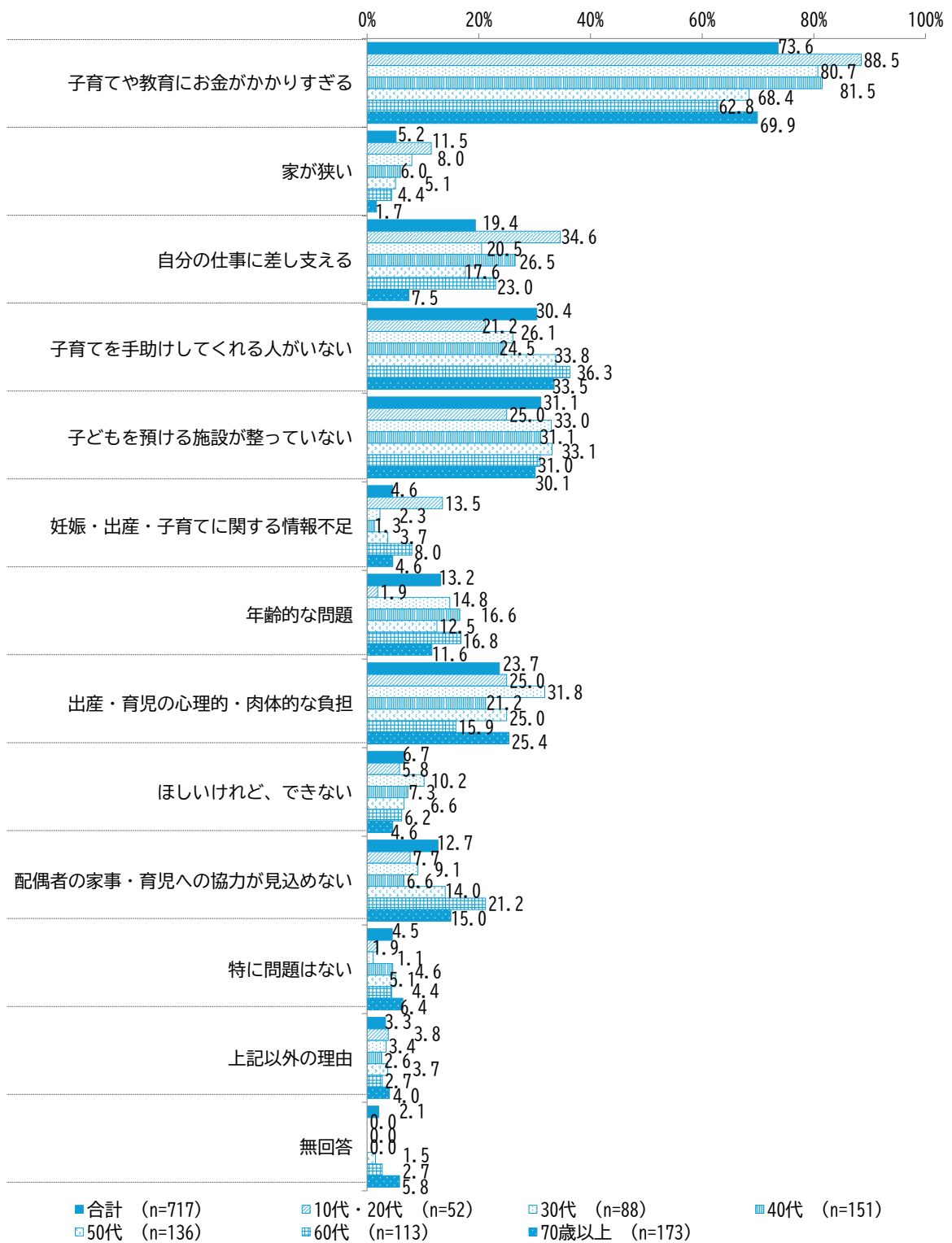


## [回答者の属性別]

性別でみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」(全体：73.6%)では「男性」(75.9%)の方が「女性」(70.7%)より高くなっています。「子どもを預ける施設が整っていない」(全体：31.1%)では「男性」(33.8%)の方が「女性」(28.8%)より高くなっています。「子育てを手助けしてくれる人がいない」(全体：30.4%)では「女性」(32.1%)の方が「男性」(29.7%)より高くなっています。「出産・育児の心理的・肉体的な負担」(全体：23.7%)では「女性」(25.7%)の方が「男性」(22.5%)より高くなっています。「自分の仕事に差し支える」(全体：19.4%)では「女性」(24.0%)の方が「男性」(15.3%)より高くなっています。「配偶者の家事・育児への協力が見込めない」(全体：12.7%)では「女性」(17.6%)の方が「男性」(8.1%)よりかなり高くなっています。

年齢でみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」(全体：73.6%)では「10代・20代」(88.5%)が高く、「60代」(62.8%)が低くなっています。「子どもを預ける施設が整っていない」(全体：31.1%)では「50代」(33.1%)が高く、「10代・20代」(25.0%)が低くなっています。「子育てを手助けしてくれる人がいない」(全体：30.4%)では「60代」(36.3%)が高く、「10代・20代」(21.2%)が低くなっています。「出産・育児の心理的・肉体的な負担」(全体：23.7%)では「30代」(31.8%)が高く、「60代」(15.9%)が低くなっています。「自分の仕事に差し支える」(全体：19.4%)では「10代・20代」(34.6%)が高く、「70歳以上」(7.5%)が低くなっています。





### (3) 町の子育て環境

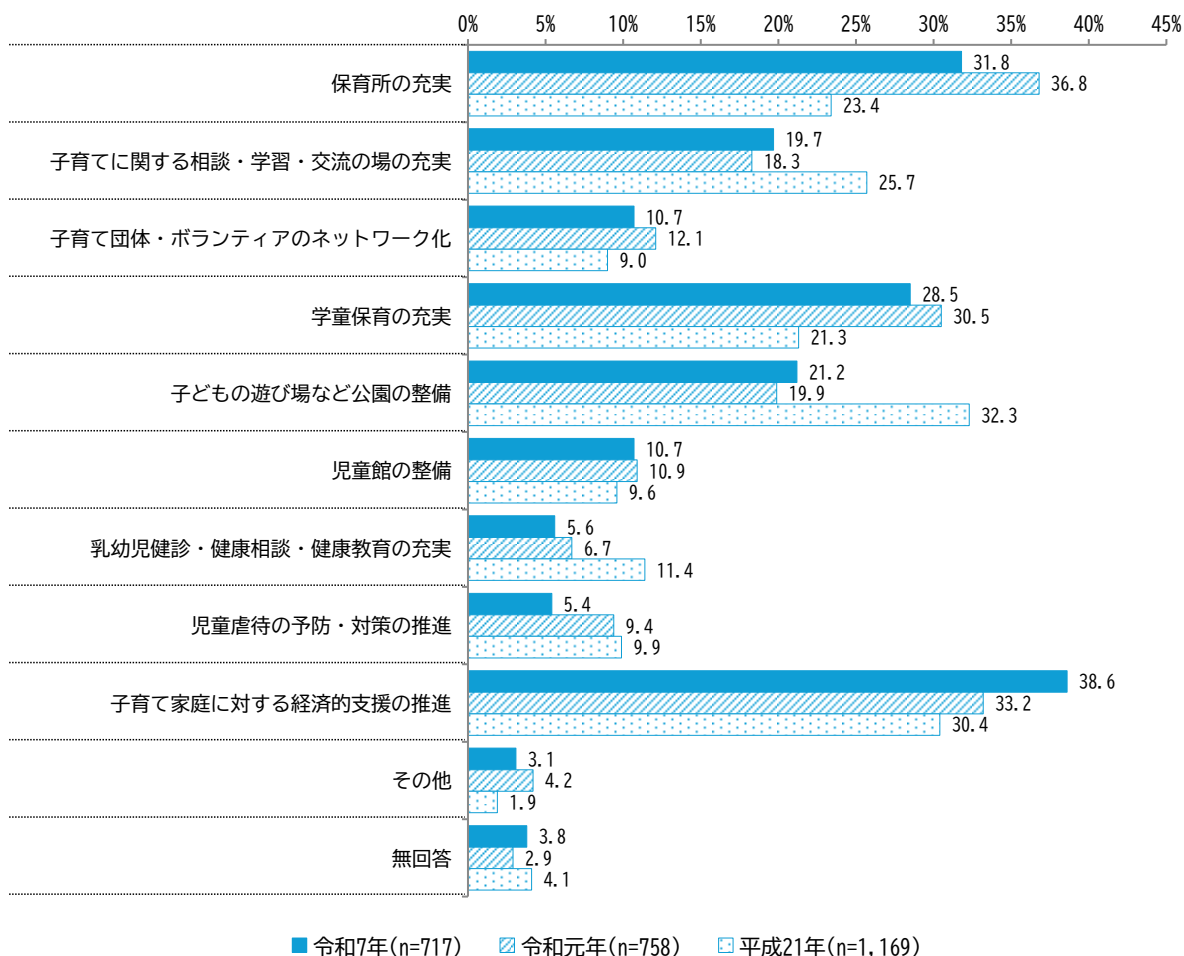
問 19 あなたは、町の子育て環境を充実させるため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(2つまで〇印)

「子育て家庭に対する経済的支援の推進」が 38.6%、次いで「保育所の充実」が 31.8%

町の子育て環境への取り組みについては、「子育て家庭に対する経済的支援の推進」が 38.6%と最も高く、次いで「保育所の充実」(31.8%)、「学童保育の充実」(28.5%)、「子どもの遊び場など公園の整備」(21.2%)、「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」(19.7%)などの順となっています。

#### [前回調査との比較]

「子育て家庭に対する経済的支援の推進」(5.4 ポイント)が増加し、「保育所の充実」(5.0 ポイント)と「児童虐待の予防・対策の推進」(4.0 ポイント)が減少しています。



### [子どものいる家庭との比較]

住民全体の結果と中学生以下の子どものいる家庭との比較をしてみると、「保育所の充実」(全体：31.8%)では「3歳児未満の乳幼児が「いる」」(54.2%)が高くなっています。「子育て家庭に対する経済的支援の推進」(全体：38.6%)では「3歳児未満の乳幼児が「いる」」(50.0%)が高くなっています。「学童保育の充実」(全体：28.5%)では「小学生・中学生が「いる」」(28.6%)が高くなっています。「子どもの遊び場など公園の整備」(全体：21.2%)では「幼稚園児・保育園児が「いる」」(42.6%)が高くなっています。「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」(全体：19.7%)では「小学生・中学生が「いる」」(14.3%)が高くなっています。



#### (4) 高齢社会への対応

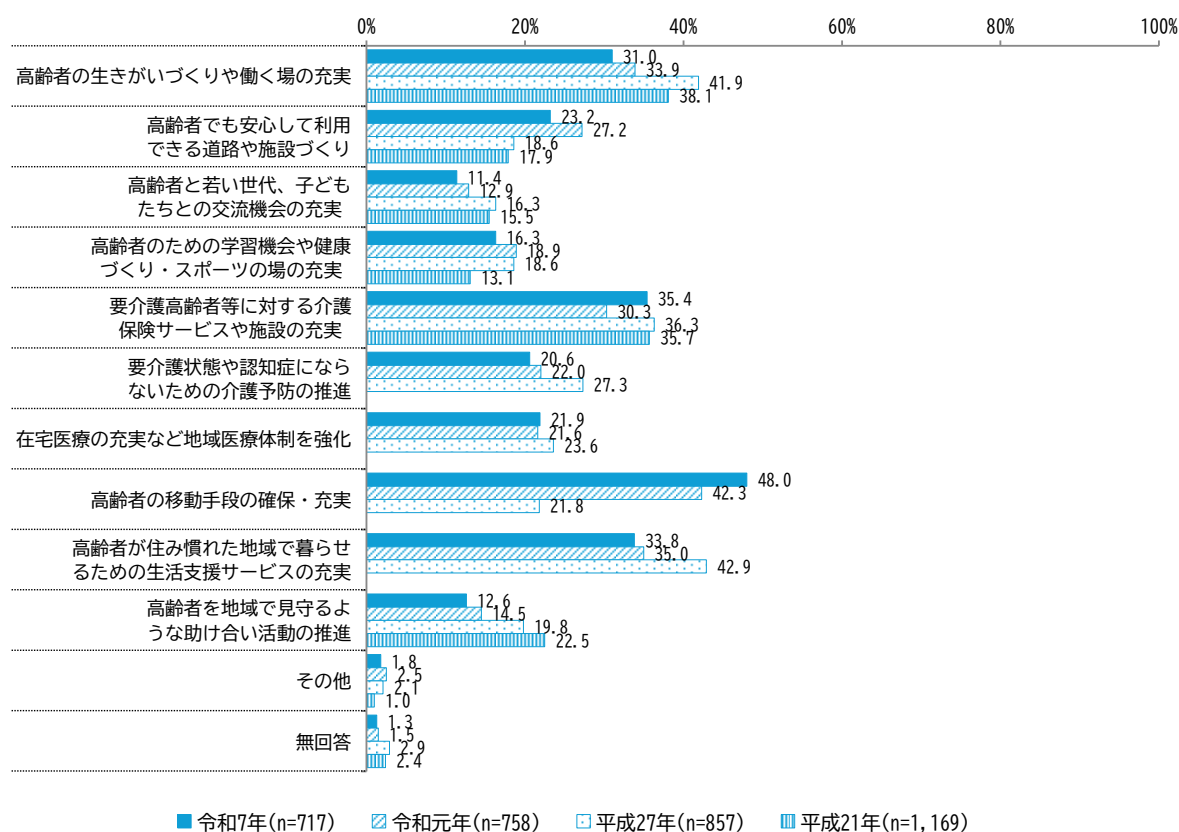
問 20 あなたは、高齢社会に対応するためどのような取り組みが重要だと思いますか。(3つまで○印)

「高齢者の移動手段の確保・充実」が48.0%、次いで「要介護高齢者等に対する介護保険サービスや施設の充実」が35.4%

高齢社会に対応するための取り組みについては、「高齢者の移動手段の確保・充実」が48.0%と最も高く、次いで「要介護高齢者等に対する介護保険サービスや施設の充実」(35.4%)、「高齢者が住み慣れた地域で暮らせるための生活支援サービスの充実」(33.8%)、「高齢者の生きがいがづくりや働く場の充実」(31.0%)、「高齢者でも安心して利用できる道路や施設づくり」(23.2%)などの順となっています。

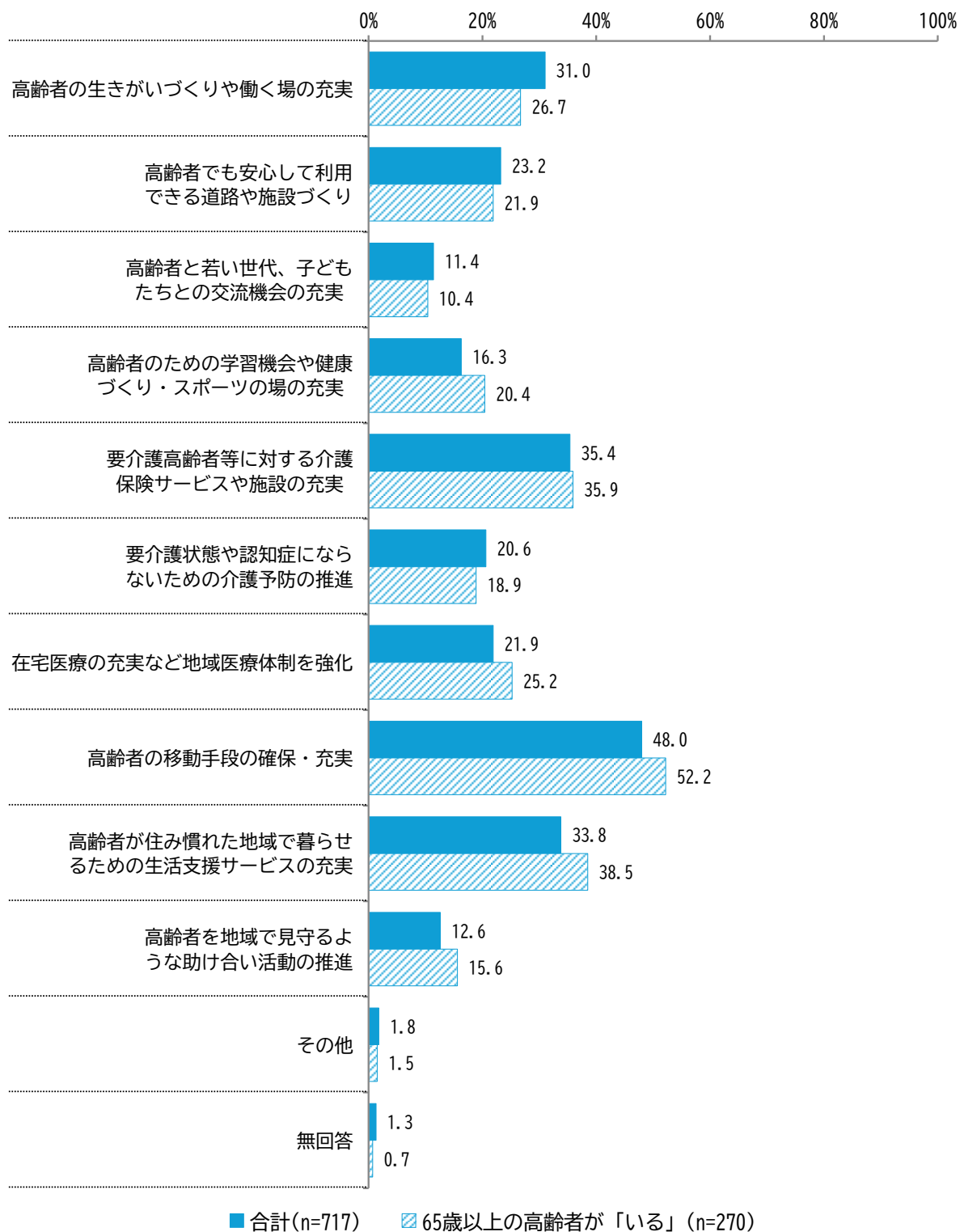
#### [前回調査との比較]

「要介護高齢者等に対する介護保険サービスや施設の充実」や「高齢者の移動手段の確保・充実」が増加傾向となっています。「高齢者でも安心して利用できる道路や施設づくり」が減少傾向となっています。



### [高齢者のいる家庭との比較]

住民全体の結果と高齢者のいる家庭との比較では、「高齢者のための学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実」、「高齢者の移動手段の確保・充実」、「要介護高齢者等に対する介護保険サービスや施設の充実」、「在宅医療の充実など地域医療体制を強化」、「高齢者が住み慣れた地域で暮らせるための生活支援サービスの充実」、「高齢者を地域で見守るような助け合い活動の推進」でやや高くなっています。



## 6 住みやすさについて

### (1) 住みやすさを感じる点

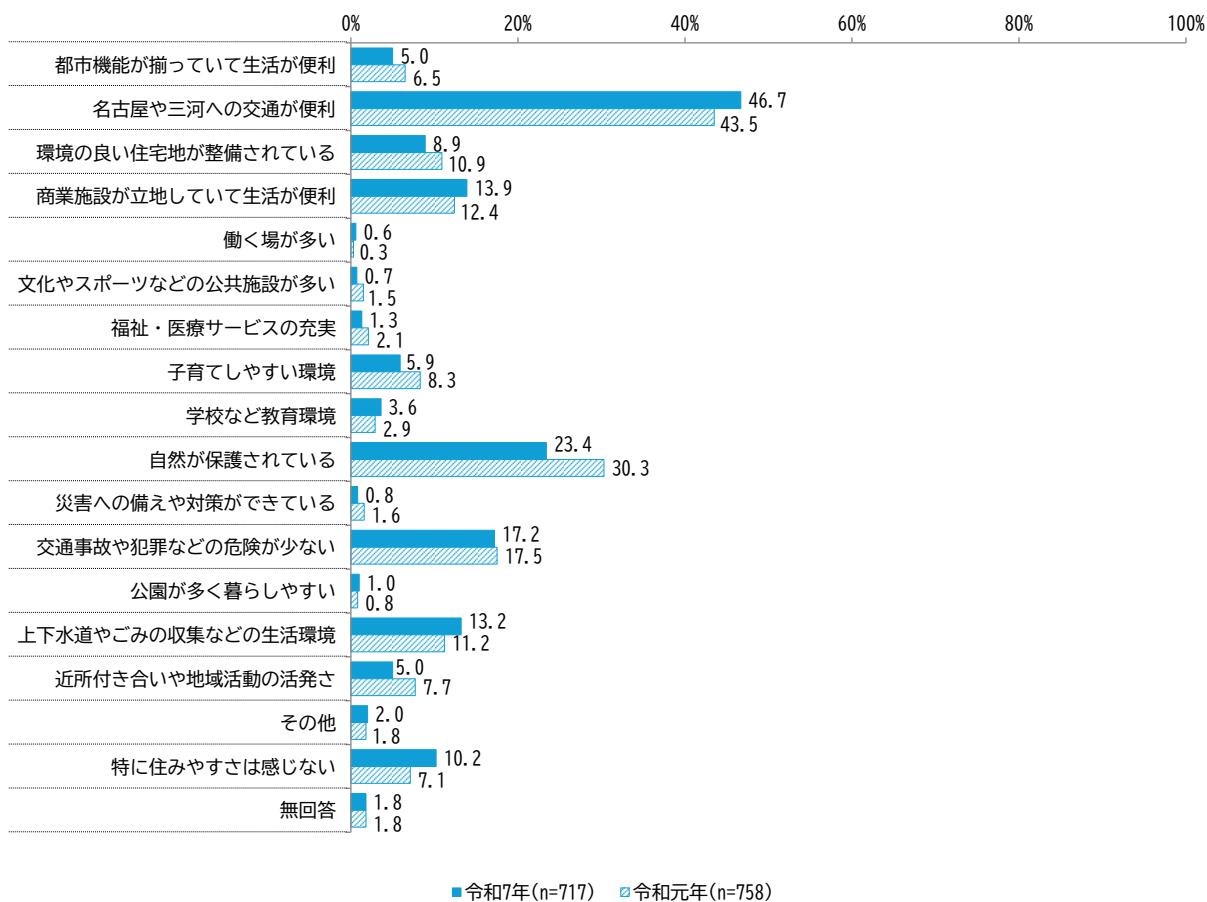
問 21 あなたが、阿久比町に住みやすさを感じる点はどういった点ですか。  
(2つまで○印)

「名古屋や三河への交通が便利」が 46.7%、次いで「自然が保護されている」が 23.4%

阿久比町での住みやすさについては、「名古屋や三河への交通が便利」が 46.7%と最も高く、次いで「自然が保護されている」(23.4%)、「交通事故や犯罪などの危険が少ない」(17.2%)などの順となっています。

#### [前回調査との比較]

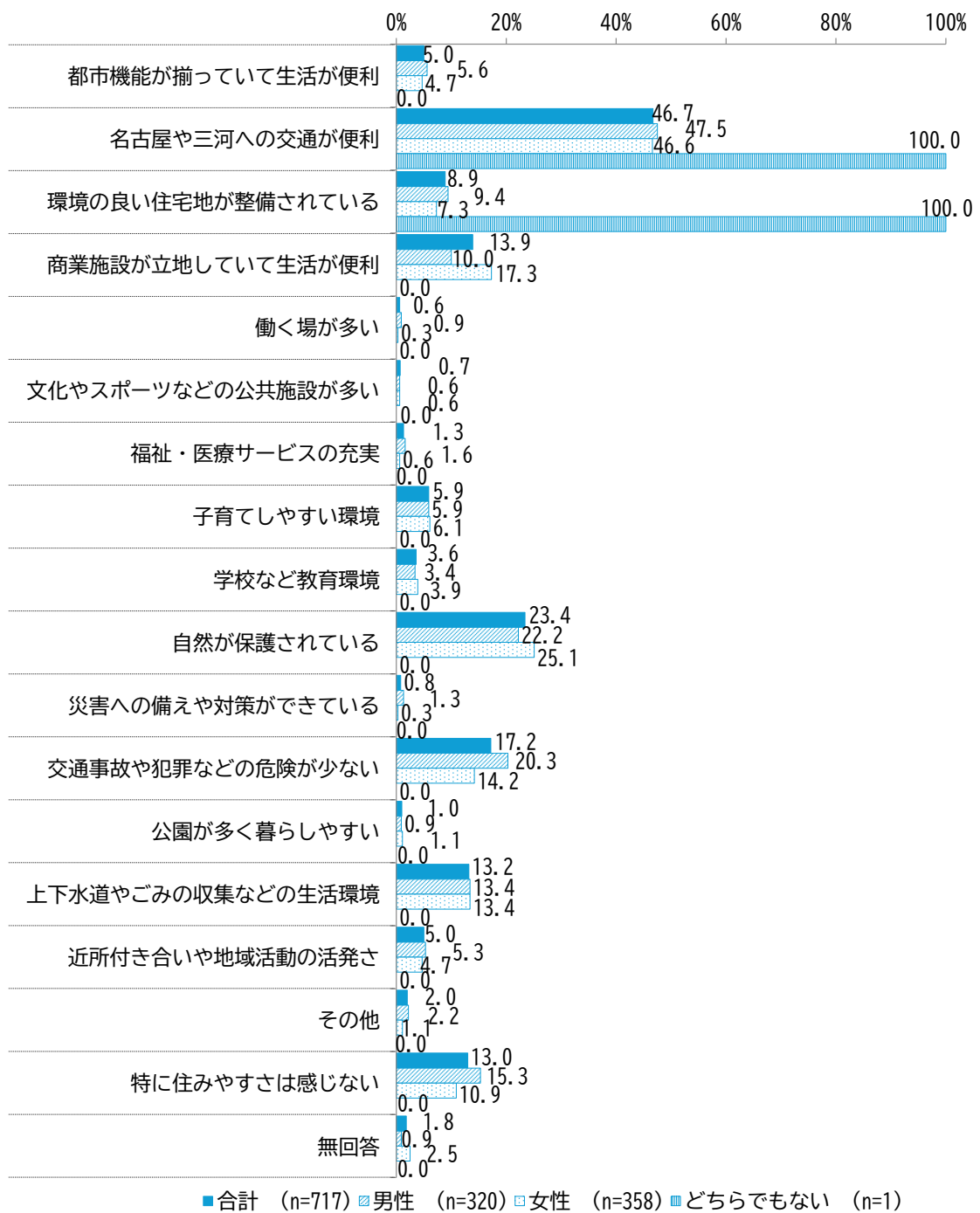
「名古屋や三河への交通が便利」や「特に住みやすさを感じない」は増加傾向となっています。「子育てしやすい環境」、「自然が保護されている」、「近所付き合いや地域活動の活発さ」は減少傾向となっています。

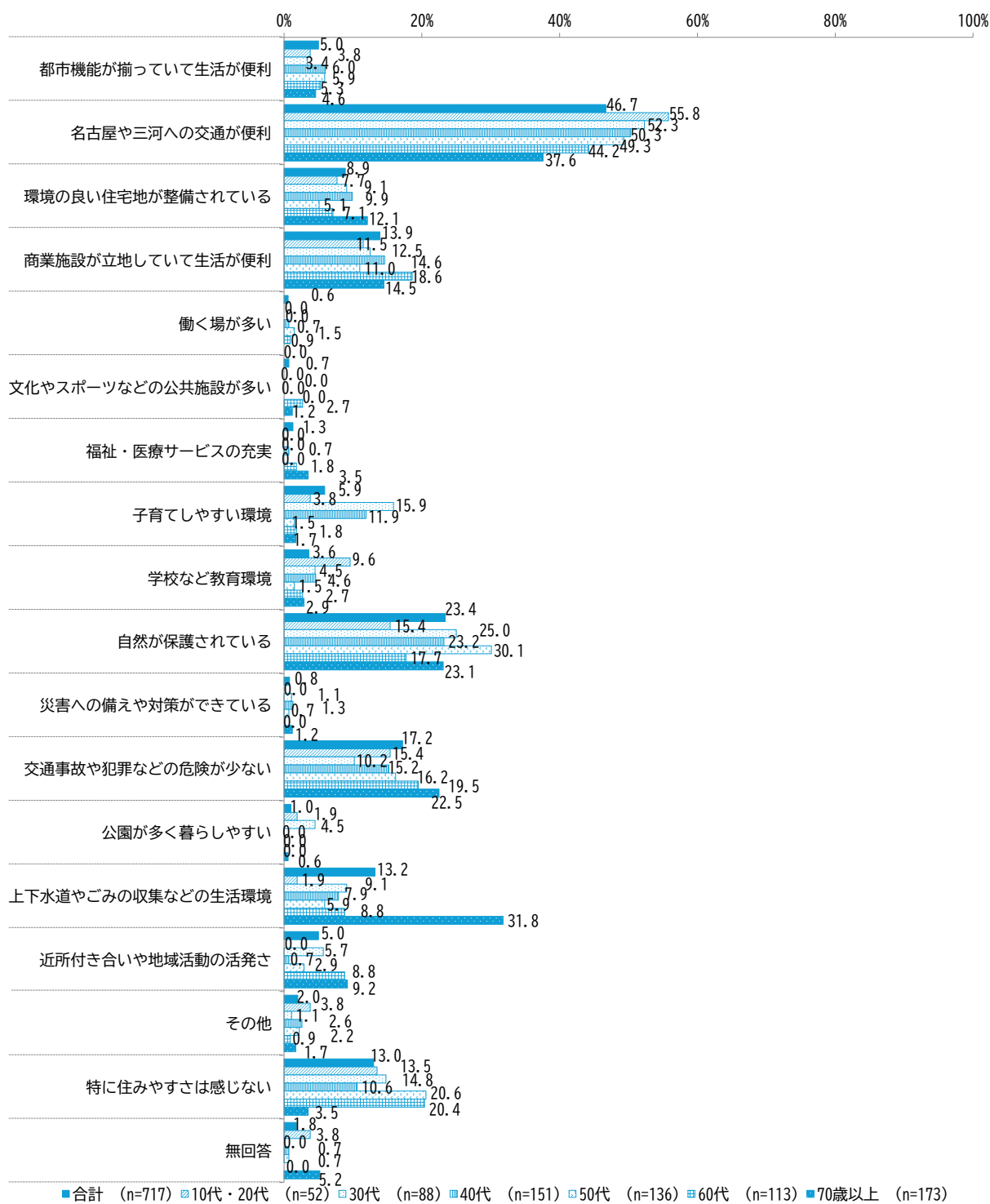


## [回答者の属性別]

性別でみると、「商業施設が立地して生活が便利」(全体：13.9%)では「女性」(17.3%)の方が「男性」(10.0%)より高くなっています。「自然が保護されている」(全体：23.4%)では「女性」(25.1%)の方が「男性」(22.2%)より高くなっています。「交通事故や犯罪などの危険が少ない」(全体：17.2%)では「男性」(20.3%)の方が「女性」(14.2%)より高くなっています。

年齢でみると、「名古屋や三河への交通が便利」(全体：46.7%)では「10代・20代」(55.8%)が高く、「70歳以上」(37.6%)が低くなっています。「自然が保護されている」(全体：23.4%)では「50代」(30.1%)が高く、「10代・20代」(15.4%)で低くなっています。「交通事故や犯罪等の危険が少ない」(全体：17.2%)では「70歳以上」(22.5%)が高く、「30代」(10.2%)が低くなっています。「環境の良い住宅地が整備されている」(全体：8.9%)では「70歳以上」(12.1%)が高く、「50代」(5.1%)が低くなっています。「子育てしやすい環境」(全体：5.9%)では「30代」(15.9%)が高く、「50代」(1.5%)が低くなっています。「上下水道やごみの収集等の生活環境」(全体：13.2%)では「70歳以上」(31.8%)が高く、「10代・20代」(1.9%)が低くなっています。





## (2) 施設の整備充実

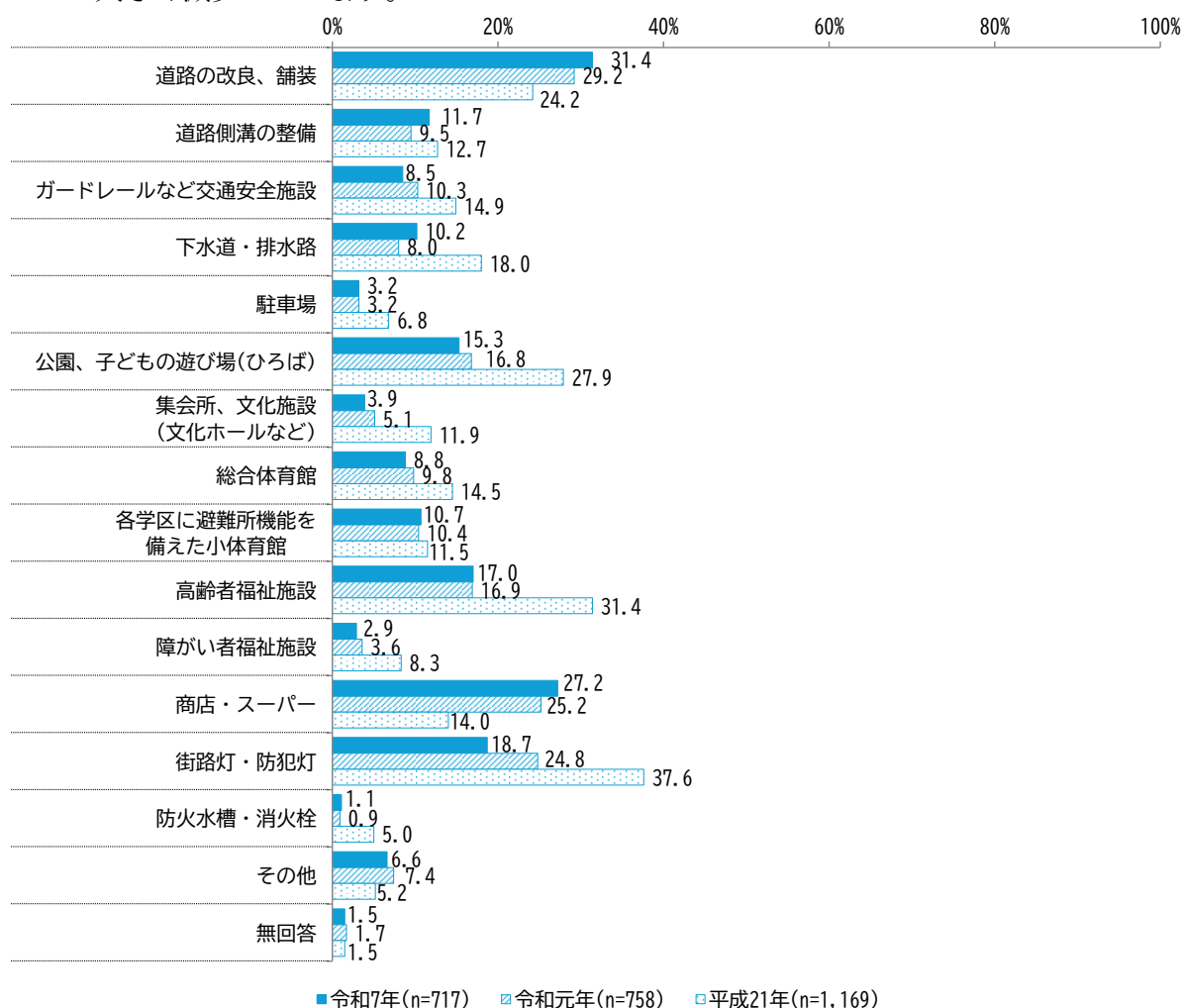
問 22 あなたは、身近な生活環境のなかで、特にどのような施設の整備充実が必要だと思いますか。(2つまで〇印)

「道路の改良、舗装」が31.4%、次いで「商店・スーパー」が27.2%

身近な生活環境において、特に整備充実の必要な施設については、「道路の改良、舗装」が31.4%と最も高く、次いで「商店・スーパー」(27.2%)、「街路灯・防犯灯」(18.7%)、「高齢者福祉施設」(17.0%)、「公園、子どもの遊び場(ひろば)」(15.3%)などの順となっています。

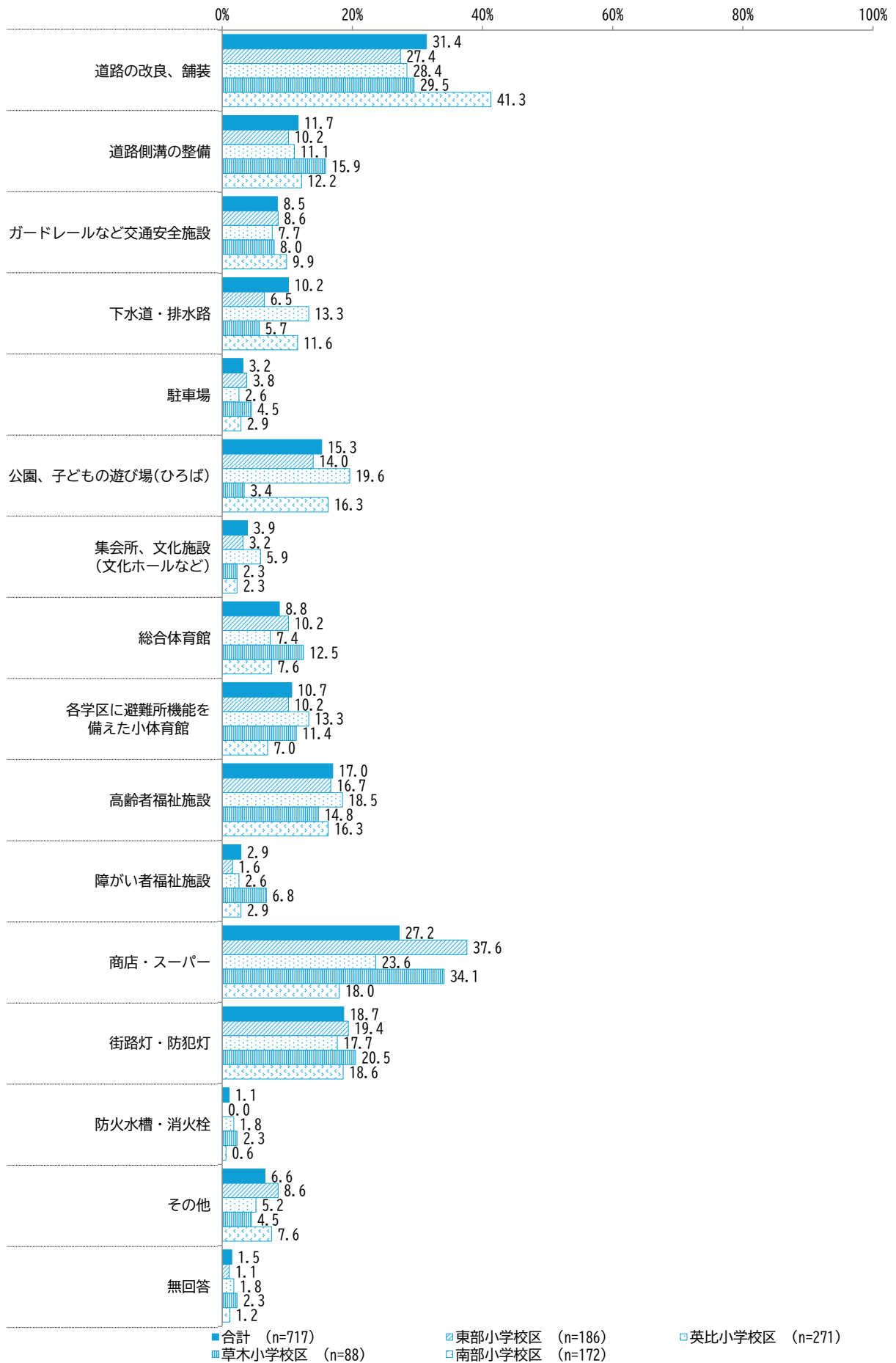
### [前回調査との比較]

「道路の改良、舗装」(2.2ポイント)、「道路側溝の整備」(2.2ポイント)、「下水道・排水路」(2.2ポイント)が増加しています。「街路灯・防犯灯」(6.1ポイント)が大きく減少しています。



#### [回答者の属性別]

居住地区でみると、「道路の改良、舗装」(全体:31.4%)では「南部小学校区」(41.3%)が高く、「東部小学校区」(27.4%)が低くなっています。「商店・スーパー」(全体:27.2%)では「東部小学校区」(37.6%)が高く、「南部小学校区」(18.0%)が低くなっています。「街路灯・防犯灯」(全体:18.7%)では「草木小学校区」(20.5%)が高く、「英比小学校区」(17.7%)が低くなっています。「高齢者福祉施設」(全体:17.0%)では「英比小学校区」(18.5%)が高く、「草木小学校区」(14.8%)が低くなっています。「公園、子どもの遊び場(ひろば)」(全体:15.3%)では「英比小学校区」(19.6%)が高く、「草木小学校区」(3.4%)が低くなっています。



### (3) 町の消防・防災対策について

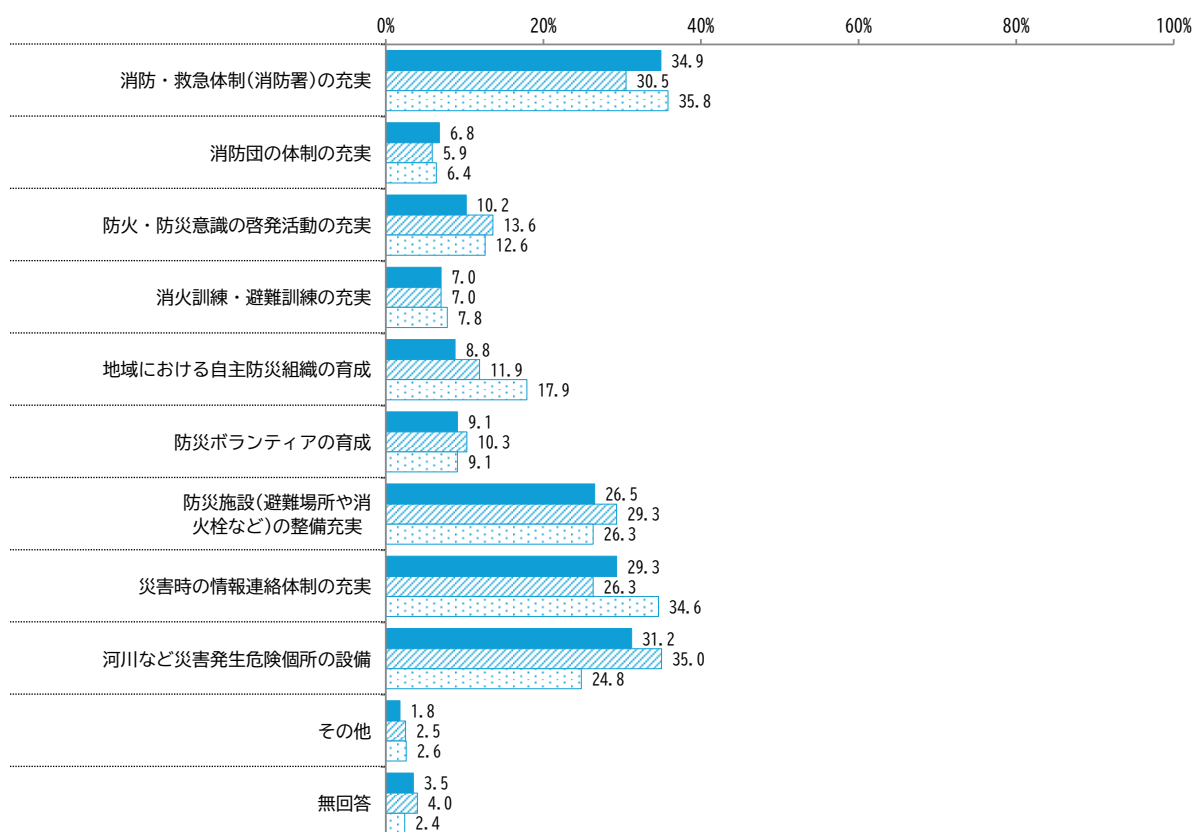
問 23 あなたは、町の消防・防災対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(2つまで〇印)

「消防・救急体制(消防署)の充実」が 34.9%、次いで「河川など災害発生危険個所の設備」が 31.2%

今後必要な消防・防災対策の取り組みについては、「消防・救急体制(消防署)の充実」が 34.9%と最も高く、次いで「河川など災害発生危険個所の設備」(31.2%)、「災害時の情報連絡体制の充実」(29.3%)、「防災施設(避難場所や消火栓など)の整備充実」(26.5%)、「防火・防災意識の啓発活動の充実」(10.2%)などの順となっています。

#### [前回調査との比較]

「消防・救急体制(消防署)の充実」(4.4 ポイント)、「災害時の情報連絡体制の充実」(3.0 ポイント)が増加しています。「河川など災害発生危険個所の設備」(3.8 ポイント)、「防火・防災意識の啓発活動の充実」(3.4 ポイント)、「地域における自主防災組織の育成」(3.1 ポイント)などが減少しています。

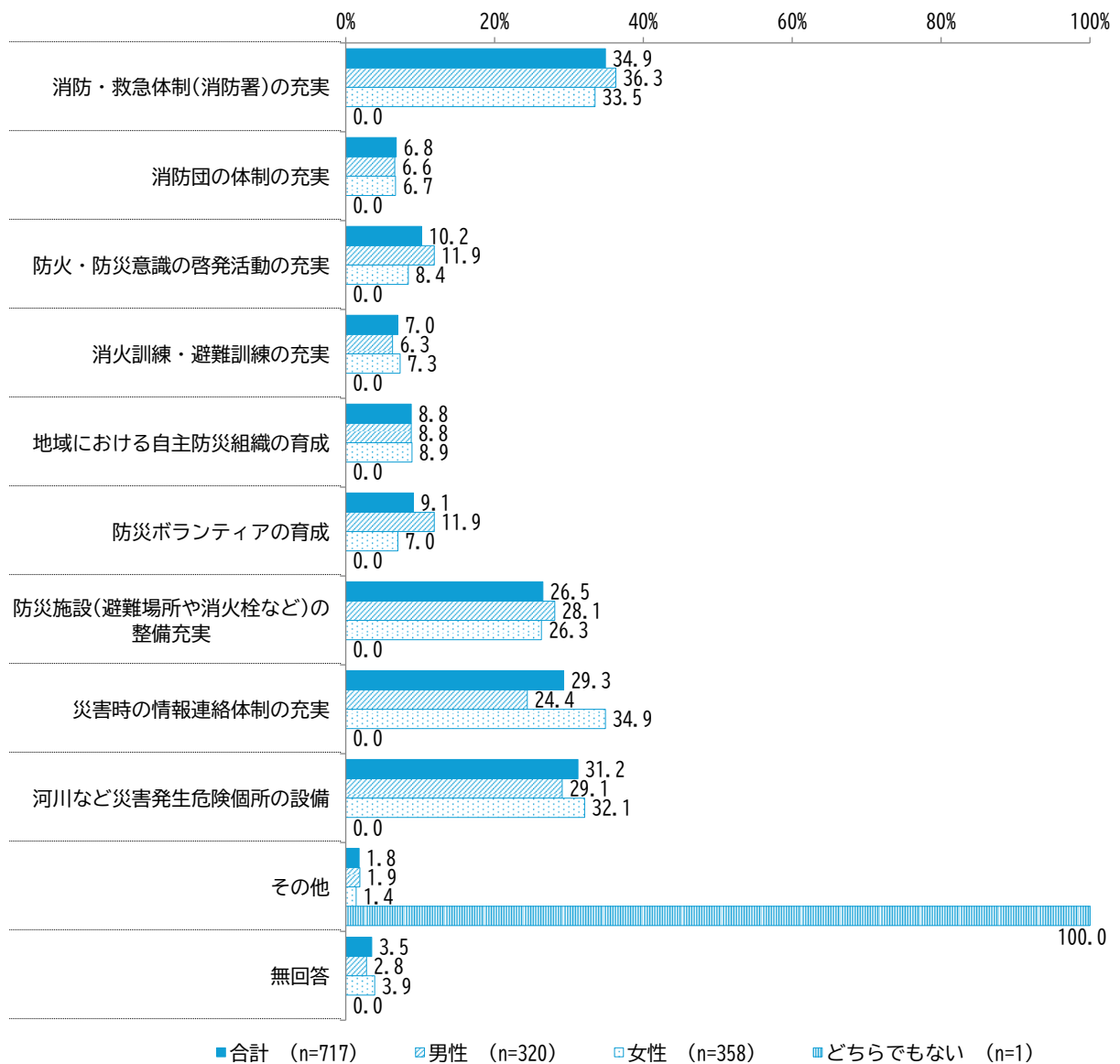


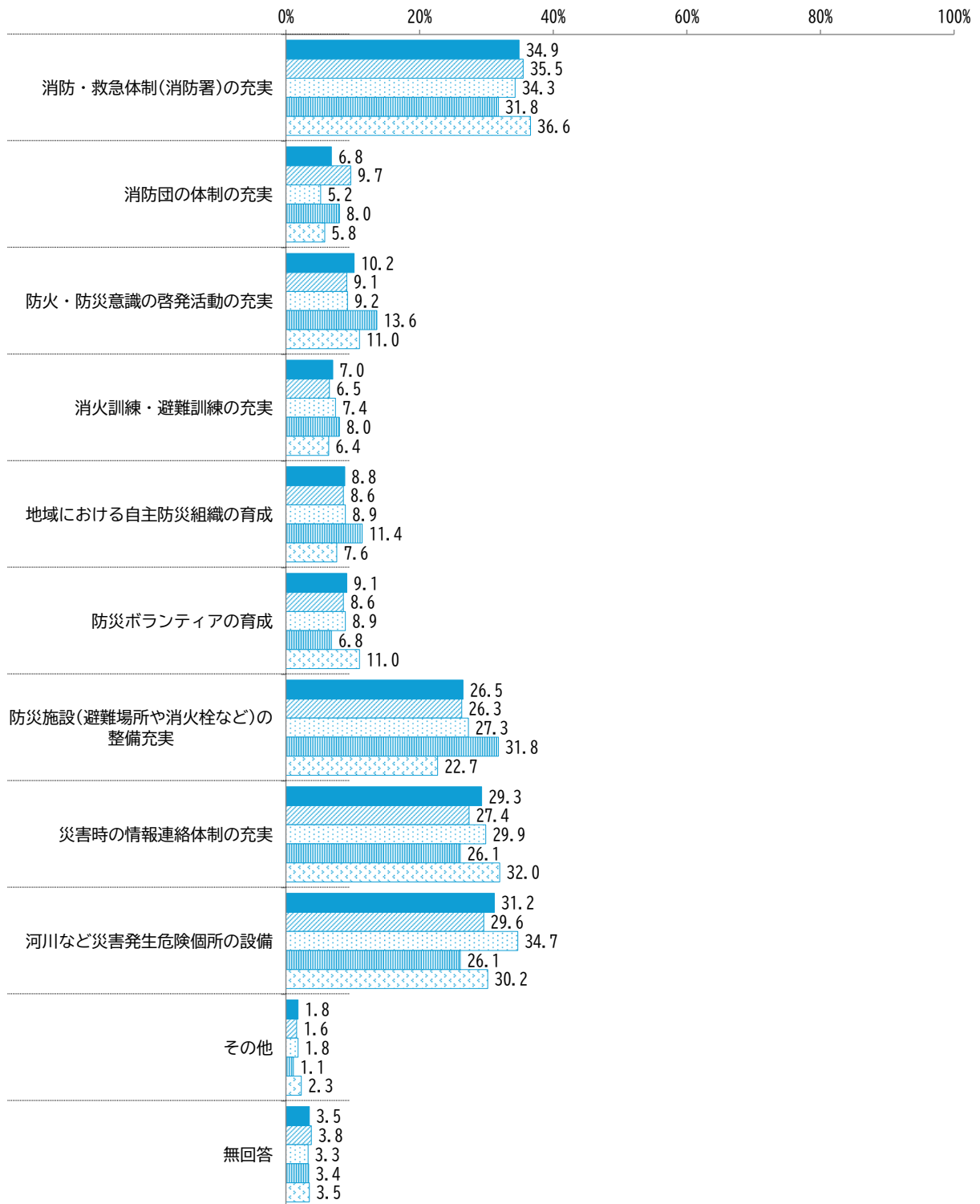
■ 令和7年(n=717)    ▨ 令和元年(n=758)    ▩ 平成21年(n=1,169)

## [回答者の属性別]

性別でみると、「河川など災害発生危険箇所の整備」（全体：31.2%）では「女性」（32.1%）の方が「男性」（29.1%）より高くなっています。「消防・救急体制（消防署）の充実」（全体：34.9%）では「男性」（36.3%）の方が「女性」（33.5%）より高くなっています。「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」（全体：26.5%）では「男性」（28.1%）の方が「女性」（26.3%）より高くなっています。「災害時の情報連絡体制の充実」（全体：29.3%）では「女性」（34.9%）の方が「男性」（24.4%）より高くなっています。「防火・防災意識の啓発活動の充実」（全体：10.2%）で「男性」（11.9%）の方が「女性」（8.4%）より高くなっています。

居住地区でみると、「河川など災害発生危険箇所の整備」（全体：31.2%）では「英比小学校区」（34.7%）が高くなっています。「消防・救急体制（消防署）の充実」（全体：34.9%）では「南部小学校区」（36.6%）が高くなっています。「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」（全体：26.5%）では「草木小学校区」（31.8%）が高くなっています。「災害時の情報連絡体制の充実」（全体：29.3%）では「南部小学校区」（32.0%）が高くなっています。「防火・防災意識の啓発活動の充実」（全体：10.2%）では「草木小学校区」（13.6%）が高くなっています。また、「防災ボランティアの育成」（全体：9.1%）では「南部小学校区」（11.0%）が高くなっています。





■合計 (n=717) □東部小学校区 (n=186) □英比小学校区 (n=271) □草木小学校区 (n=88) □南部小学校区 (n=172)

## 7 第2期総合戦略の取り組みについて

問 24 これまで進めてきた第2期総合戦略の取り組みについて現状と今後の方向をうかがいます。

- ①現状（人口減少対策や町の住みやすさ向上に効果があった）、②今後の取り組み（今後の取り組みの方向性について）について、それぞれの項目ごとに1つずつ〇印。

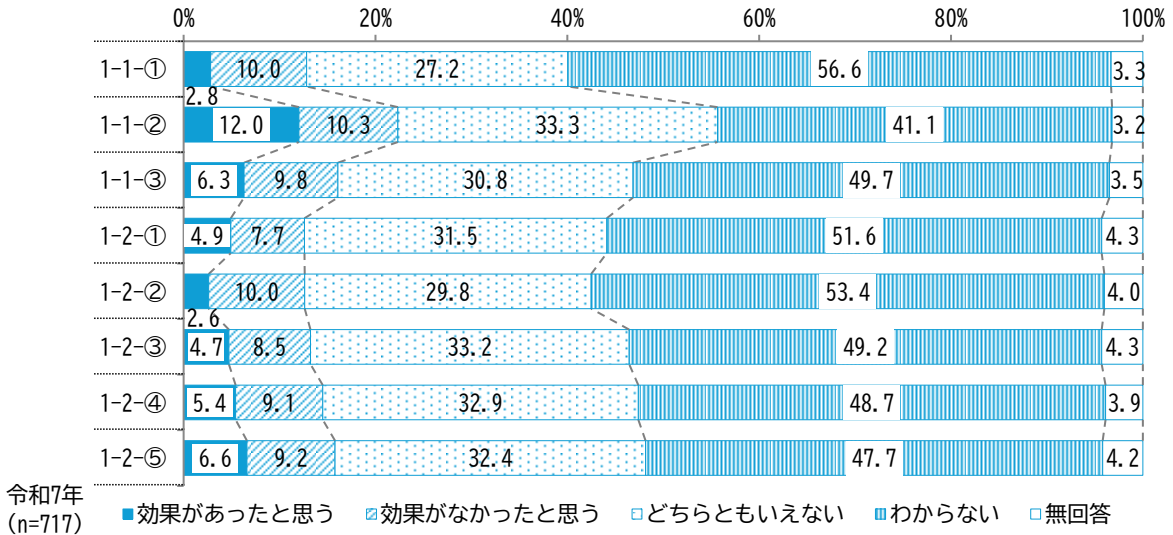
### （1）基本目標1 安定した雇用を創出する

阿久比町の強みを活かした地域の競争力強化	
1-1-①	先端産業などの企業誘致を図るとともに、海外ビジネスを希望する企業や海外進出を目指す企業に対し、ジェトロ名古屋などを活用した事業展開の情報提供
1-1-②	担い手などの育成・確保や生産性の優れた営農を可能とする環境整備。観光協会「あぐいブランド認定品」のPR及び販売促進による競争力のある産地づくりやブランド化。地域の食材を利用した商品開発への支援による6次産業化の促進
1-1-③	農地中間管理機構を活用した遊休農地の利用集積促進による農業経営規模の拡大。補助金などの活用により経済的負担を軽減し、主体的な経営発展を支援
だれもが働きやすい職場環境づくり	
1-2-①	町、商工会、金融機関などのネットワーク体制構築による総合的な創業支援
1-2-②	Uターン促進や東京圏からの移住者・就職者の獲得に向けた情報発信や移住支援金の給付
1-2-③	県やハローワークなどとの連携による就職相談や情報提供、事業所への啓発などによる就職支援
1-2-④	女性のための各種講座、就職応援セミナーなどの就業継続への支援、仕事と子育ての両立ができる働きやすい職場環境づくり
1-2-⑤	「働き方改革」の推進や短時間勤務制度などの職場環境の整備についての情報提供

① 現状

基本目標1の8つの施策のうち最も効果があったものは「担い手などの育成・確保や生産性の優れた営農を可能とする環境整備」が12.0%、次いで「働き方改革の推進や短時間勤務制度などの職場環境の整備についての情報提供」が6.6%

効果がなかったものは「担い手などの育成・確保や生産性の優れた営農を可能とする環境整備」が10.3%、次いで「先端産業などの企業誘致を図るとともに、ジェトロ名古屋などを活用した事業展開の情報提供」、「UI」ターン促進や東京圏からの移住者・就職者の獲得に向けた情報発信や移住支援金の給付」が10.0%

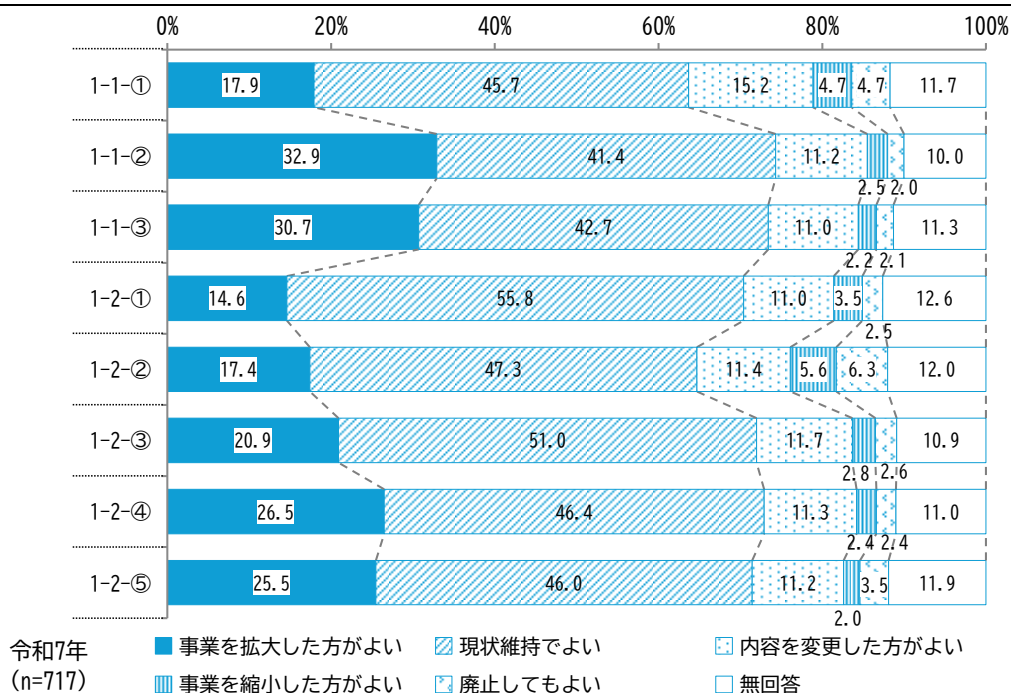


② 今後の取り組み

事業の拡大は「担い手などの育成・確保や生産性の優れた営農を可能とする環境整備」が32.9%、次いで「農地中間管理機構を活用した遊休農地の利用集積促進による農業経営規模の拡大」が30.7%

現状維持は「町、商工会、金融機関などのネットワーク体制構築による総合的な創業支援」が55.8%

内容の変更は「先端産業などの企業誘致を図るとともに、ジェトロ名古屋などを活用した事業展開の情報提供」が15.2%



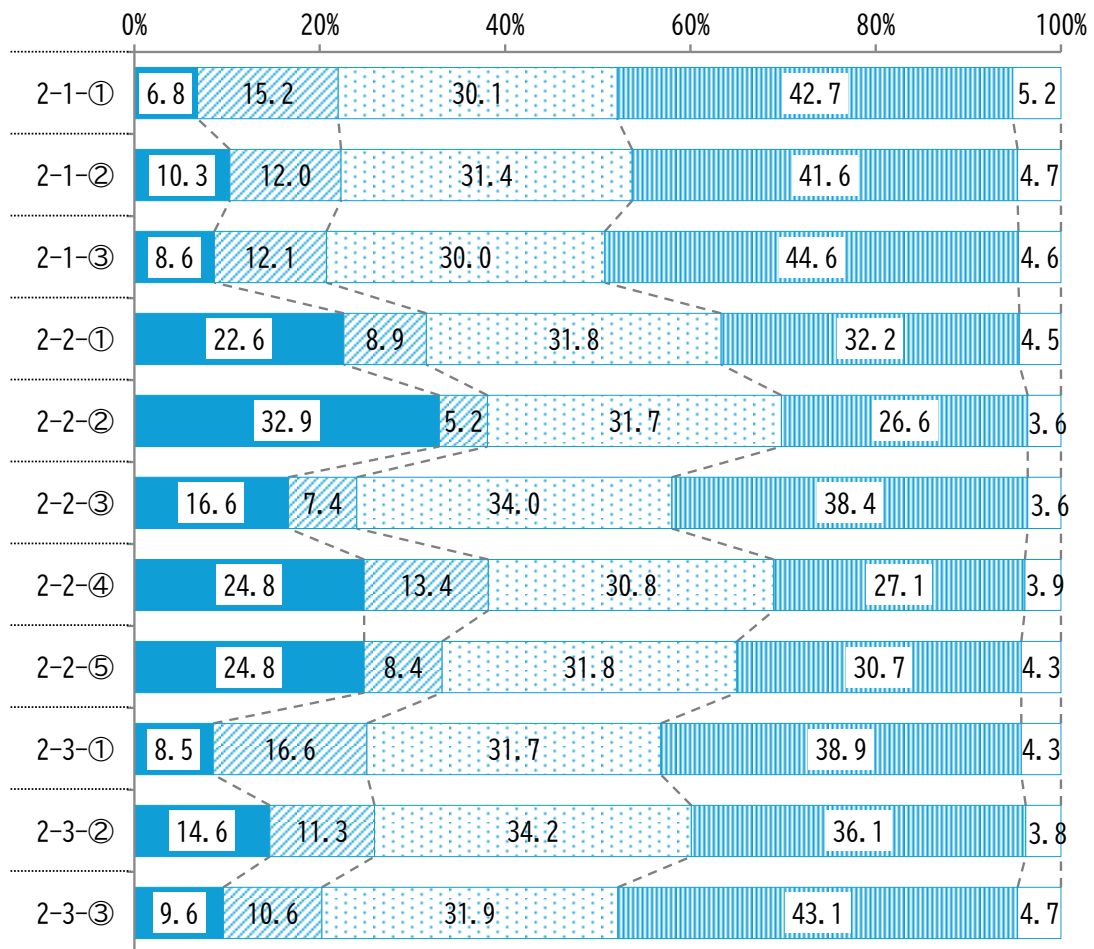
## (2) 基本目標2 阿久比町への新しいひとの流れをつくる

移住・定住につながるシティプロモーション 知多半島で選ばれるまち No.1 へ	
2-1-①	観光資源の掘り起こし、魅力聞き取りアンケートなどの実施を踏まえ、町の魅力発見と活用によるシティプロモーションを効果的に推進
2-1-②	空き家などをサロンや子どもの遊び場などとして有効に活用するため、所有者や地域住民との連携を強化。子育て世代などに相談会の実施や空家バンクの創設などにより情報発信を実施
2-1-③	ホームページのオープンデータ化による企業・NPO・個人などとの連携を促進。阿久比町の認知度向上に向けた町公式SNSの効果的な活用
阿久比町が持つ資源を活用した地域の魅力やブランド力の向上	
2-2-①	阿久比スポーツ村をまちづくりと交流の拠点に位置付け、スポーツイベント、部活動での利活用、プロ・実業団スポーツと連携、産官学連携などによる健康づくりを推進
2-2-②	役場庁舎・多目的ホール（アグピアホール）で農産物など町特産品の販売をはじめとしたフリーマーケットなどのイベントを開催し、にぎわいづくりと地域の魅力を発信
2-2-③	貸し農園「元気な家族農園」を活用した地産地消の推進、田植え・稲刈り、野菜収穫など都市部からの体験型農業の受け入れ
2-2-④	ホテルが生息し続けられる環境づくりを進め、「ホテル飛びかう、豊かな自然のまち阿久比」として広く町内外にPR、ホテルサミットを契機とした新たな関係人口の創出
2-2-⑤	観光協会などと連携し「花かつみ」や「彼岸花」を魅力ある地域資源として発信。花かつみ園のさらなる活用方法の検討や「ごんげん山」と一体的な彼岸花のPRを推進
中部国際空港や名古屋駅を利用する旅行者等の阿久比町への来訪促進	
2-3-①	中部国際空港や名古屋市内で、阿久比町をPRするためのイベント、プロモーション活動、特産物販売の実施
2-3-②	知多半島道路の阿久比PA 上り周辺に魅力ある交流拠点の環境整備を促進。町の観光や特産品・農産物の情報発信
2-3-③	来町者の利便性向上の一環として、無料で手軽にインターネットを利用できる公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備

① 現状

基本目標2の11の施策のうち最も効果があったものは「農産物など町特産品の販売をはじめとしたフリーマーケットなどのイベントを開催し、にぎわいづくりと地域の魅力を発信」が32.9%、次いで「ホテルが生息し続けられる環境づくりを進め、広く町内外にPR、ホテルサミットを契機とした新たな関係人口の創出」と「花かつみ園のさらなる活用方法の検討や「ごんげん山」と一体的な彼岸花のPRを推進」が24.8%

効果がなかったものは「中部国際空港や名古屋市内で、阿久比町をPRするためのイベント、プロモーション活動、特産物販売の実施」が16.6%、次いで「阿久比スポーツ村をまちづくりと交流の拠点に位置付け、健康づくりを推進」が15.2%



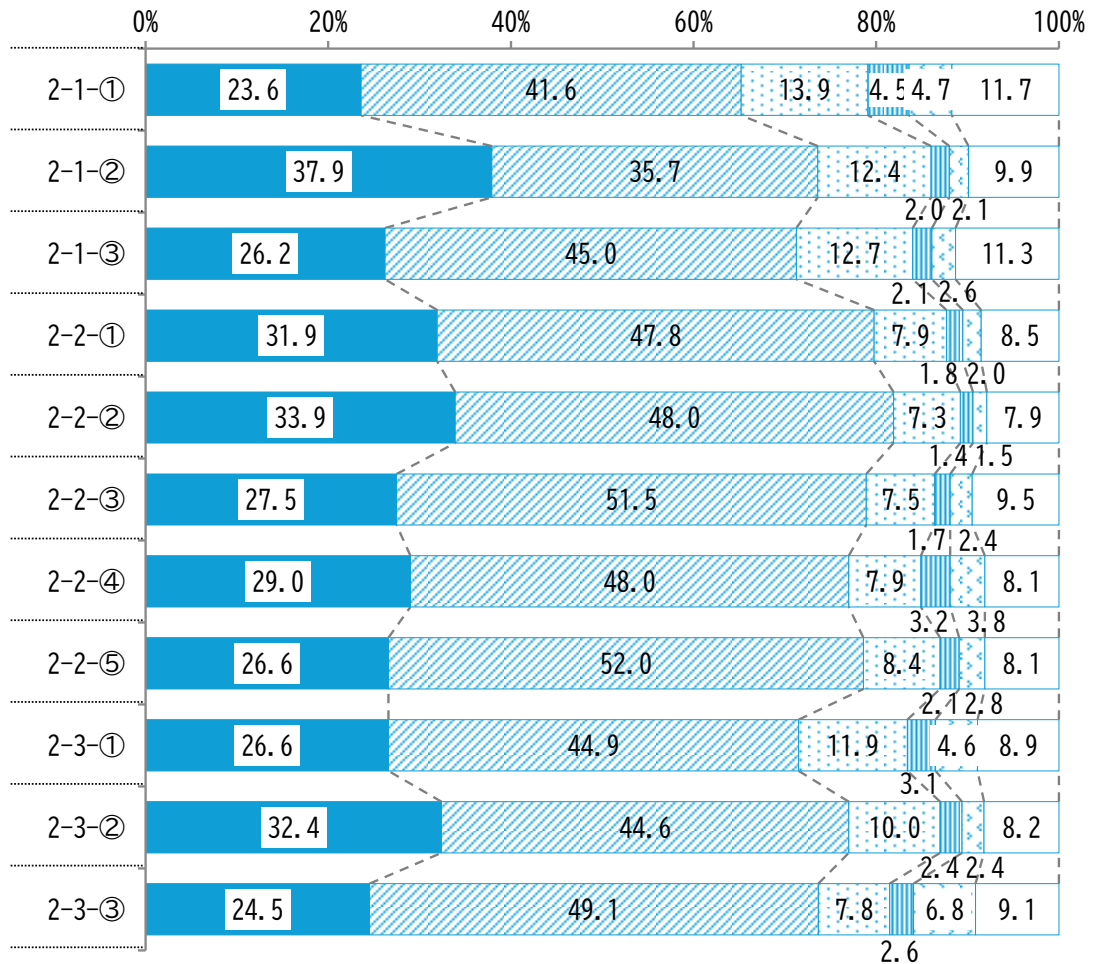
令和7年 (n=717) ■効果があったと思う □効果がなかったと思う □どちらともいえない ■わからない □無回答

② 今後の取り組み

事業の拡大は「空き家などを有効に活用するため、所有者や地域住民との連携を強化。子育て世代などに情報発信を実施」が 37.9%、次いで「農産物など町特産品の販売をはじめとしたフリーマーケットなどのイベントを開催し、にぎわいづくりと地域の魅力を発信」が 33.9%

現状維持は「観光協会などと連携し「花かつみ」や「彼岸花」を魅力ある地域資源として発信」が 52.0%

内容の変更は「観光資源の掘り起こし、魅力聞き取りアンケートなどの実施を踏まえ、町の魅力発見と活用によるシティプロモーションを効果的に推進」が 13.9%



令和7年 (n=717)

- 事業を拡大した方がよい
- ▨ 現状維持でよい
- 内容を変更した方がよい
- ▤ 事業を縮小した方がよい
- 無回答

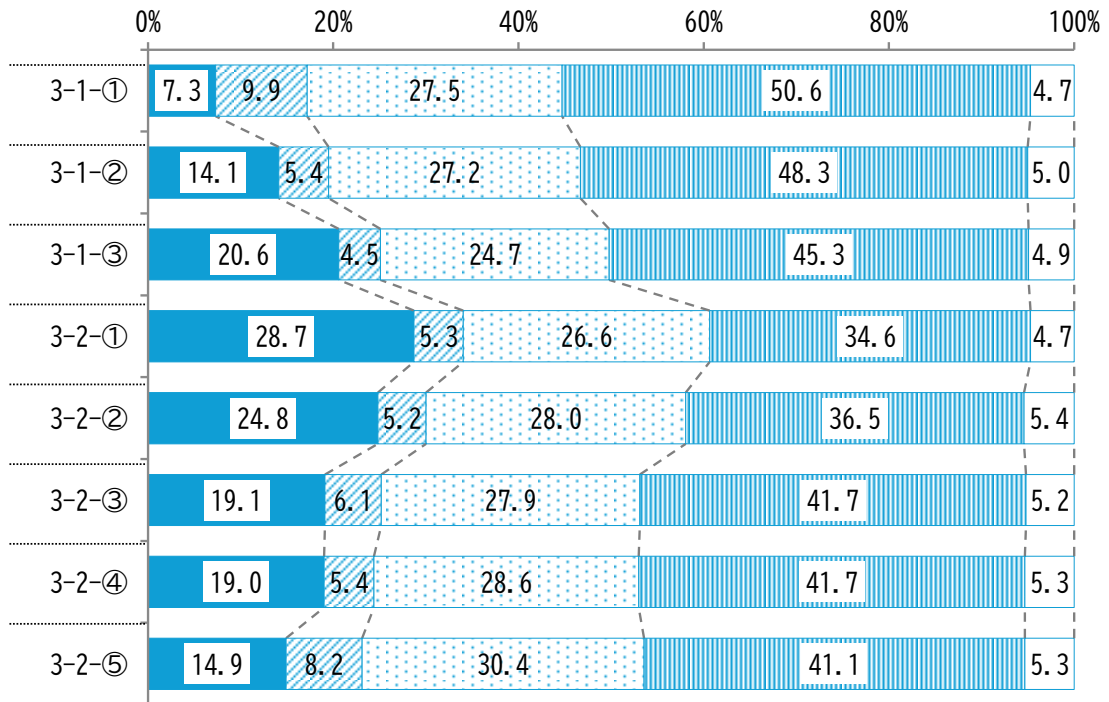
(3) 基本目標3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

妊娠・出産から育児に至るまで切れ目のない一貫した支援	
3-1-①	商工会、農業者団体などの各種団体や近隣自治体と連携し、婚活イベントなど結婚を希望する独身者への出会いの場をつくる婚活応援事業を実施
3-1-②	不妊治療に要する費用の一部を助成し、経済的負担を軽減することにより、少子化対策を充実
3-1-③	妊産婦健康診査、乳児家庭全戸訪問事業、母子保健相談事業、乳幼児健康診査などを通じて、妊娠期から出産後まで一貫した切れ目のない支援
子どもや子育てを地域全体で見守り、支援する環境づくり	
3-2-①	子ども医療費の支給、出産祝金、保育料軽減など、子育て世代への経済的負担を軽減するための支援
3-2-②	子育て支援センターの充実、子育てサークルへの支援、親や子どもの交流の場づくり、放課後児童の健全育成事業など、子育てを地域全体で見守る環境整備
3-2-③	幼稚園・保育園を適正に配置するとともに、民間事業者の参入を奨励し、高まる保育ニーズへの柔軟な対応
3-2-④	多様な保育サービスの拡充に向けた時間外保育事業、病児・病後児保育事業など、地域子ども・子育て支援事業の充実
3-2-⑤	幼保小中一貫教育の推進、きめ細やかな支援と平等な学習機会の提供。いじめ対策の推進、英語力など実践的な学習の充実、ICT教育を導入した学習を充実

① 現状

基本目標3の8つの施策のうち最も効果があったものは「子育て世代への経済的負担を軽減するための支援」が28.7%、次いで「子育てを地域全体で見守る環境整備」が24.8%

効果がなかったものは「婚活イベントなど結婚を希望する独身者への出会いの場をつくる婚活応援事業を実施」が9.9%



令和7年

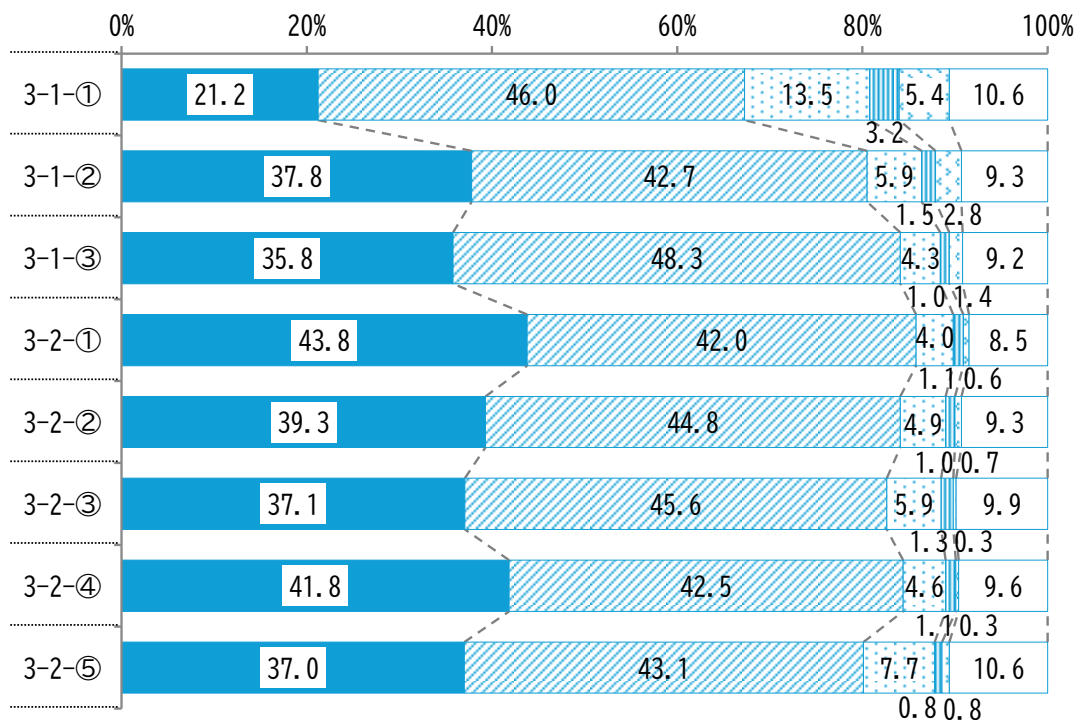
(n=717) ■効果があつたと思う □効果がなかつたと思う □どちらともいえない ■わからない □無回答

② 今後の取り組み

事業の拡大は「子育て世代への経済的負担を軽減するための支援」が 43.8%、次いで「多様な保育サービスの拡充に向けた地域子ども・子育て支援事業の充実」が 41.8%

現状維持は「妊娠期から出産後まで一貫した切れ目のない支援」が 48.3%

内容の変更は「婚活イベントなど結婚を希望する独身者への出会いの場をつくる婚活応援事業を実施」が 13.5%



令和7年  
(n=717)

- 事業を拡大した方がよい
- 事業を縮小した方がよい
- 現状維持でよい
- 廃止してもよい
- 内容を変更した方がよい
- 無回答

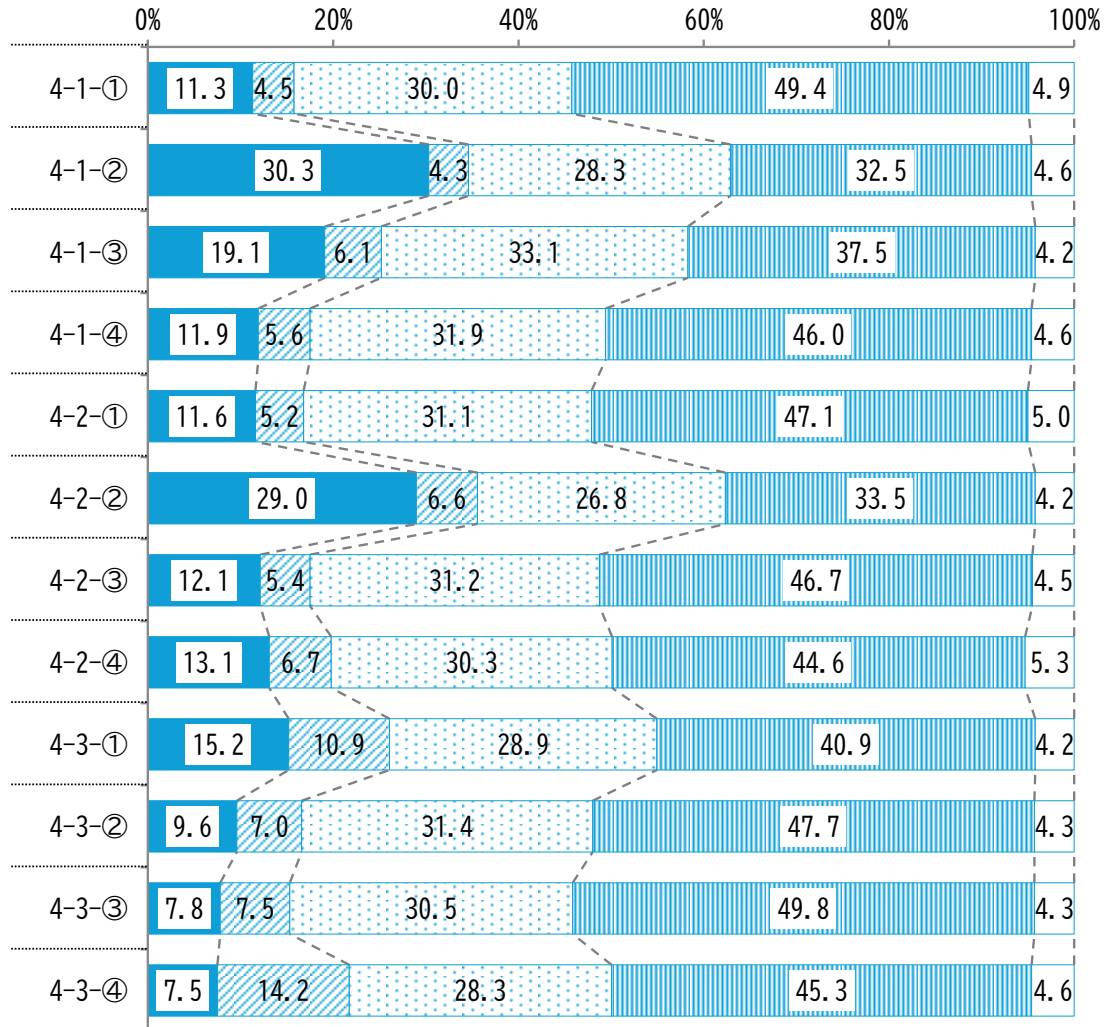
(4) 基本目標4 時代に合った地域づくり、安全・安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

地域コミュニティの活性化と安全で安心して暮らせるパートナーシップのまちの実現	
4-1-①	自主的な活動団体の増加による魅力的なコミュニティ活動を推進。南部学区や東部学区のコミュニティ推進協議会への支援継続。新たなコミュニティ推進協議会の設立を支援
4-1-②	住民、警察、町が連携し、巡回パトロールの実施など防犯活動の推進、防犯カメラの設置などの環境整備、地域見守り隊の活動支援など安心して通学できる環境整備
4-1-③	地域コミュニティでの防災訓練の実施、自主防災組織の強化、防災行政無線のデジタル化、情報収集・伝達体制の充実、避難所支援機能の整備など地域防災体制の強化
4-1-④	社会福祉協議会との連携により、地域の中で福祉・防犯活動など、住民がお互いに支え合うためのネットワークの構築により、地域貢献活動の担い手の育成を支援
高齢者がいつまでも住み慣れた地域で健康に暮らすことができる仕組みづくり	
4-2-①	介護予防に向けた取り組みの推進、「地域包括ケアシステム」のさらなる拡充
4-2-②	循環バスの利便性向上やタクシー券助成事業。買い物弱者対策の検討。インターネットなどによる買い物配送事業の支援
4-2-③	住民への認知症の周知と啓発、認知症サポーターの養成
4-2-④	「あぐい健康体操」の推進、身体活動や運動の普及・啓発、「アグビー健康マイレージ」による健康意識の向上、健診受診率の向上など住民の健康増進に向けた取り組みの支援
名古屋市並び周辺市町村広域連携によるまちづくり	
4-3-①	名古屋市及び三河方面に対し、本町が交通アクセスに優れたベッドタウンであることをPRするため、新規住宅開発業者や観光協会と連携して積極的な情報発信を推進
4-3-②	名古屋市、周辺市町村、関係機関などとの災害時の防災協定の締結、外部からの人材や物資供給を十分に活用できるよう受援体制の構築を推進
4-3-③	名古屋市や三河方面に通勤・通学する住民の災害時の帰宅支援として、一時休憩施設の確保や帰宅支援情報の提供
4-3-④	「ふるさと阿久比応援寄付金（ふるさと納税）」などによる阿久比町の認知度向上と関係人口の拡大

① 現状

基本目標4の12の施策のうち最も効果があったものは「防犯活動の推進、環境整備、地域見守り隊の活動支援など安心して通学できる環境整備」が30.3%、次いで「循環バスの利便性向上やタクシー券助成事業。買い物弱者対策の検討。買い物配達事業の支援」が29.0%

効果がなかったものは「ふるさと納税などによる阿久比町の認知度向上と関係人口の拡大」が14.2%。



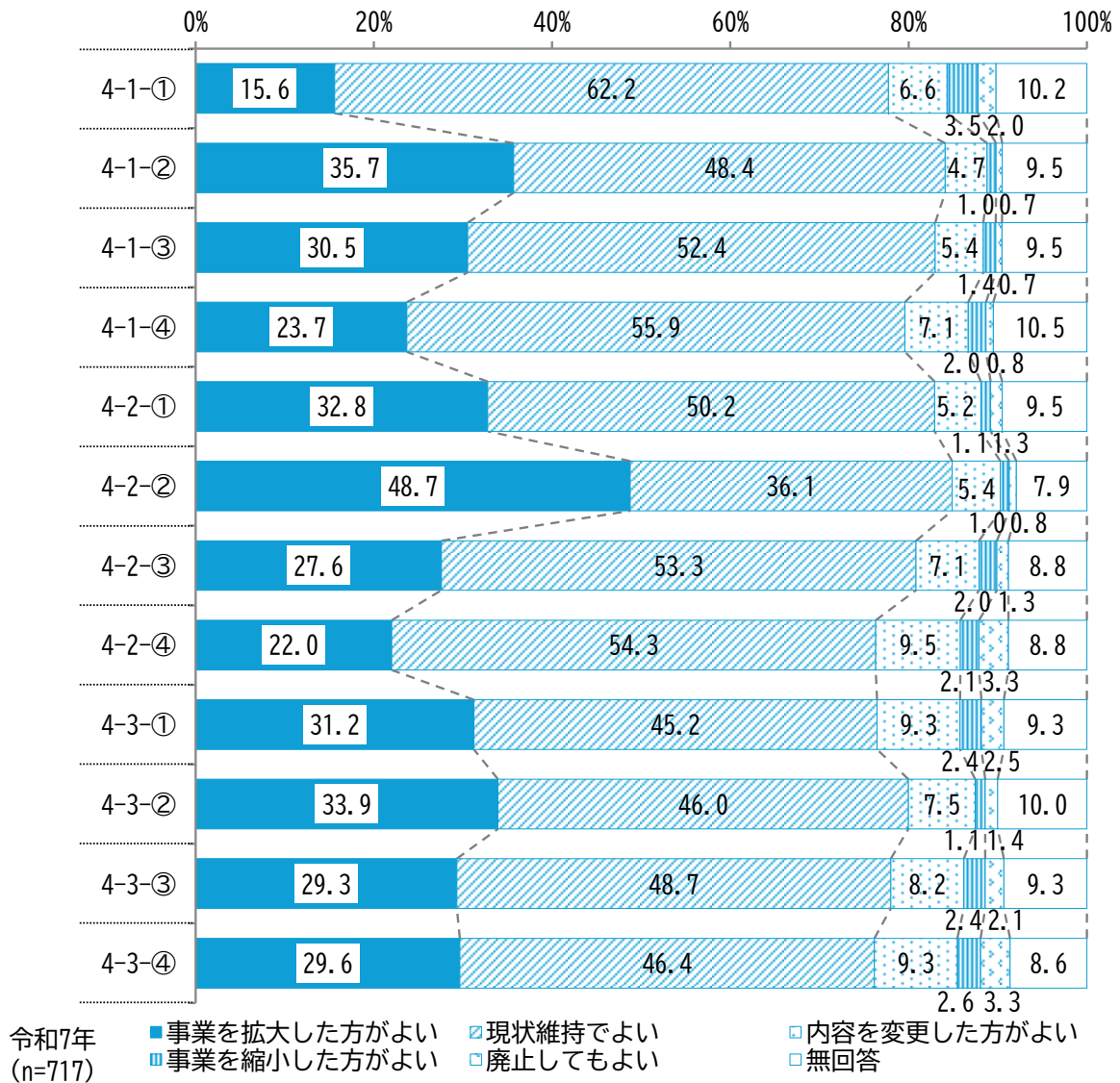
■効果があったと思う □効果がなかったと思う □どちらともいえない ■わからない □無回答

② 今後の取り組み

事業の拡大は「循環バスの利便性向上やタクシー券助成事業。買い物弱者対策の検討。買い物配送事業の支援」が48.7%、次いで「防犯活動の推進、環境整備、地域見守り隊の活動支援など安心して通学できる環境整備」が35.7%

現状維持は「魅力的なコミュニティ活動を推進。コミュニティ推進協議会への支援継続。新たなコミュニティ推進協議会の設立を支援」が62.2%

内容の変更は「健康体操の推進、身体活動や運動の普及・啓発、住民の健康増進に向けた取り組みの支援」が9.5%



### III 自由意見

#### 自由意見について

- ◎ 最後に、将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。

自由意見欄に意見等を記入した人は304人で、有効回答者(717人)に対する記入率は42.4%でした。これらの自由記述された要望や意見を集約すると記入された意見は全553件でした。

集約した意見を、各分野で区分し、件数をまとめると以下のとおりとなっています。

分野		件数	分野		件数
都市基盤	土地利用	23	教育・文化	教育	3
	市街地整備	21		青少年健全育成	0
	道路・交通網	135		生涯学習	7
	河川・水路・ため池	1		文化芸術	5
	公園・緑地	17		スポーツ	23
	上水道	0		産業・経済	農業
生活環境	環境保全	28	商業		39
	環境衛生	22	工業		2
	下水道	4	就労対策・勤労者福祉		4
	防災・消防・救急	16	パートナーシップのまちづくり		7
	交通安全・防犯	18	コミュニティ活動		12
	消費者行政	1	男女共同参画・多文化共生	2	
保健・医療・福祉	子育て支援	56	コミュニティ・住民参画・行財政分野	交流	8
	地域福祉	1	行政経営	33	
	高齢者福祉	19	その他	-	22
	障がい者(児)福祉	4			
	健康づくり・医療	8			
	社会保障	0			

第6次 阿久比町総合計画（中間評価）等 住民アンケート調査結果

発行年月：令和7年10月

発行：阿久比町

編集：総務部 企画広報課 企画政策係

住所：〒470-2292

愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字殿越50番地

電話：0569-48-1111（代表）

